

SC-F3050

ユーザーズガイド

本機の使い方全般を説明しています。

商標

Mac、OS X、macOS は米国およびその他の国で登録された Apple Inc. の商標です。

Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

Adobe、Acrobat、Reader は Adobe (アドビ) の米国ならびにその他の国における商標または登録商標です。

QR コードは (株) デンソーウェーブの登録商標です。

Intel は、Intel Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Firefox は、Mozilla Foundation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Google Chrome、YouTube は Google LLC の商標です。

その他の製品名は各社の商標または登録商標です。

ご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断転載することを禁止します。
- 本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容にご不明な点や誤り、記載漏れなど、お気付きの点がありましたら弊社までご連絡ください。
- 運用した結果の影響については前項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品が、本書の記載に従わずに取り扱われたり、不適当に使用されたり、弊社および弊社指定以外の、第三者によって修理や変更されたことなどに起因して生じた障害等の責任は負いかねますのでご了承ください。

インクパックは純正品をお勧めします

プリンター性能をフルに発揮するためにエプソン純正品のインクパックを使用することをお勧めします。純正品以外のものをご使用になりますと、プリンター本体や印刷品質に悪影響が出るなど、プリンター本来の性能を発揮できない場合があります。純正品以外の品質や信頼性について保証できません。非純正品の使用に起因して生じた本体の損傷、故障については、保証期間内であっても有償修理となります。

もくじ

マニュアルの見方	5	アップデートの通知を受け取る	27
マークの意味	5	Web Config の使い方	27
安全に関するマーク	5	起動方法	27
一般情報に関する表示	5	機能概要	28
掲載画面	5	終了方法	28
掲載イラスト	5	ソフトウェアの削除	28
マニュアルの構成	5		
動画マニュアルの見方	5	基本の印刷	29
PDF マニュアルの見方	6	準備するもの	29
		普段使用するもの	29
		前処理で使用するもの	29
ご使用の前に	7	基本的な流れ	31
各部の名称と働き	7	印刷前の確認	32
正面	7	前処理	32
背面	9	作業時のご注意	32
内部	10	前処理剤（ポリエステル用）のかくはん	33
インクユニット	12	前処理剤の開封方法	34
操作パネル	14	前処理剤（綿用）のろ過（凝固物発生時のみ）	35
画面の見方と操作	15	前処理剤の希釈	38
操作パネル使用時のご注意	15	前処理剤の塗布	38
画面の見方	15	前処理剤の定着	39
操作方法	19	ジョブの作成と送信	41
使用・保管時のご注意	20	ジョブの作成と送信の流れ	41
設置スペース	20	ジョブの送信と印刷	42
使用時のご注意	20	ジョブ受信時のご注意	42
使用しないときのご注意	20	プラテンの準備	42
インクパック/クリーニングインクパック取り扱い上 のご注意	21	布シートの貼り方・剥がし方	42
ホワイトインク取り扱い上のご注意	22	ポロ用からジッパー用への切り替え方（プラテン ポ ロ/ジッパー用使用時のみ）	44
Tシャツ（メディア）取り扱い上のご注意	22	プラテンの交換	45
前処理剤取り扱い上のご注意	22	プラテンポジションの切り替え方	46
添付ソフトウェアの紹介	23	Tシャツ（メディア）のセット	47
提供ソフトウェア	23	布貼りプラテンへのセット方法	47
内蔵ソフトウェア	24	布を貼らないプラテンへのセット方法	50
Garment Creator 2/Garment Creator for SC-F3000 Series の使い方	25	プラテン袖用へのセット方法	54
起動方法	25	プラテンポロ/ジッパー用へのセット方法	56
Epson Edge Dashboard の使い方	25	印刷の開始と中止	58
起動方法	25	プラテンポジションの確認	58
本機の登録	25	開始	59
終了方法	26	中止	60
EPSON Software Updater の使い方	26	インクの定着	60
更新されたか確認してアップデート	26	インク定着時のご注意	60
		定着の条件	61
		USB メモリーから印刷	62

USBメモリの条件 62
 印刷手順 62
 削除 63

メンテナンス 64

メンテナンスの種類と実施時期 64
 清掃箇所と実施時期 64
 消耗品の箇所と交換時期 65
 その他のメンテナンス 66

準備するもの 67
 作業時のご注意 67

清掃 68
 インククリーナーの使い方 68
 センサーカバーの清掃 68
 プリントヘッド周辺と板金のフチの清掃 70
 吸引キャップの清掃 72
 布を貼らないプラテンの清掃 75

消耗品の交換 76
 インクパックのかくはんと交換 76
 廃インク処理 79
 ヘッドクリーニングセットの交換 81
 キャップユニットセットの交換 84
 エアフィルターの交換 86

その他のメンテナンス 88
 ノズルの目詰まりチェック 88
 プリントヘッドのクリーニング 90
 [プリンターモード] の切り替え 91
 長期間使用しないときの事前メンテナンス 93

使用済み消耗品の処分 97
 廃棄 97

操作パネルのメニュー 98

設定メニュー一覧 98
 設定メニューの説明 102
 本体設定メニュー 102
 メディア設定メニュー 106
 プリンターのお手入れメニュー 108
 消耗品情報メニュー 109
 情報確認メニュー 109

困ったときは 110

メッセージが表示されたとき 110
 メンテナンスコール/プリンターエラーが発生したときは 111

トラブルシューティング 112
 印刷できない (プリンターが動かない) 112
 プリンターは動くが印刷されない 112
 印刷品質/印刷結果のトラブル 114
 その他 122

お問い合わせいただく前に 125
 エプソンのウェブサイトのQ&A 125
 ファームウェアのバージョンアップ 125
 トラブルが解消されないときは 125

付録 126

消耗品とオプション 126
 インクパック 126
 メンテナンス用品 126
 その他 127

移動・輸送時のご注意 128
 移動の準備 128
 移動後の本機の設定 130
 輸送の方法 130

印刷可能領域 131
 メディアの厚さと [プラテンギャップ] の設定値の対応表 132
 ハンガープラテン L/M/S サイズ、XS サイズプラテン使用時 132
 袖用、ポロ/ジッパー用プラテン使用時 133

システム条件 134
 Epson Edge Dashboard 134
 Garment Creator 2/Garment Creator for SC-F3000 Series 135
 Garment Creator Easy Print System (Windowsのみ) 135
 Web Config 136

仕様一覧 137
 サービス・サポートのご案内 139
 各種サービス・サポートについて 139
 保守サービスのご案内 139



お問い合わせ先 141
 製品に関する諸注意と適合規格 142

マニュアルの見方




マークの意味

安全に関するマーク

マニュアルでは、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、危険を伴う操作や取り扱いを次の記号で警告表示しています。内容をご理解の上で本文をお読みください。

 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および財産の損害の可能性が想定される内容を示しています。

一般情報に関する表示

 重要	必ず守っていただきたい内容を記載しています。この内容を無視して誤った取り扱いをすると、製品の故障や、動作不良の原因になる可能性があります。
 参考	補足説明や参考情報を記載しています。
	関連する内容の参照先を示しています。
【プリンター設定】	操作パネルやコンピューターの画面に表示される文字列は[]で囲んで示します。
【OK】ボタン	操作パネルのボタン名称を示しています。

掲載画面

- 本書の画面は実際の画面と多少異なることがあります。また、OSの違いや使用環境によっても異なる画面となることがありますので、ご注意ください。
- 本書に掲載する Windows の画面は、特に指定がない限り Windows 10 の画面を使用しています。

掲載イラスト

掲載しているイラストが、お使いの機種と若干異なる場合がございます。ご了承ください。

マニュアルの構成

本製品のマニュアルは、以下の構成で提供しています。PDF マニュアルは、Adobe Acrobat Reader やプレビュー (Mac) などでご覧ください。

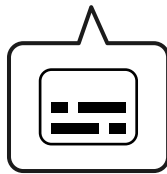
セットアップガイド (冊子)	本機を箱から取り出した以降から、本機を使用可能にするまでの作業を説明しています。作業を安全に行うために、必ずご覧ください。
ユーザーズガイド (抜粋版) (PDF)	日常使用するうえで必要な、基本の操作とメンテナンスの方法を説明しています。
オンラインマニュアル	
ユーザーズガイド (本書)	本機の基本的な操作方法や日常お使いいただく上で必要な事項、メンテナンス作業、困ったときの対処方法などを説明しています。
Epson Video Manuals (動画)	T シャツ (メディア) のセットやメンテナンスの方法を動画でご覧になれます。
ネットワークガイド (PDF)	ネットワークプリンターとして使用するための情報を記載しています。
DTF フィルム印刷ガイド (PDF)	市販の DTF (Direct to Film) 印刷用のフィルムやパウダーを使った印刷手順を説明しています。

動画マニュアルの見方

動画マニュアルは YouTube にアップしています。オンラインマニュアルのトップページから [Epson Video Manuals (動画)] をクリックするか、以下の青字の部分をクリックしてご覧いただけます。

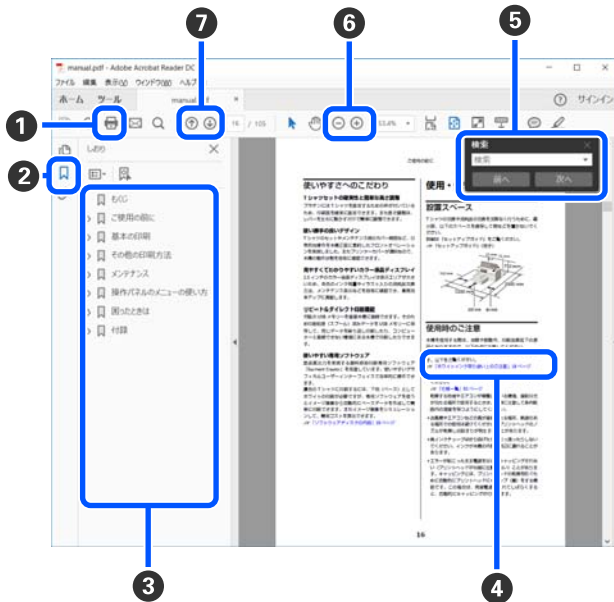
[動画マニュアル](#)

なお、動画再生時に字幕が表示されないときは、字幕アイコン（下図の囲み部）をクリックしてください。



PDF マニュアルの見方

Adobe Acrobat Reader で PDF マニュアルを見る際の基本的な操作を Adobe Acrobat Reader DC で表示したときを例に説明します。



- ① PDF マニュアルを印刷するときにクリックします。
- ② クリックするたびに、しおりを閉じたり表示したりします。

- ③ タイトルをクリックすると該当のページが表示されます。

[+] をクリックすると、下の階層のタイトルが表示されます。

- ④ 参照先が青字で記載されているときは、青字の部分をクリックすると該当のページが表示されます。元のページに戻るときは、以下のように行います。

Windows の場合

Alt キーを押したまま ← キーを押します。

Mac の場合

command キーを押したまま ← キーを押します。

- ⑤ 確認したい項目名などキーワードを入力して検索ができます。

Windows の場合

PDF マニュアルのページ上で右クリックし、表示されたメニューで [簡易検索] を選択すると、検索ツールバーが表示されます。

Mac の場合

[編集] メニューで [簡易検索] を選択すると、検索ツールバーが表示されます。

- ⑥ 表示中の文字が小さくて見えにくいときは ⊕ をクリックすると拡大します。⊖ をクリックすると縮小します。イラストや画面図など拡大する部分を指定するには、以下のように行います。

Windows の場合

PDF マニュアルのページ上で右クリックし、表示されたメニューで [マーカーズーム] を選択します。ポインターが虫眼鏡に変わりますので拡大したい箇所を範囲指定します。

Mac の場合

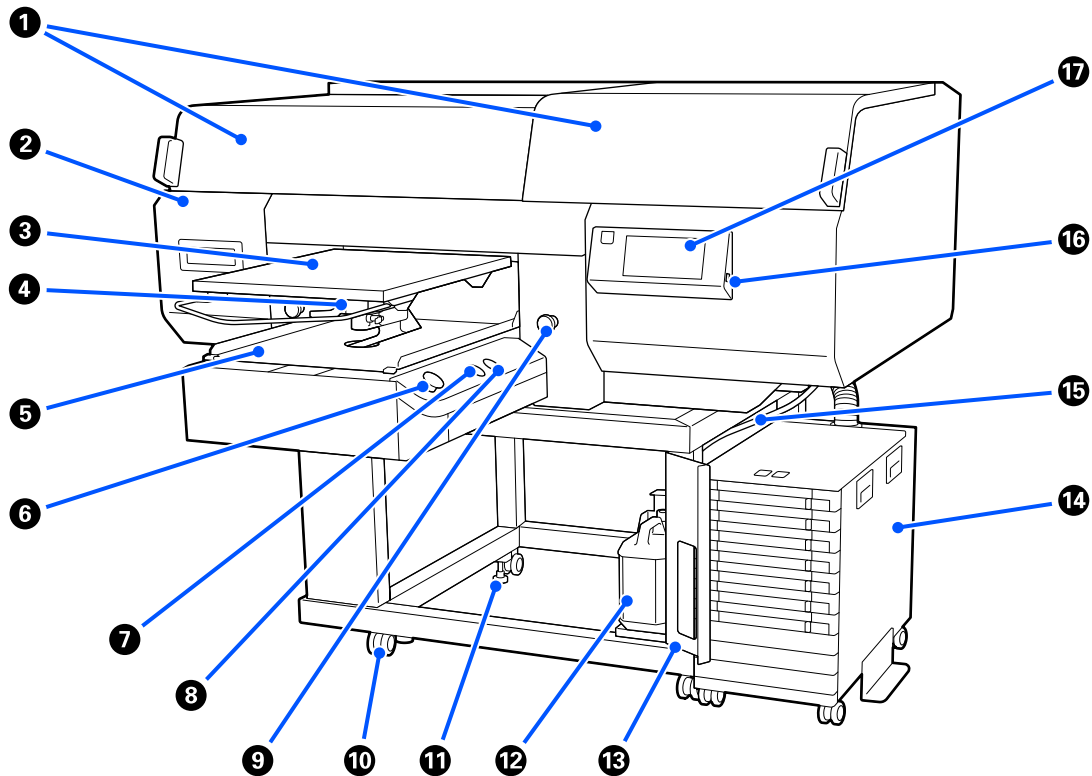
[表示] メニュー - [ズーム] - [マーカーズーム] の順にクリックすると、ポインターが虫眼鏡に変わります。そのまま虫眼鏡のポインターで拡大したい箇所を範囲指定します。

- ⑦ 前ページ/次ページを表示します。

ご使用前に

各部の名称と働き

正面



① プリンターカバー（左） / （右）

消耗品交換時や吸引キャップの清掃時に開けます。通常は必ず閉めた状態でお使いください。

参考

プリンターカバーの上には物を置くことができます。（左右それぞれ耐荷重 5kg まで）
落下による破損やけがのおそれがあるため、物を置いたままカバーを開閉しないでください。

② メンテナンスカバー

プリントヘッドの清掃時に開けます。

③ プラテン

T シャツをセットする台です。本機に付属のプラテン以外にサイズや用途に応じた 5 種のプラテンをオプションで用意しています。

☞ [「消耗品とオプション」 126 ページ](#)

④ プラテンギャップ調整レバー

プラテンポジションを調整します。高さは 9 段階で調整できます。

☞ [「プラテンポジションの切り替え方」 46 ページ](#)

⑤ 可動台

プラテンを印刷位置、T シャツセット位置に移動させます。

⑥ 【◇】 ボタン (スタートボタン)

印刷開始時に押します。ボタンがランプになっており、印刷が開始できるか点灯/点滅して示します。

点灯 : 印刷を開始できます。

点滅 : 印刷中です。

⑦ 【||】 ボタン (ポーズボタン)

ジョブ送信済みのときにボタンを押すとジョブキャンセル確認画面が表示されます。[中止] を選択すると処理中の印刷をキャンセルできます。

メッセージやメニュー表示中に押すと、メッセージやメニューを終了して待機中などに戻ります。

⑧ 【↑】 ボタン (プラテン移動ボタン)

プラテンが本機手前にあるときにボタンを押すと本機内部に移動します。逆に本機内部にあるときにボタンを押すと手前に移動します。プラテンの移動中に押すと、移動が停止します。

⑨ 緊急停止ボタン

可動台の左右 2 カ所にあります。緊急時に押すと、プラテンが停止し、電源供給が遮断されます。

☞ [「緊急停止ボタンを押した」 124 ページ](#)

⑩ キャスター

左右の脚部に、2 つずつ付いています。本機を設置後は、前方のキャスターを常にロックした状態でお使いください。

⑪ 固定具

左右の脚部に 2 つずつ付いています。本機を設置後は、必ず床に下ろした状態でお使いください。

☞ [「セットアップガイド」 \(冊子\)](#)

⑫ 廃インクボトル

廃インクをためる容器です。操作パネルの画面メッセージに従って新しい廃インクボトルと交換してください。

☞ [「廃インク処理」 79 ページ](#)

⑬ 廃インクボトルカバー

廃インクボトルを交換するときに開けます。通常は必ず閉めた状態でお使いください。

⑭ インクユニット

☞ [「インクユニット」 12 ページ](#)

⑮ 廃インクチューブ

廃インクを排出するチューブです。チューブ先端を必ず廃インクボトルに入れた状態でお使いください。

⑯ USB メモリーポート

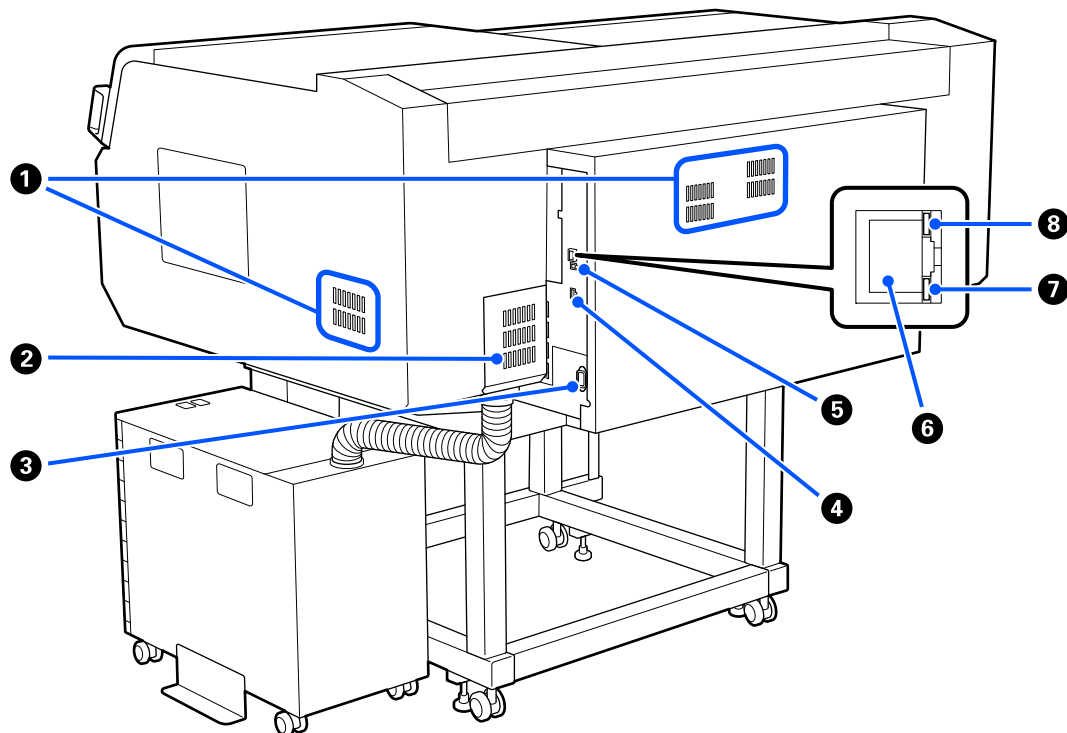
USB メモリーを接続します。

☞ [「USB メモリーから印刷」 62 ページ](#)

⑰ 操作パネル

☞ [「操作パネル」 14 ページ](#)

背面



① 通風口

本機には、通風口のある機体とない機体があります。通風口がある場合は、通風口を塞がないでください。

② コネクターカバー

セットアップでインクユニットのコネクターを本機に接続した以降は、開閉しないでください。

③ 電源コネクター

本機に付属の電源コードを接続します。

④ Option ポート

インクユニットに付属の接続ケーブルを接続します。

⑤ USB ポート

USB ケーブルを接続します。

⑥ LAN ポート

LAN ケーブルを接続します。LAN ケーブルは、シールドツイストペアケーブル（カテゴリー 5 以上）を使用してください。

⑦ データランプ

ネットワークの接続状態またはデータの受信状態が点灯/点滅で示されます。

点灯 : 接続状態です。

点滅 : 接続状態です。データ受信中です。

⑧ ステータスランプ

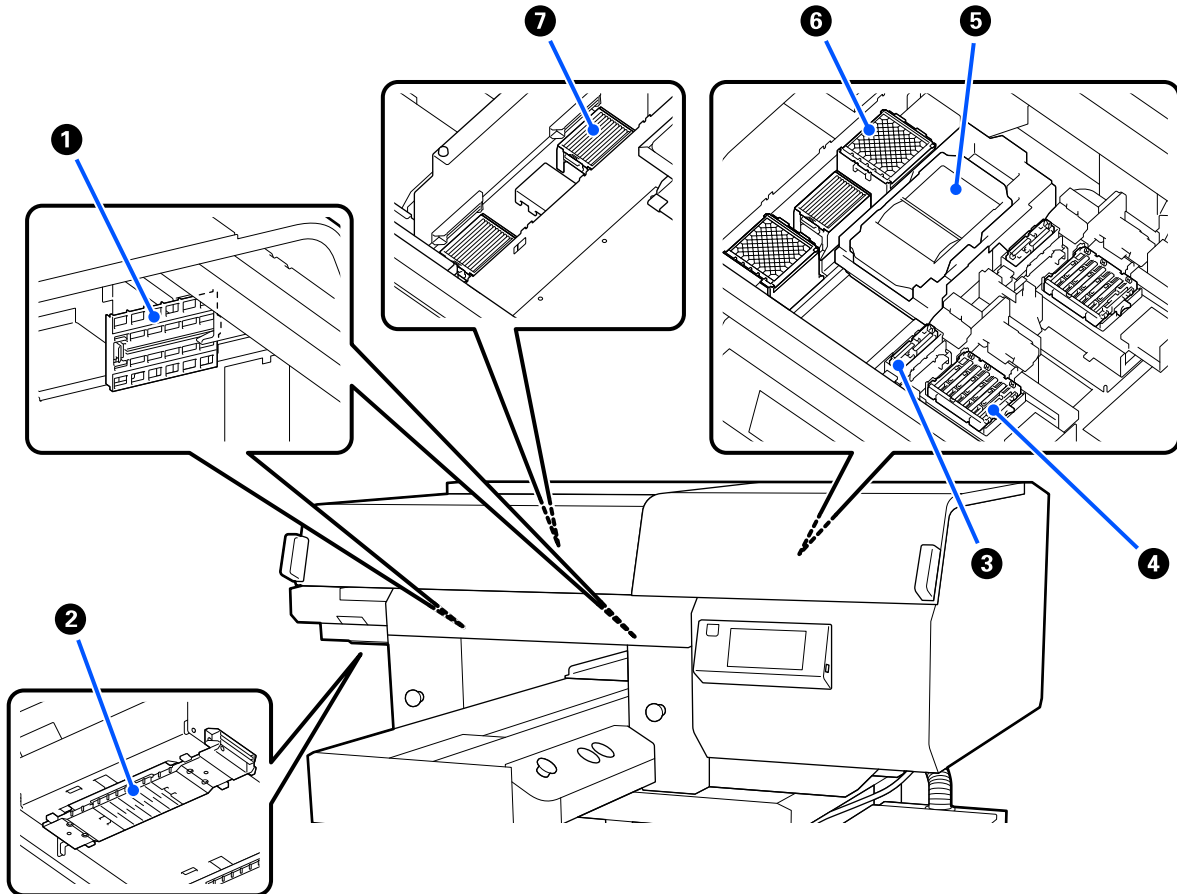
ネットワークの通信速度が色で示されます。

赤色 : 100Base-TX

緑色 : 1000Base-T

内部

以下の各部位が汚れると、良好な印刷結果が得られません。各項目に記載の参照ページをご覧ください。定期的に清掃や交換をしてください。



① センサーカバー（左右 2 カ所）

開口部の左右にあるプラテン位置を検知するセンサーが汚れないように保護します。メッセージが表示されたら清掃してください。

☞ [「センサーカバーの清掃」 68 ページ](#)

② プリントヘッド

左右に移動しながらインクを吐出して印刷します。ホワイト用、カラー用の 2 つのプリントヘッドがあります。[プリントヘッドのクリーニング] をしてもノズルの目詰まりが解消されないときは、清掃してください。

☞ [「プリントヘッド周辺と板金のフチの清掃」 70 ページ](#)

③ 吸引キャップ

プリントヘッドのクリーニング時にインクを吸引して、ノズルの目詰まりを解消します。ホワイト用、カラー用の 2 つの吸引キャップがあります。メッセージが表示されたら清掃してください。

☞ [「吸引キャップの清掃」 72 ページ](#)

④ 乾燥防止キャップ

印刷時を除き、このキャップでプリントヘッドのノズルを塞いで乾燥を防ぎます。ホワイト用、カラー用の 2 つの乾燥防止キャップがあります。乾燥防止キャップは消耗品です。メッセージが表示されたら交換してください。

☞ [「キャップユニットセットの交換」 84 ページ](#)

⑤ ワイパーユニット

プリントヘッドのノズルに付いたインクを拭き取ります。ワイパーユニットは消耗品です。メッセージが表示されたら交換してください。

☞ [「ヘッドクリーニングセットの交換」 81 ページ](#)

⑥ フラッシング用吸収材（前後 2 カ所）

フラッシング時にインクがここに排出されます。フラッシング用吸収材は消耗品です。メッセージが表示されたら交換してください。

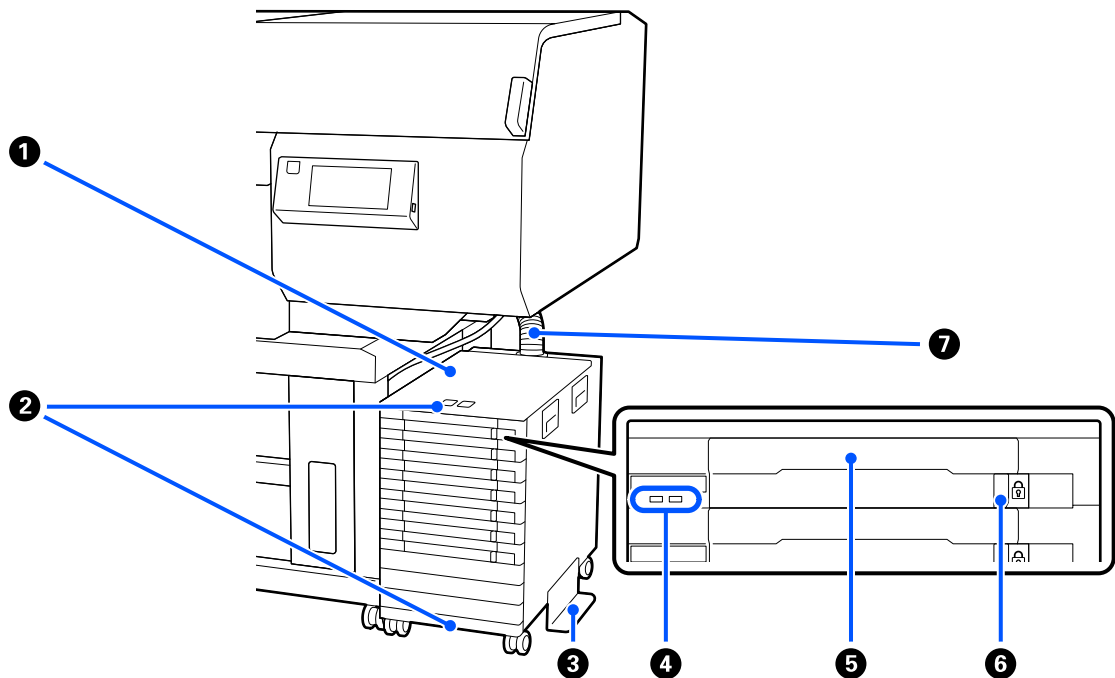
☞ [「ヘッドクリーニングセットの交換」 81 ページ](#)

⑦ エアフィルター（左右合計 3 カ所）

動作時の本機内部の空気が通るフィルターです。エアフィルターは消耗品です。メッセージが表示されたら交換してください。

☞ [「エアフィルターの交換」 86 ページ](#)

インクユニット

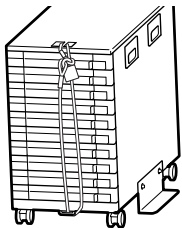


① インクユニット

本機にインクを供給します。

② セキュリティワイヤー取り付け部

インクパックの無断持ち出しを防止するため、市販のセキュリティワイヤーを上下の取り付け部に通して取り付けます。



③ 転倒防止板

インクユニットの転倒防止のため、必ず取り付けてお使いください。

④ LED ランプ

対象のトレイに装着しているインクパックやインクユニットの状態が以下の通り点灯/点滅で示されます。

青色 点灯 : 本機にインクを供給中です。トレイを引き出さないでください。

青色 点滅 : インクパックのかくはん時期です。トレイを引き出してかくはんしてください。

[📖 「かくはんの方法」 76 ページ](#)

オレンジ 点灯/点滅 : エラーまたは警告が生じています。点灯か点滅かは、エラー/警告の内容によって異なります。エラー/警告の内容は操作パネルの画面で確認できます。

消灯 : 問題ありません。必要に応じてトレイを引き出せます。

⑤ インクパケットレイ

ラベルで示す色のインクパックを装着します。全てのインクパケットレイをインクユニットにセットしてください。

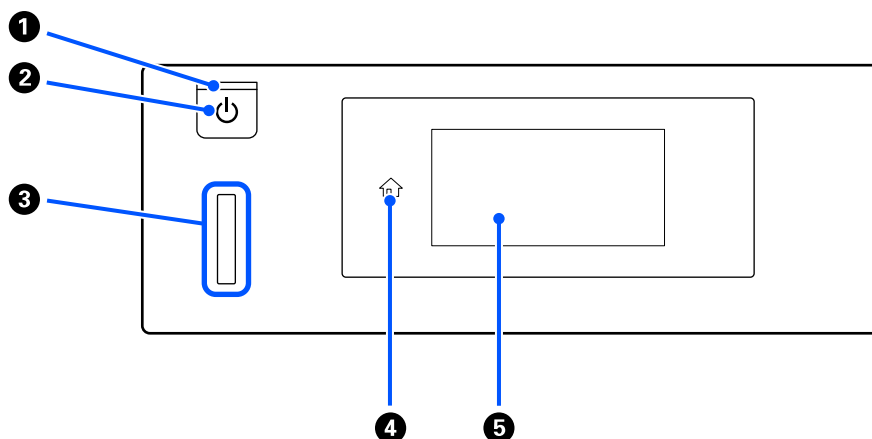
⑥ ロックスイッチ

トレイを引き出すときは、ロックスイッチを右にシフトしてロックを解除します。トレイをセット後はロックスイッチを左にシフトしてロックします。

⑦ インクチューブ

インクパックから本機にインクを供給するチューブです。

操作パネル



① 点ランプ（電源ランプ）

本機の動作状態が点灯/点滅で示されます。

点灯 : 電源が入っています。

点滅 : データ受信中または本機の電源を切る、可動台移動中などの処理中です。

消灯 : 電源が入っていません。

② 【点】ボタン（電源ボタン）

本機の電源を入れたり、切ったりします。

③ アラートランプ

エラーが発生すると点灯/点滅します。

点灯/点滅 : エラーが生じています。点灯か点滅かは、エラーの内容によって異なります。
エラーの内容は操作パネルの画面で確認できます。

消灯 : 問題ありません。

④ 家（ホーム）

メニュー表示中に押すと、ホーム画面に戻ります。家（ホーム）が使えないときは、消灯します。

⑤ 画面

本機の状態やメニュー、エラーメッセージなどを表示するタッチパネルです。画面に表示されたメニュー項目や選択肢を指で軽く押して（タップして）選択したり、押したまま指を動かして画面をスクロールしたりできます。

📄 [「画面の見方と操作」15 ページ](#)

画面の見方と操作

操作パネル使用時のご注意

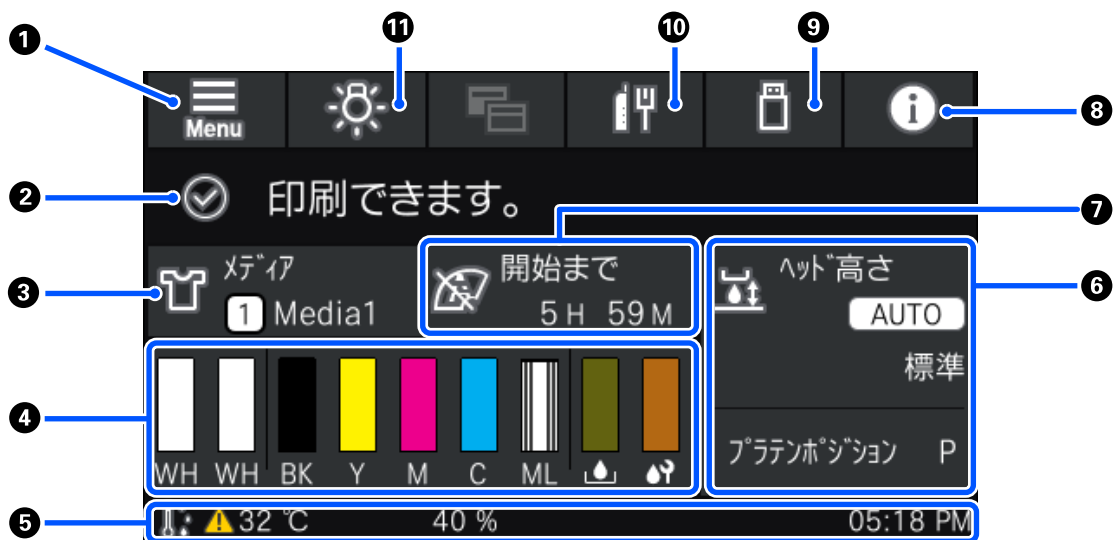
- パネルは指でタッチしてください。指で触れたときのみ動作します。
- 指以外で操作したとき、濡れた指や手袋をした手で操作したとき、パネル上に保護シートやシールが貼られた状態で操作したときは、動作しないことがあります。
- ボールペンやシャープペンシルなどの先のとがったもので操作しないでください。パネルを傷付けるおそれがあります。
- パネルが汚れたら柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどいときは、中性洗剤を薄めた溶液に柔らかい布を浸し、よく絞ってから汚れを拭き取り、その後乾いた柔らかい布で拭いてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどの揮発性薬品は使わないでください。パネルの表面を傷めることがあります。
- 急激に温度、湿度が変化する環境で使用しないでください。パネル内部に結露が発生し、性能が劣化する原因になります。
- 画面の一部に点灯しない画素や常時点灯する画素が存在する場合があります。また液晶の特性上、明るさにムラが生じることがありますが、故障ではありません。

画面の見方

ホーム画面、印刷ジョブ受信時、印刷中の3つの状態を説明します。

ホーム画面

本機の状態を確認したり、設定を行ったりできます。




① (メニュー)

設定メニューが表示されます。

[「操作パネルのメニュー」 98 ページ](#)

② 状態表示エリア

本機の状態や消耗品の交換時期などのお知らせが表示されます。本エリアには最新のお知らせのみが表示されます。  (プリンター状態) を押すと全てのお知らせを確認できます。

③ メディア情報

現在選択中のメディア設定番号と名称が表示されます。本エリアを押すと設定メニューの [メディア設定] が表示され、別のメディア設定番号に変更したり、選択中のメディア設定番号の設定を変更したりできます。

[🔗 「メディア設定メニュー」 106 ページ](#)

④ 消耗品の状態

インクパック/クリーニングインクパック、廃インクボトル、ヘッドクリーニングセットの状態が次のように表示されます。本エリアを押すと、消耗品の型番などを確認できる詳細画面が表示されます。



インクパック/クリーニングインクパックの状態

インク/クリーニング液の残量の目安が表示されます。残量が少なくなるとバーが低くなります。バーの下のアルファベットはインク色の略号です。略号とインク色の対応は以下のとおりです。

- WH : ホワイト
- CL : クリーニングインクパック
- BK : ブラック
- Y : イエロー
- M : マゼンタ
- C : シアン
- ML : メンテナンスリキッド

インクパックの状態に応じてアイコンが表示されます。アイコンの意味は以下のとおりです。



： インクが残り少ないため、新しいインクパックの準備が必要です。



： インクのかくはん時期です。インクパックをかくはんしてください。

[🔗 「振り方」 76 ページ](#)



： クリーニングインクパックが装着されています。



廃インクボトルの状態

廃インクボトルの空き容量の目安が表示されます。空き容量が少なくなるとバーが低くなります。

アイコンが表示されたら新しい廃インクボトルの準備が必要です。



ヘッドクリーニングセットの状態

ワイパーユニットの残量の目安が表示されます。ワイパーユニットの残量が少なくなるとバーが低くなります。

アイコンが表示されたら新しいヘッドクリーニングセットの準備が必要です。

⑤ フッター

左側には本機周辺の温度・湿度が、右側には現在時刻や操作可能なボタンのガイドなどが表示されます。本機周辺の温度が約 30°C 以上になると、 が表示されます。表示されたまま使い続けると、30°C 未満での使用時より保守クリーニング*の実施頻度が増えます。室内温度を下げたり印刷を一時的に停止したりすると、プリントヘッド周辺の温度が下がることがあります。

*プリントヘッドを良好な状態に保つために一定時間が経過すると、本機が自動で実施するヘッドクリーニングです。

⑥ プラテンギャップ・プラテンポジション

上側には、現在選択中のメディア設定の [プラテンギャップ] の設定内容が表示されます。

下側には、プラテンギャップ調整レバーの現在位置が表示されます。

本エリアを押すと、[プラテンギャップ] の設定画面が表示されます。

7 保守クリーニングの実施時期予告



保守クリーニングまでの残り時間が表示されます。プリントヘッド周辺温度によっては実施時期が大きく変わることがあります。

本エリアを押すと、画面に以下が表示されます。

- 保守クリーニングが実施されるまでの残り時間
- 定期クリーニングが実施されるまでの時間または印刷ページ数
- 予防クリーニングの実施メニュー

保守クリーニングの実施時期が迫っているときは、事前にクリーニングを実施すると印刷が中断されず効率的です。

8 ⓘ (プリンター状態)

消耗品の残量が少ないなどのお知らせがあるときは、のようにアイコンの右上に が表示されます。本ボタンを押して表示される画面で [メッセージ一覧] を押すと、対処が必要なお知らせの一覧画面が表示されます。一覧画面で各項目を押すと、対処方法や詳細情報を確認できます。内容に応じて対処したものは、一覧から消去されます。


9 (USB 印刷)


USB メモリー内の印刷ジョブを選択して印刷/削除できます。USB メモリー接続時のみ有効です。


[🔗 「USB メモリーから印刷」 62 ページ](#)

10 / (ネットワーク接続状態・ネットワーク設定)

有線 LAN でのネットワーク接続状態を以下のとおりアイコンで示します。

接続オン: 

接続オフ: 

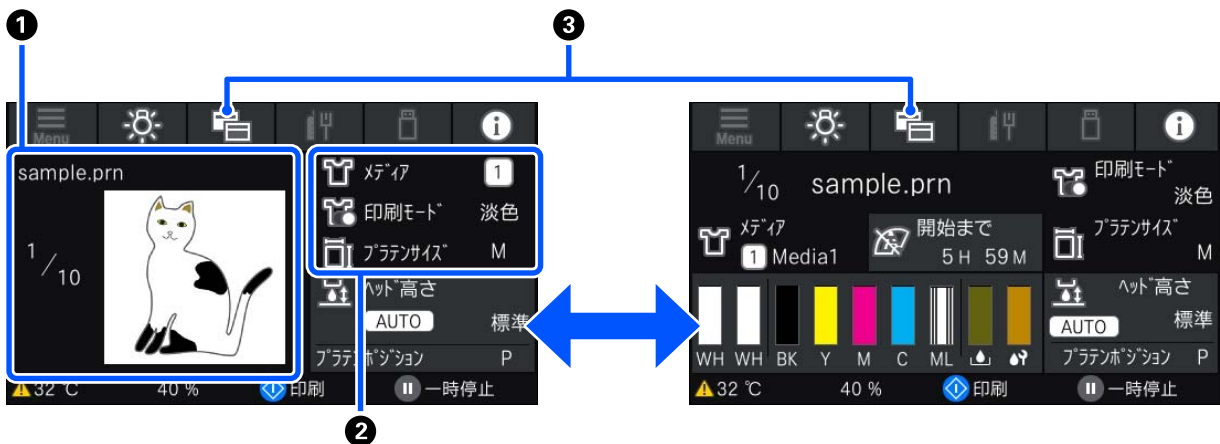
アイコン表示が上記のどちらかのときに本エリアを押すと、[ネットワーク設定] の設定画面が表示されます。アイコン表示が  になっているときは無効です。

11 (内部照明)

内部照明の点灯、消灯を切り替えます。内部照明がついているときに、このボタンを押すと消灯します。消えているときに押すと点灯します。本機の動作状態によっては点灯操作をしても点灯しないことがあります。

印刷ジョブ受信時

本機に印刷ジョブが送信されると、プレビュー画面 (左下の画面) に切り替わります。他の画面と異なる部分のみ説明します。



1 プレビュー画像表示エリア

印刷ジョブのプレビュー画像を確認できます。プレビュー画像の左側には印刷部数が表示されます。

② 印刷設定確認エリア

印刷ジョブと本機で選択中のメディア設定が表示されます。

③ (表示切り替え)

ボタンを押す度に、情報表示画面とプレビュー画面に表示が切り替わります。
本ボタンは、印刷ジョブ受信時にのみ有効です。

参考

[本体設定] - [基本設定] - [画面カスタマイズ] - [印刷開始画面] で、印刷ジョブ受信時の画面をプレビュー画面/情報表示画面のどちらか一方に固定することもできます。詳細は以下をご覧ください。



[🔗 「本体設定メニュー」 102 ページ](#)

印刷中

【◇】 ボタンを押して印刷を開始すると、以下の画面に切り替わります。他の画面と異なる部分のみ説明します。



① 状態表示エリア

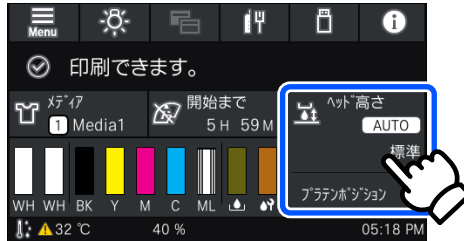
- エリアの左端から右端に向かって徐々に色が変わり、印刷の進捗状態を示します。
- エリアの右端に  (ポーズ) が表示されます。本機の【】ボタンと同じ働きをします。

② 設定/状態確認エリア

現在印刷中のジョブと本機の設定内容が表示されます。印刷中に設定変更はできません。

操作方法

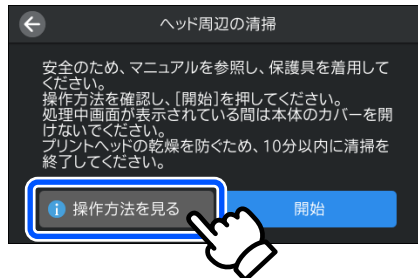
ホーム画面・ジョブ受信時・印刷中の画面では、グレーのタイル状のエリアが操作エリアです。押すと画面が遷移したり設定値が変わったりします。黒地のエリアは表示エリアです。押しても反応しません。



操作エリアは、押して操作します。以下のようにスクロールバーが表示されているときは指を上下に動かして（スライド）画面をスクロールできます。スクロールはスクロールバー上下のアイコンを押して行うこともできます。



メッセージの画面などに「操作方法を見る」ボタンがあるときは、このボタンを押して操作手順のガイドを確認できます。



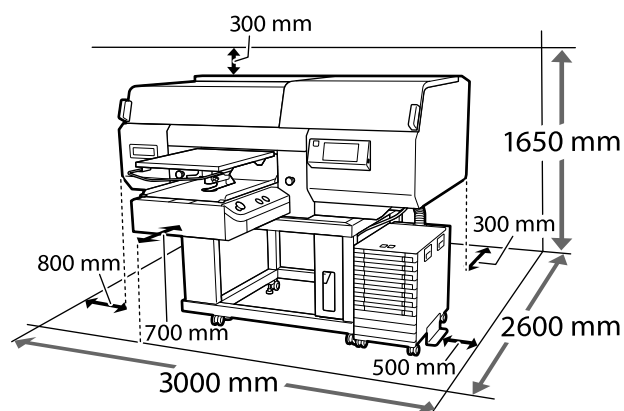
使用・保管時のご注意

設置スペース

Tシャツのセットや消耗品の交換を支障なく行うために、最小限、以下のスペースを確保して物などを置かないでください。

詳細は『セットアップガイド』をご覧ください。

☞『セットアップガイド』（冊子）



使用時のご注意

本機を使用する際は、故障や誤動作、印刷品質低下の原因となりますので、以下の点に注意してください。ホワイトインク使用時は下記以外にも注意事項があります。以下をご覧ください。

☞『ホワイトインク取り扱い上のご注意』22ページ

- 「仕様一覧」に記載の温度・湿度範囲を守って使用してください。

☞『仕様一覧』137ページ

乾燥する地域やエアコンが稼働している環境、直射日光が当たる場所で使用するときは、乾燥に注意して条件範囲内の湿度を保つようにしてください。

- 送風機やエアコンなどの風が直接当たる場所、熱源のある場所での使用は避けてください。プリントヘッドのノズルが乾燥し目詰まりが発生することがあります。
- 廃インクチューブは折り曲げたり、引っ張ったりしないでください。インクが本機の内部や周辺に漏れることがあります。
- エラーが起こったまま電源を切るとキャッピングされない（プリントヘッドが右端に位置しない）ことがあります。キャッピングとは、プリントヘッドの乾燥を防ぐために自動的にプリントヘッドにキャップ（蓋）をする機能です。この場合は、再度電源を入れてしばらくすると、自動的にキャッピングが行われます。

- 本機の電源が入っている状態で、電源プラグをコンセントから抜いたり、プレーカーを落としたりしないでください。プリントヘッドがキャッピングされないことがあります。この場合は、再度電源を入れてしばらくすると、自動的にキャッピングが行われます。
- プrintヘッドを良好な状態に保つため、印刷時以外にもプリントヘッドのクリーニングなどのメンテナンス動作でインクおよびクリーニング液が消費されます。
- 本機が動作中はインクパックを抜かないでください。故障の原因になります。
- 使用頻度や推奨時期に応じて清掃や消耗品交換などのメンテナンスが必要です。メンテナンスを怠ると印刷品質劣化の原因になります。
☞『メンテナンス』64ページ
- 可動台、プラテンは手で動かさないでください。本機の故障の原因になります。
- 本機は電源を入れると、プリントヘッドを良好な状態に保つためメンテナンスをします。そのため頻繁に電源を切ったり入れたりすると、その都度メンテナンス動作によりインクを消費することがあります。インクの消費を抑えるためにも、本機は電源を入れたままでの使用をお勧めします。

使用しないときのご注意

本機を使用しないときは、以下の点に注意して保管してください。保管状態が適切でないと、印刷再開時に正しく印刷できないことがあります。

ホワイトインク使用時は下記以外にも注意事項があります。以下をご覧ください。

☞『ホワイトインク取り扱い上のご注意』22ページ

- 本機を長期間使用しない（電源を切る）ときは、別売のクリーニングインクパックを使って、長期保管処理をしてください。そのまま放置するとヘッドの目詰まりが解消できなくなります。詳細は以下をご覧ください。
☞『長期間使用しないときの事前メンテナンス』93ページ
- 長期保管処理をせずに長期間使用しないときは、7日に1度は電源を入れてください。印刷しない期間が長くなると、プリントヘッドのノズルが乾燥し目詰まりを起こすことがあります。電源を入れると起動後、自動で保守クリーニングが行われます。保守クリーニングを行うことで、プリントヘッドの目詰まりを防ぎ印刷品質を維持できます。保守クリーニングが終了するまで電源を切らないでください。

- 本機を長期間使用しなかったときは、印刷を再開する前に必ずプリントヘッドの目詰まりの状態を確認してください。プリントヘッドに目詰まりが確認されたときは、プリントヘッドのクリーニングを行ってください。
☞「ノズルの目詰まりチェック」88ページ
- 本機の電源が入っていても、廃インクチューブ内にたまったインクがこぼれることがあります。廃インクボトルは、本機の電源が入っていないときも必ず設置してください。
- プrintヘッドがキャッピングされている（プリントヘッドが右端に位置している）ことを確認してから本機を保管してください。キャッピングされていない状態で長時間放置すると、印刷不良の原因となったり、ノズルの目詰まりが解消できなくなることがあります。キャッピングされていないときは、本機の電源を入れ、キャッピングされたことを確認したら再度切ってください。
- ホコリが入らないようカバーなどを全て閉めて保管してください。
また、長期間使用しないときは、静電気の発生しにくい布やシートなどを掛けておくことをお勧めします。
プリンターのノズルは大変小さいものです。そのため、目に見えない小さなホコリがプリントヘッドに付着すると、目詰まりして正しく印刷できないことがあります。

インクパック/クリーニングインクパック取り扱い上のご注意

インクパック/クリーニングインクパックは、良好な印刷品質を保つために、以下の点に注意して取り扱ってください。

ホワイトインク使用時は下記以外にも注意事項があります。以下をご覧ください。

☞「ホワイトインク取り扱い上のご注意」22ページ

- 購入直後のインク初回充填では、プリントヘッドノズルの先端部分までインクを満たして印刷できる状態にするため、その分インクを消費します。交換用のインクパックをお早めにご準備ください。
- インクパック/クリーニングインクパックは直射日光を避けて常温で保管してください。
- インクパックは良好な印刷品質を得るために、以下の期日のうち早い方の期日までを使い切ることをお勧めします。
 - 個装箱に印刷された推奨使用期限
 - インクパケットレイに装着した日から1年

- インクパック/クリーニングインクパックを寒い所に長時間保管していたときは、4時間以上室温で放置してからお使いください。
- インクパック/クリーニングインクパックのICチップには触らないでください。正常な動作・印刷ができなくなるおそれがあります。
- 全てのインクパケットレイにインクパックを装着してインクユニットにセットしていないと印刷できません。
- インクパックを取り外した状態で本機を放置しないでください。本機内部のインクが乾燥し、正常に印刷できなくなるおそれがあります。本機を使用しないときも、インクパックを全てのインクパケットレイに装着したままにしてください。
- インクパック/クリーニングインクパックは、ICチップで残量などの情報を管理しているため、本機から取り外しても再装着して使用できます。
- 使用途中で取り外したインクパックを保管するときは、事前に付属のメンテナンスキットの太いクリーニング棒でインク供給孔部に付着しているインクを吸着させてください。供給孔部のインクが乾燥すると、再装着して使用するときインク漏れの原因となります。詳細な清掃方法は、以下をご覧ください。
☞「事前メンテナンスの方法」93ページ
また、インク供給孔部にホコリが付かないように保管してください。インク供給孔内には弁があるため、蓋や栓をする必要はありません。
- 取り外したインクパックはインク供給孔部にインクが付いていることがありますので、周囲を汚さないようにご注意ください。
- 本製品はプリントヘッドの品質を維持するため、インクが完全になる前に動作を停止するように設計されており、使用済みインクパック内にインクが残ります。
- インクパック/クリーニングインクパックに再生部品を使用している場合がありますが、製品の機能および性能には影響ありません。
- インクパック/クリーニングインクパックを分解または改造しないでください。正常に印刷できなくなるおそれがあります。
- インクパック/クリーニングインクパックを落とすなど、強い衝撃を与えないでください。インクパック/クリーニングインクパックから液が漏れることがあります。

- インクユニットに装着したインクパック (WH を除く) は 1 カ月に 1 度、取り出してよく振ってください。WH は、毎日の印刷業務開始前に取り出してよく振ってください。クリーニングインクパックと ML は、振る必要はありません。振り方 [☞ 「かくはんの方法」 76 ページ](#)

ホワイトインク取り扱い上のご注意

ホワイトインクはインクの特長上、沈降（成分が液の底に沈んでたまること）しやすくなっています。沈降したまま使用すると印刷品質が低下したり、本機に不具合が生じたりすることがあります。良好にお使いいただくために、以下の点に注意して取り扱ってください。

- 装着したインクパックは、始業時および 24 時間（メッセージ表示時）に一度、取り出してよく振ってください。[☞ 「インクパックのかくはんと交換」 76 ページ](#)
- インクチューブ内のインク成分の沈降により印刷品質が低下することがあります。白さが足りなかったり、白がムラになる印刷結果になるときは、以下をご覧ください。[☞ 「白さが足りない/白がムラになる」 121 ページ](#)
- インクパック保管時は、平置き（平らに寝かせた状態）にしてください。縦長方向に立てた状態で保管すると、ご使用前にかくはんをしても成分の沈降を解消できないことがあります。
- 2 週間以上使用しないときは別売のクリーニングインクパックを使って、事前メンテナンスを実施してください。メンテナンスをしないまま放置するとヘッドの目詰まりが解消できなくなります。[☞ 「長期間使用しないときの事前メンテナンス」 93 ページ](#)

参考

本機をホワイトインクモードで利用中に、カラー印刷などカラーのインクだけの印刷でも、メンテナンスのためにホワイトインクを消費します。

Tシャツ（メディア）取り扱い上のご注意

出力後の T シャツの取り扱いや保管の際は、以下の点にご注意ください。

- 高温、多湿、直射日光を避けて保管してください。印刷後に高温環境で保管すると、印刷面が軟化してくっつくことがあります。
- 乾燥機は使用しないでください。
- ドライクリーニングはしないでください。
- 印刷面を裏返して洗濯し、裏返しのまま干してください。
- 漂白剤は使用しないでください。色落ちの原因になります。
- 印刷面に直接アイロンを当てないでください。
- 直射日光に長時間さらさないでください。
- アルコールなどの有機溶剤を付けないでください。
- 印刷物を塩化ビニール系の合成皮革上でこすらないでください。こすると色が移ることがあります。
- カラーインクのみ印刷面とホワイトインクのみ印刷面をこすり合わせると、色が移ることがあります。色が移ったときは、柔らかい布またはブラシに家庭用洗剤を付けて汚れを落としてください。
- 前処理剤を塗布してからインクを定着させた T シャツは、前処理剤の成分が残るため、着用前に洗濯（水洗い）してください。
- 前処理剤の跡が目立つときは、洗濯（水洗い）により改善しますが、生地により効果が異なります。
- 白または淡い色の T シャツに前処理剤を塗布すると、塗布面が黄ばむことがあります。前処理剤定着後は早めに印刷をして水洗いしてください。印刷せずに保管するときは、直射日光を避けてください。

前処理剤取り扱い上のご注意

- 前処理剤は直射日光を避けて常温で保管し、個装箱に印刷されている期限までに使用することをお勧めします。
- 前処理剤（ポリエステル用）は、開封前にかくはんしてください。かくはんせずに使用すると、前処理の効果が十分に出ないことがあります。開封後はかくはんする必要はありません。[☞ 「前処理剤（ポリエステル用）のかくはん」 33 ページ](#)
- 前処理剤（綿用）を保管中に白い凝固物が発生した場合は、ろ過して凝固物を取り除いてから使用してください。そのまま前処理に使用すると印刷結果にムラが発生します。[☞ 「前処理剤（綿用）のろ過（凝固物発生時のみ）」 35 ページ](#)

添付ソフトウェアの紹介

提供ソフトウェア

提供ソフトウェアは下表の通りです。

全てのソフトウェアの最新版は、epson.sn (<https://epson.sn>) からダウンロードしてインストールできます。コンピューターをインターネットに接続してインストールしてください。

各ソフトウェアの詳細は、各ソフトウェアのマニュアルを参照してください。

参考

プリンタードライバーは提供していません。印刷するにはエプソンが提供する印刷用ソフトウェア (Garment Creator 2/Garment Creator for SC-F3000 Series) または市販のソフトウェア RIP が必要です。エプソンのホームページでは、本機対応のプラグインソフトウェアなどを紹介しています。
<https://www.epson.jp>

ソフトウェア名称	概要
Garment Creator 2*	<p>ガーメントプリンター専用のソフトウェアです。T シャツ (メディア) への印刷と DTF (Direct to Film) フィルムへの印刷の両方に対応しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> 市販のドローソフトで作成した画像を読み込み、以下の設定を行いジョブを作成します。 <ul style="list-style-type: none"> 印刷するプラテンサイズに合わせて画像の配置や大きさの設定をする 印刷品質等の設定をする 作成したジョブを本機に送信したり、コンピューターに保存したりします。 <p>印刷ジョブの作成方法など詳細は、Garment Creator 2 のマニュアルをご覧ください。DTF フィルム印刷時の注意事項や本機へのフィルムのセット方法などの詳細は、『DTF フィルム印刷ガイド』 (オンラインマニュアル) をご覧ください。</p>
Garment Creator for SC-F3000 Series*	<p>32bit 版 OS のコンピューターをお使いの方向けのガーメントプリンター専用のソフトウェアです。T シャツ (メディア) への印刷にのみ対応しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> 市販のドローソフトで作成した画像を読み込み、以下の設定を行いジョブを作成します。 <ul style="list-style-type: none"> 印刷するプラテンサイズに合わせて画像の配置や大きさの設定をする 印刷品質等の設定をする 作成したジョブを本機に送信したり、コンピューターに保存したりします。 <p>詳細は、Garment Creator for SC-F3000 Series のマニュアルをご覧ください。</p>
Garment Creator Easy Print System* (Windows のみ)	<p>ホットフォルダーを作成して印刷するためのソフトウェアです。ホットフォルダーに画像ファイルをコピーするだけで印刷ジョブの作成とプリンターへ送信が自動で行われます。決まった印刷設定やレイアウト設定で頻繁に印刷を行うときに便利です。本ソフトウェアは Garment Creator 2/ Garment Creator for SC-F3000 Series をインストールしたコンピューターにインストールしてください。</p>
Epson Edge Dashboard*	<ul style="list-style-type: none"> インターネットでエプソンが提供する、以下の様々な情報をスムーズに取得いただけます。 <ul style="list-style-type: none"> プリンターファームウェアの更新情報 (Epson Edge Dashboard から簡単にファームウェアのアップデートが行えます) 付属のソフトウェアディスクやセットアップナビからインストールしたソフトウェアとマニュアルの更新情報 (更新情報が届いたら EPSON Software Updater を起動して、簡単にアップデートが行えます。) エプソンからのお知らせ Epson Edge Dashboard をインストールしたコンピューターとネットワークや USB 接続しているプリンターの状態を監視します。 <p>🔗 「Epson Edge Dashboard の使い方」 25 ページ</p>
EPSON Software Updater	<p>インターネット上に新しいソフトウェアや更新情報があるか確認してインストールするソフトウェアです。本機のマニュアルや Garment Creator 2、Garment Creator for SC-F3000 Series、Epson Edge Dashboard もアップデートできます。</p>

ご使用前に

ソフトウェア名称	概要
Epson 通信ドライバー (Windows のみ)	Epson Edge Dashboard、Garment Creator 2、Garment Creator for SC-F3000 Series 使用時やコンピューターと本機を USB 接続して使用するときは、Epson 通信ドライバーが必要です。必ずインストールしてください。
Install Navi	インストーラーです。インストール時に、ネットワークに接続するためのアドレス設定をウィザード形式で簡単に設定することもできます。
EpsonNet Config SE	コンピューターから本機のネットワークに関する各種設定を行うソフトウェアです。キーボードを使ってアドレスや名称を入力できるので便利です。 インストールを行うとマニュアルと一緒にインストールされます。

* インターネットからソフトウェアをダウンロードしてインストールします。コンピューターをインターネットに接続してインストールしてください。

参考

Mac で本機をお使いのときは、EPSON Software Updater には、ファームウェアの更新情報は届きません。
ファームウェアの更新情報は、Epson Edge Dashboard で確認して必要に応じてアップデートしてください。
詳細は、Epson Edge Dashboard のマニュアルをご覧ください。

内蔵ソフトウェア

本機にあらかじめ内蔵されているソフトウェアです。ネットワーク経由で Web ブラウザーから起動して使用します。

ソフトウェア名称	機能
Web Config	ネットワーク管理者向けのソフトウェアです。 ネットワークセキュリティの設定は Web Config から行います。本機のエラーなどをお知らせするメール通知機能もあります。 📄 「Web Config の使い方」 27 ページ

Garment Creator 2/ Garment Creator for SC-F3000 Series の使い方

参考

ソフトウェアは、随時バージョンアップを行い利便性の向上や機能強化をしています。最新の詳細情報は、ソフトウェアのマニュアルをご覧ください。

起動方法

次の方法で起動します。

Windows

- [スタート] - [すべてのプログラム] (または [プログラム]) - [Epson Software] の順にクリックし、お使いのソフトウェアを選択します。
- デスクトップのショートカットアイコンをダブルクリックします。

Garment Creator 2



Garment Creator for SC-F3000 Series



Mac

[移動] - [アプリケーション] - [Epson Software] の順に選択し、お使いのソフトウェアのアイコンをダブルクリックします。

Garment Creator 2



Garment Creator for SC-F3000 Series



Epson Edge Dashboard の使い方

参考

ソフトウェアは、随時バージョンアップを行い利便性の向上や機能強化をしています。最新の詳細情報は、ソフトウェアのマニュアルをご覧ください。

起動方法

Epson Edge Dashboard は Web アプリケーションです。

- 1 次の方法で起動します。

Windows

デスクトップのタスクバーにある [Epson Edge Dashboard] アイコンをクリックし、[Epson Edge Dashboard を開く] を選択します。



Mac

デスクトップのメニューバーにある [Epson Edge Dashboard] アイコンをクリックし、[Epson Edge Dashboard を開く] を選択します。



- 2 Epson Edge Dashboard が起動します。

本機の登録

Epson Edge Dashboard は登録したプリンターに対して監視・管理やメディア設定のコピーができます。

Windows では、本機が自動登録されるので、Epson Edge Dashboard を起動後すぐに監視・管理を行えます。自動登録されないときは、以下の条件で本機を使用しているか確認して手動で登録してください。

- 本機に付属の通信ドライバーがコンピューターにインストールされている
- コンピューターと本機が接続されている
- 本機が使用できる状態になっている

Macは自動登録されません。Epson Edge Dashboard を初めて起動したときはプリンターの登録画面が表示されるので手動で登録してください。

手動登録の手順

- 1 プリンターリストに表示されているプリンターを確認します。

Windows

目的のプリンターがプリンターリストにあることを確認します。必要に応じて [追加検索] をクリックしてください。クリックすると、登録可能なプリンターを検索してプリンターリストに追加します。

Mac

- コンピューターとプリンターを USB で接続しているとき
[追加検索] をクリックするとプリンターがリストアップされます。
- コンピューターとプリンターをネットワークで接続しているとき
[検索オプション] をクリックしてネットワーク上のプリンターの IP アドレスを入力し、**+** をクリックします。その後、[追加検索] をクリックすると目的のプリンターがリストアップされます。

- 2 登録するプリンターの [プリンター名] の横に✓を付けます。

- 3 [適用] をクリックします。

プリンターリストへの変更が確定します。

終了方法

Web ブラウザーを終了します。

EPSON Software Updater の使い方

更新されたか確認してアップデート

- 1 以下の状態になっていることを確認します。

- コンピューターがインターネットに接続されている。
- 本機とコンピューターが通信できている。

- 2 EPSON Software Updater を起動します。

Windows 8.1

検索チャームでソフトウェア名を入力して表示されたアイコンを選択します。

Windows 8.1 以外


スタートボタンをクリックして、[すべてのプログラム] (または [プログラム]) - [Epson Software] - [EPSON Software Updater] の順に選択します。

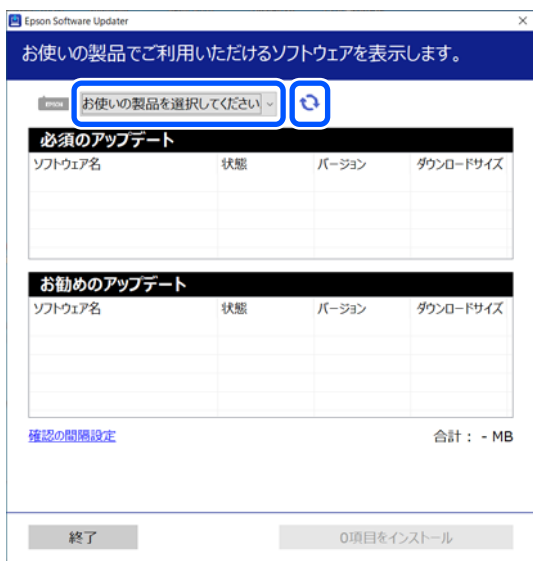
Mac

[移動] - [アプリケーション] - [Epson Software] - [EPSON Software Updater] の順に選択します。

参考

Windows では、デスクトップのタスクバーにあるプリンターアイコンをクリックして、[ソフトウェアアップデート] を選択しても起動できます。

- 3** お使いのプリンターを選択し、 をクリックして最新のソフトウェアの有無を調べます。



- 4** アップデートするソフトウェアやマニュアルを選んで、インストールボタンをクリックするとインストールが開始されます。



Windows のみ

ファームウェアアップデーターが表示されたときは、最新のファームウェアがあります。ファームウェアアップデーターを選んでインストールボタンをクリックすると、ファームウェアアップデーターが自動で起動し、プリンターファームウェアの更新が行われます。

画面の指示に従って操作してください。

!重要

更新中は、コンピューターや本機の電源を切らないでください。

参考

一覧に表示されないソフトウェアは EPSON Software Updater では更新できません。エプソンのウェブサイトでも最新のソフトウェアを確認してください。

<https://www.epson.jp>

アップデートの通知を受け取る

- 1** EPSON Software Updater を起動します。

- 2** 【確認の間隔設定】をクリックします。


- 3** 本機の【間隔】の欄で更新の確認を行う間隔を選択して【OK】をクリックします。

Web Config の使い方

起動方法や機能の概要を説明します。


起動方法

本機と同一のネットワークに接続しているコンピューターやスマートデバイスのブラウザーで起動します。

- 1**  を押し、[本体設定] - [ネットワーク設定] - [詳細設定] - [TCP/IP] の順に押し本機の IP アドレスを確認します。

参考

IP アドレスはネットワーク接続診断レポートを印刷することでも確認できます。レポートは、ホーム画面から以下の順に押し印刷します。

 - [本体設定] - [ネットワーク設定] - [接続診断]

- 2** 本機とネットワークで接続されているコンピューターやスマートデバイスで Web ブラウザーを起動します。

- 3 Web ブラウザーのアドレスバーに本機の IP アドレスを入力して、【Enter】または【Return】キーを押します。

書式：

IPv4：http://本機の IP アドレス/

IPv6：http://[本機の IP アドレス]/

例：

IPv4：http://192.168.100.201/

IPv6：http://[2001:db8::1000:1]/

機能概要

Web Config の主な機能を紹介します。



- インク残量などの本機の状態を確認できます。
- 本機のファームウェアのバージョン確認とアップデートをすることができます。
- 本機のネットワーク設定や、本機単体ではできない SSL/TLS 通信、IPsec/IP フィルタリング、IEEE802.1X などの高度なセキュリティ設定ができます。

終了方法

Web ブラウザーを終了します。

ソフトウェアの削除

！重要

- 「コンピューターの管理者」アカウント（管理者権限のあるユーザー）でログインしてください。
- 管理者のパスワードまたは確認を求められたときは、パスワードを入力して操作を続行してください。
- 他のアプリケーションソフトを起動しているときは終了してください。

Windows

Epson Edge Dashboard、Epson 通信ドライバーを例に削除方法を説明します。

- 1 本機の電源を切り、コンピューターと接続しているケーブルを外します。
- 2 ソフトウェアをインストールしているコンピューターで【コントロールパネル】の【プログラム】 - 【プログラムのアンインストール】をクリックします。
- 3 削除するソフトウェアを選択して【アンインストールと変更】（または【変更と削除】）をクリックします。

【SC-F3000 Series Comm Driver プリンター アンインストール】を選択すると、Epson 通信ドライバーを削除できます。

【Epson Edge Dashboard】を選択すると、Epson Edge Dashboard を削除できます。

- 4 本機のアイコンをクリックして、【OK】をクリックします。
- 5 この後は、画面の指示に従ってください。削除を確認するメッセージが表示されたら【はい】をクリックします。

Epson 通信ドライバーを再インストールするときは、コンピューターを再起動してください。

Mac

Epson Edge Dashboard の削除方法を説明します。

- 1 【Epson Edge Dashboard】を終了します。
- 2 【アプリケーション】 - 【Epson Software】 - 【Epson Edge Dashboard】 - 【Epson Edge Dashboard アンインストーラー】をダブルクリックします。
以降は画面の指示に従ってください。

基本の印刷

準備するもの

本機でTシャツに印刷をするには、以下の機器や部材を使用します。

インクパックや前処理剤、プラテンは本機専用のものをご用意ください。

🔗 [「消耗品とオプション」126 ページ](#)

普段使用するもの

プラテン（本機付属またはオプション）

本機には、ハンガープラテン M サイズが付属しています。これ以外にサイズの異なる5種類のプラテンを用意しています。

🔗 [「消耗品とオプション」126 ページ](#)

バレン（本機付属）

布貼りプラテンにTシャツをセットするとき、Tシャツのたるみやしわをとるために使用します。

Tシャツ（市販品）

以下の生地のもが使用できます。

- 綿の混紡率が 100%~50%の生地
混紡率 100%で織りの密度が高い厚手の生地を推奨します。
- ポリエステルの混紡率が 100%~50%の生地
混紡率 100%の生地を推奨します。

生地の種類により印刷品質に差異が生じることがあるため、事前にテスト印刷して印刷品質を確認することをお勧めします。

粘着テープまたは粘着ローラー（市販品）

印刷前にTシャツ（印刷面）の糸くずなどの除去に使用します。

硬質ローラー（オプションまたは市販品）

印刷前にTシャツの印刷面の毛羽を寝かすために使用します。

市販品を使用するときは、前処理剤用ローラーとは別にローラー部分が硬質なものを用意してください。

インク定着用機器

印刷後のインクの定着に以下のどちらかの機器が必要です。用途に応じて用意してください。

ヒートプレス（市販品）

インクの定着以外に以下の用途にも使用します。

- 印刷前のTシャツの折りじわの解消
- 印刷前のTシャツの毛羽立ちを抑え、ノズル抜けを防止する
- 前処理剤の定着

お使いになるプラテンのサイズよりも大きいサイズで、170℃以上を90秒間保持できる性能が必要です。また蒸気を通気しやすくするための、発泡シートやマットが付属しているものをお勧めします。付属していないときは別途ご購入ください。

オープン（市販品）

インクの定着だけが行えます。前処理剤の定着にはヒートプレスをお使いください。

ヒートプレスをお使いの時は、以下も用意してください。

耐熱および剥離性のあるシート（市販品）

前処理剤やインクがヒートプレスのプレス面に付かないように、Tシャツの上に載せて使います。また、バレンを使ってTシャツを布貼りプラテンにセットするときにも使います。

シリコンペーパー、フッ素樹脂シートなどを用意してください。

耐熱性のある布（市販品）

袖周りなどの縫い目の近くで段差がある部分に印刷したインクを定着するときに使います。Tシャツと同等の生地を推奨します。

前処理で使用するもの

綿Tシャツにホワイトインクを使用して印刷する場合、またはポリエステルTシャツに印刷する場合には、前処理作業用に以下も用意してください。

前処理剤（消耗品）

以下の2種類を用意しています。

- 前処理剤（綿用）：綿の混紡率が 100%~50%のTシャツに、ホワイトインクを使って印刷する場合のみ使います。
- 前処理剤（ポリエステル用）：ポリエステルの混紡率が 100%~50%のTシャツに印刷する場合に、使用するインクにかかわらず使います。

ポリエステルと綿の混紡率が50%ずつの生地にはどちらの前処理剤も使用できますが、生地の種類により前処理の効果に差異が生じることがあります。必要に応じて事前にテスト印刷をし、使用する前処理剤を決めてください。

純水（市販品）

前処理剤の希釈やセンサーカバーの清掃に使用します。

前処理剤用ローラー（オプションまたは市販品）

前処理剤をTシャツに塗りつけるときに使います。ローラーを使うと噴霧器に比べ凹凸（ポケットなど）がある部分にも手軽に塗布でき、飛び散りなどで前処理剤を無駄にしません。ただし、均一に塗布しないと発色が良くならなかったり、ムラになることがあります。

オプションの前処理剤用ローラーセットは、ローラー部とハンドル（ローラーの柄）、トレイがセットになっています。

市販品を使用するときは、以下のものをお勧めします。

ローラー部：ポリエステル繊維で毛丈が短くて液体の吸放出に優れたもの（ペイントローラーなど）

ローラーの柄：さびにくいアルミ製のもの

また、ローラーに前処理剤を染み込ませるためのトレイが別途必要です。

噴霧器（市販品）

前処理剤をTシャツに塗布するときに使います。

ローラーに比べ手早く手軽に塗布できます。ただし、霧状に噴出させてTシャツに吹き付けるため飛び散る分の前処理剤が無駄になったり、噴霧器を使うための専用スペースの確保が必要です。

噴霧器は、細かい霧状に噴射されるもの（電動式を推奨）をご用意ください。

噴射の範囲や均一性などの特性は、前処理剤や噴霧器の種類、前処理剤の希釈率により異なります。噴霧器を使用する場合は、お使いの前処理剤と前処理時の条件で適切に塗布できるか事前に確認することをお勧めします。

以下のものは前処理剤（綿用）を保管していて、凝固物が発生した場合にろ過するために使用します。

前処理剤用漏斗（オプション）

前処理剤用漏斗フィルター（消耗品）

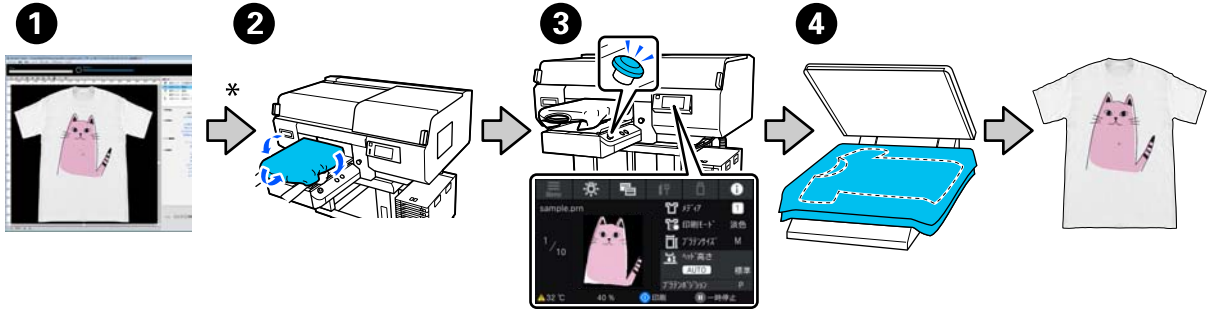
ボトル（市販品）

基本的な流れ

参考

本機は、市販の DTF(Direct to Film)フィルムとパウダーを使った DTF フィルム印刷にも対応しています。
DTF フィルム印刷を行うときは、別冊の『DTF フィルム印刷ガイド』（オンラインマニュアル）をご覧ください。

下図は、ジョブを作成してから一般的な厚みの綿素材の T シャツにカラーインクのみで印刷するまでの流れを示しています。使用条件により、メディアをセットする前に必要な追加作業があります。詳細は、下表の「*」をご覧ください。



作業項目	概要
① ジョブの作成・送信	Garment Creator 2/Garment Creator for SC-F3000 Series で画像をレイアウトして作成したジョブを本機に送信します。 詳細は、Garment Creator 2/Garment Creator for SC-F3000 Series のマニュアルをご覧ください。
* 前処理剤の塗布	以下の場合には、メディアをセットする前に前処理剤を印刷面に塗布してください。 <ul style="list-style-type: none"> 綿素材のメディアにホワイトインクを印刷するとき ポリエステル素材のメディアに印刷（インク色は不問）するとき 前処理剤を塗布すると、T シャツにインクが定着して発色が良くなります。 ☞ 「前処理」 32 ページ
② T シャツ（メディア）のセット	プラテンを本機に装着し、T シャツ（メディア）をセットします。 ☞ 「T シャツ（メディア）のセット」 47 ページ プラテンを初めて使用するときは、あらかじめ付属の布シートを貼り付けてください。 ☞ 「布シートの貼り方・剥がし方」 42 ページ
③ 印刷開始	ジョブの受信が完了し、本機の画面がプレビュー表示に切り替わったことを確認してから印刷を開始します。 ☞ 「印刷の開始と中止」 58 ページ
④ インクの定着	本機から T シャツを取り外し、ヒートプレスやオーブンでインクを定着させます。 メディアの生地やお使いのインク定着用機器により最適な条件が異なります。 ☞ 「インクの定着」 60 ページ

印刷前の確認

良好な印刷品質を維持するために日常、印刷業務をスタートするに当たり、以下の点検を行うことをお勧めします。

インク残量の確認

画面でインク残量を確認して、インク残量が限界値以下のときは新しいインクパックと交換してください。インクが残り少ないときは、できるだけ早く交換することをお勧めします。

印刷途中でインクが切れたときは、そのインクパックを交換すれば印刷は続行されます。ただし、途中で交換するとインクの乾き具合により、色味が異なって見えることがあります。

🔗 [「インクパックのかくはんと交換」 76 ページ](#)

ノズルの目詰まりチェック

印刷開始前にノズルが目詰まりしていないか確認することをお勧めします。ノズルが目詰まりしているときは、[プリントヘッドのクリーニング]を行ってください。事前に目詰まりを解消しておくこととノズルの目詰まり対処による業務の中断やノズル抜けしたまま印刷するリスクを減らせます。

🔗 [「ノズルの目詰まりチェック」 88 ページ](#)

🔗 [「プリントヘッドのクリーニング」 90 ページ](#)

ホワイトインクのかくはん

画面にかくはんのメッセージが表示されたら、インクをかくはんしてください。

ホワイトインクは、他の色よりも沈降(成分が液の底に沈んでたまること)しやすい特性があります。沈降すると、印刷品質の低下やノズル目詰りの要因となります。

🔗 [「インクパックのかくはんと交換」 76 ページ](#)

前処理

綿Tシャツにホワイトインクを使用して印刷する場合、またはポリエステルTシャツに印刷する場合は、Tシャツに前処理剤を塗布します。前処理剤を塗布すると、インクの発色が良くなります。

綿Tシャツにカラーインクのみで印刷する場合は、印刷物が洗濯や摩擦に弱くなりますので前処理をしないことをお勧めします。

Tシャツに塗布するには、ローラーまたは噴霧器を別途用意してからお使いください。

🔗 [「準備するもの」 29 ページ](#)

前処理は以下の順番で行います。

前処理剤のかくはん（前処理剤（ポリエステル用）のみ）



前処理剤の開封



前処理剤（綿用）のろ過（凝固物発生時のみ）



前処理剤の希釈



前処理剤の塗布



前処理剤の定着

作業時のご注意

前処理は、以下の注意点を守って作業を行ってください。作業の前に製品安全データシートをお読みください。製品安全データシートは、弊社のウェブサイトから入手できます。

アドレス <https://www.epson.jp>

⚠ 注意

- 作業をするときは、保護メガネ、手袋、マスクなどを着用してください。
前処理剤が皮膚に付着したときや目や口に入ったときは、以下の処置をしてください。
- 皮膚に付着したときは、多量の石けん水で洗い流してください。皮膚に刺激を感じたり変化があるときは、医師の診断を受けてください。
- 目に入ったときは、すぐに水で洗い流してください。そのまま放置すると目の充血や軽い炎症を起こすおそれがあります。異常があるときは、医師の診断を受けてください。
- 口に入ったときは、速やかに医師に相談してください。
- 飲み込んだときは、無理に吐かせずに速やかに医師に相談してください。無理に吐かせると、吐いたものが気管に入ることがあり危険です。
- 子どもの手の届かない場所に保管してください。
- 作業後は、手洗いとうがいを十分に行ってください。

! 重要

- 前処理剤の塗布時は十分に換気ができる場所でしてください。
- 使用時は必要な分だけ用意してください。必要以上に用意して放置すると固まる場合があります。
- 高温下および凍結状態での保存は避けてください。
- 直射日光を避けて常温で保管してください。
- 前処理剤がプリントヘッドに付着すると、本機の故障や印刷品質低下の原因になります。メンテナンス作業などで誤って本機内部に付着しないようにしてください。

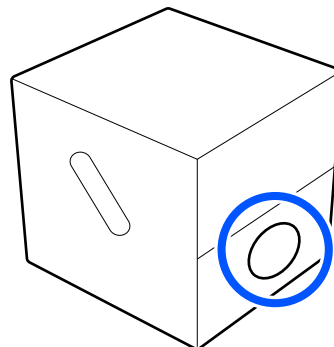
廃棄方法

使用済み消耗品の廃棄 [📄 「廃棄」 97 ページ](#)

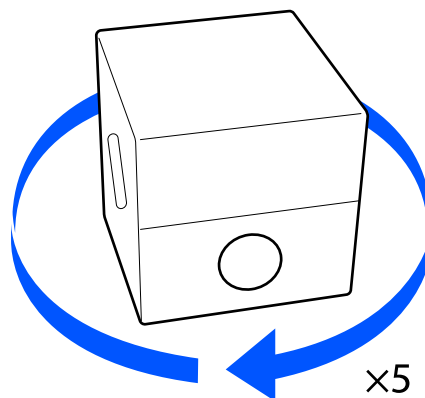
前処理剤（ポリエステル用）のかくはん

前処理剤（ポリエステル用）は、開封前に以下の手順でかくはんしてください。かくはんせずに使用すると、前処理の効果が十分に出ないことがあります。開封後はかくはんする必要はありません。

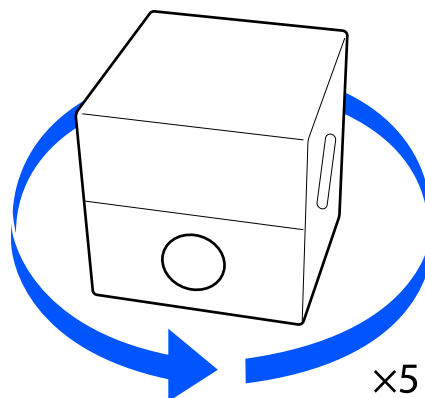
- 1** コックの取り出し部を側面にして平らな場所に置きます。



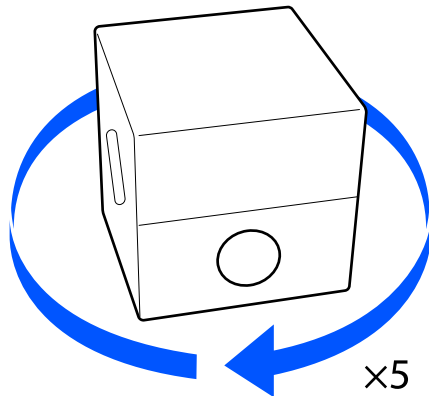
- 2** 右に 5 回転させます。
2 秒で 1 回転程度の速さで回転させます。



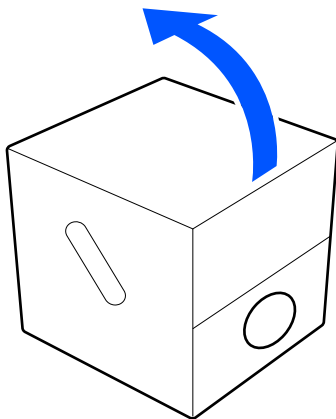
- 3** 左に 5 回転させます。
2 秒で 1 回転程度の速さで回転させます。



- 4 右に5回転させます。
2秒で1回転程度の速さで回転させます。

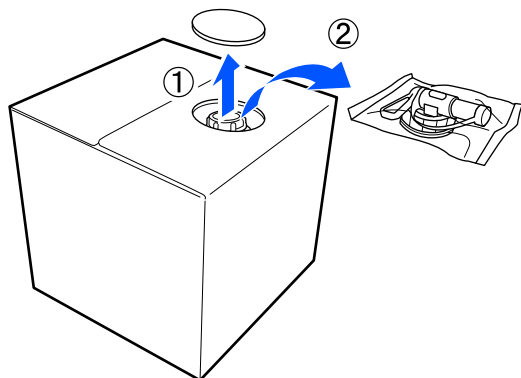


- 5 コックの取り出し部が上になるように起こします。

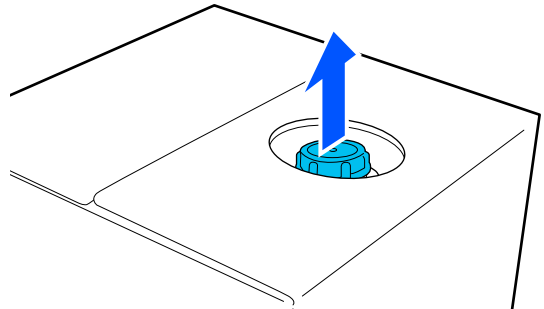


前処理剤の開封方法

- 1 ミシン目に沿って段ボールを切り取り、中からコックを取り出します。



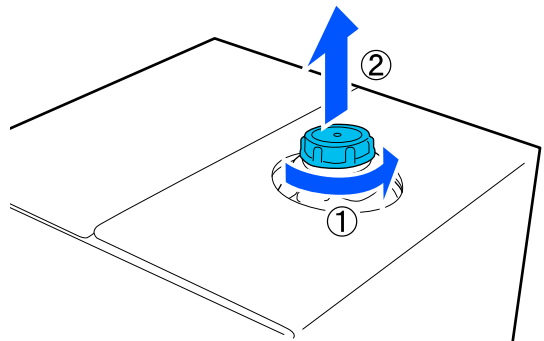
- 2 段ボールからキャップ部分を引き出します。



!重要

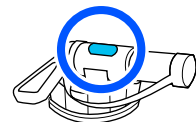
必ず段ボールからキャップ部分を引き出してください。引き出さずにキャップを開けると、前処理剤が飛び出ることがあります。

- 3 キャップを取り外します。



- 4 コックを袋から取り出して、穴が見えるか確認します。

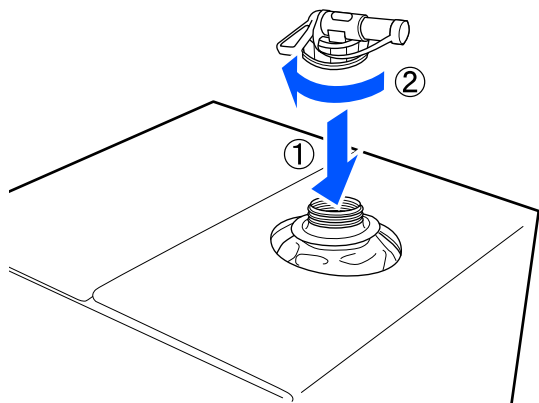
穴が見えないときは、コックのハンドル部分を回し、穴が見えるか確認してください。



参考

穴が見えない、またはコックが破損していたときはお買い上げの販売店にご連絡ください。

5 コックを取り付けます。

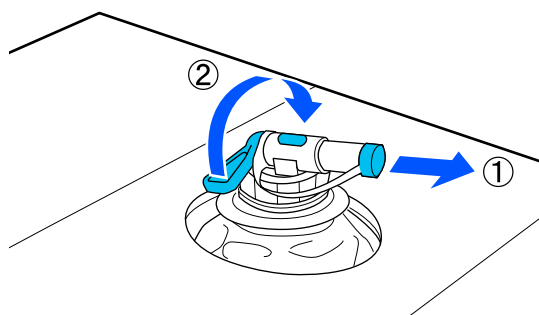


！重要

廃インクと混ぜると固まるため、廃インクボトルには入れないでください。

注ぎ方

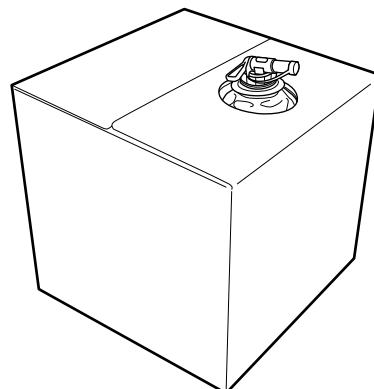
1 コック用のキャップを取り外して、穴が下になるようにレバーを動かします。



2 段ボールまたは容器を傾けて、前処理剤を目的の容器に注ぎます。

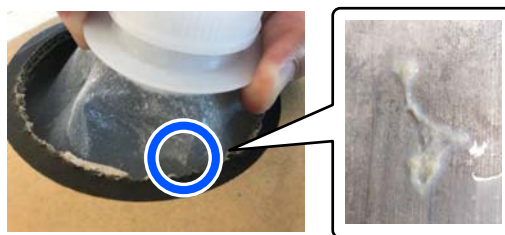
3 液を注ぎ終わったら、手順 1 とは逆の手順でコック用のキャップを取り付けてください。

4 図のようにコックのそそぎ口が上になる向きにして保管します。



前処理剤（綿用）のろ過（凝固物発生時のみ）

前処理剤（綿用）は、保管中に図のような白い凝固物が自然に発生することがあります。



これは前処理剤中の定着成分が凝固したものです。凝固物が発生した前処理剤はそのまま使用すると印刷結果にムラが発生するため、ろ過して凝固物を取り除いてから使用してください。

ろ過には専用の漏斗とフィルター、および市販のボトルが必要です。お手元にご用意のうえ、次項の手順に従って作業してください。

漏斗とフィルター [🔗 「消耗品とオプション」 126 ページ](#)

ろ過時のご注意

- フィルターは、前処理剤を 1L ろ過することに新品に交換してください。
- 一度ろ過に使用したフィルターは、ろ過量が 1L 未満でも再使用しないでください。再使用すると、フィルターに付着している乾燥した前処理剤が混入してムラの原因となります。
- ろ過した前処理剤は、4 日以内に使い切ってください。
- 前処理剤の使用時の温度範囲内でろ過作業を行ってください。
使用時の温度 [🔗 「仕様一覧」 137 ページ](#)

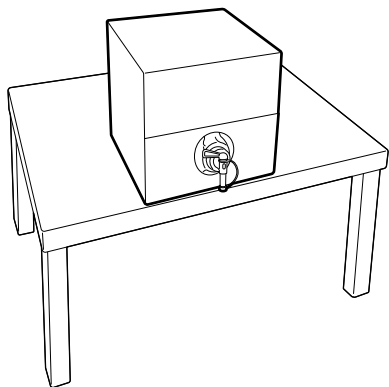
準備するもの

- 前処理剤（綿用）
- 前処理剤用漏斗（オプション）
- 前処理剤用漏斗フィルター（消耗品）
- 容量 1L 以上のボトル（市販品）

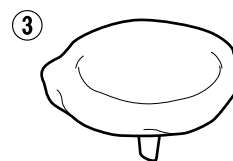
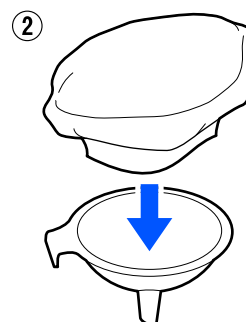
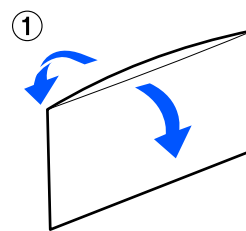
ボトルは、目盛り付きなど 1L の量がわかりやすいものを使用することをお勧めします。

ろ過方法

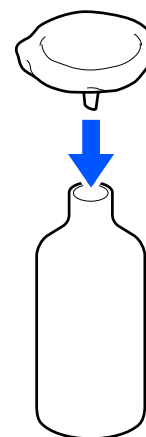
- 1 前処理剤を、注ぎ口が下に向くように台の上の端に置きます。



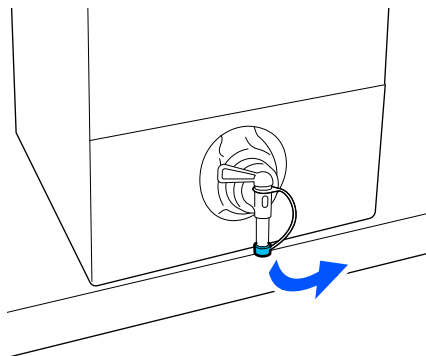
- 2 新品のフィルターを 1 枚取り出し、図のように折り返して漏斗にかぶせます。



- 3 ボトルの口に漏斗を差し込みます。

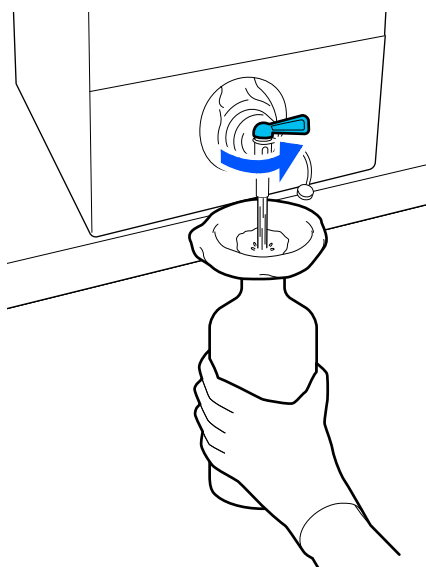


- 4** 前処理剤の注ぎ口のキャップを取り外します。



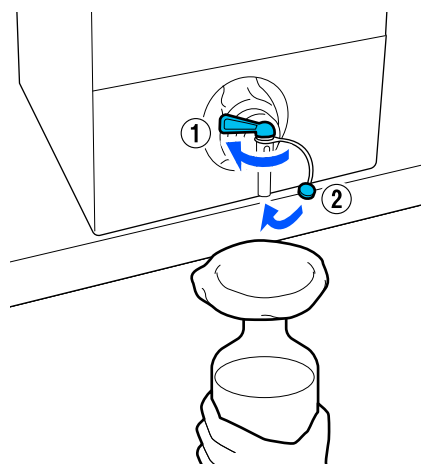
- 5** レバーを動かして、フィルターを通してボトルに前処理剤を 1L 注ぎます。

前処理剤がフィルターからあふれないように注意しながら注いでください。



前処理剤が残り少ないときは、段ボール容器を傾けて注いでください。

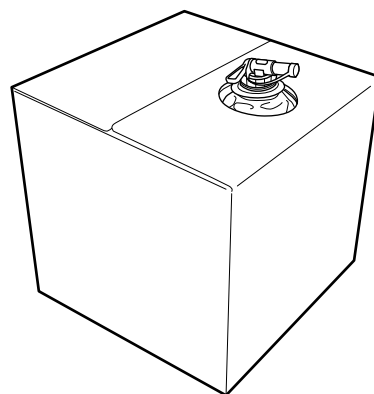
- 6** 1L 注いだらレバーを動かして注ぐのを止め、注ぎ口のキャップを取り付けます。



さらに多くの前処理剤をろ過する場合は、フィルターを新品に交換して手順 2 から繰り返してください。

- 7** ボトル内の前処理剤は、目的の容器に移して使用します。

- 8** 前処理剤の段ボール容器は、図のようにそそぎ口が上面になるように保管します。



洗浄と廃棄

使用済みの漏斗やボトルは水洗いして、乾いた柔らかい布で水気を拭き取ってください。

水道水で水洗いする場合は、最後は純水で洗い流してください。純水で洗い流さないと、水道水の成分が凝固物の原因となることがあります。

使用済みのフィルターは再使用せずに廃棄してください。

 [「使用済み消耗品の処分」 97 ページ](#)

前処理剤の希釈

前処理剤は希釈して、または原液のままTシャツに塗布します。希釈の有無や希釈率は、前処理剤、使用するインク、インク定着用機器の種類により異なりますので次項に従ってください。希釈するときは、蒸留水や精製水などの純水で薄めてください。

前処理剤（綿用）

前処理剤（綿用）は必ず希釈して使用します。希釈率はインク定着用機器の種類により異なるので、以下に従って希釈してください。

ヒートプレスでインク定着時

2倍に希釈します。（前処理剤：純水＝1：1）

オープンでインク定着時

3倍に希釈します。（前処理剤：純水＝1：2）

適切な希釈率の調整

希釈率が適切でない以下のような現象が発生することがあります。

- 前処理剤を希釈していない、または希釈率が小さすぎる場合（前処理剤が濃すぎる）
 - 前処理剤の跡が目立つ。
 - 洗濯後に印刷面にヒビが入る。（堅牢性が低下する）
- 希釈率が大きすぎる場合（前処理剤が薄すぎる）
 - インクが布表面にとどまらず、発色にムラが発生する。
 - 毛羽立ちを十分に抑えられず、印刷結果にムラが発生する。

このような現象が発生する場合は、インク定着結果を確認しながら以下の範囲内で希釈率を調整してください。

- ヒートプレスでインク定着時
 - 印刷面積がA4以下：2～3倍
 - 印刷面積がA4を超える：2～4倍
- オープンでインク定着時
 - 3～4倍

前処理剤（ポリエステル用）

前処理剤（ポリエステル用）は、以下のように使用するインクの種類によって原液のまま、または希釈して使用します。希釈するときは、インク定着用機器の種類にかかわらず以下に従って希釈してください。

ホワイトインク使用時

希釈せずに原液のまま使用します。

カラーインクのみ

7倍に希釈します。（前処理剤：純水＝1：6）

前処理剤の塗布

前処理剤の塗布量

前処理剤はローラーまたは噴霧器を使いTシャツに塗布します。

印刷面積がA4当たり15g程度の前処理剤を塗布してください。

参考

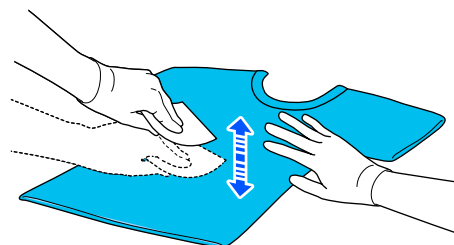
生地特性によっては、ローラーで塗布するとインク定着後に前処理剤の跡が目立つことがあります。このようなときは噴霧器で塗布すると改善されることがあります。

ローラーで塗布

ローラーに付着したTシャツの繊維が、他のTシャツへ付着するのを防ぐため、ローラーはTシャツの色ごとに使い分けることをお勧めします。

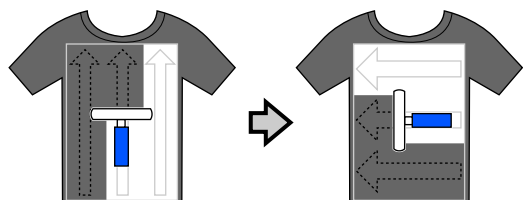
📄 [「消耗品とオプション」126ページ](#)

- 1 前処理剤をローラー用のトレイに注ぎ、ローラー部分に染み込ませます。
- 2 Tシャツを平らな面に広げます。
- 3 前処理剤を塗布する面の糸くずを粘着テープ（ローラー）などで取り除きます。



- 4** ローラーに付着した前処理剤をトレイ（容器）の端でよく絞ってから、均一になるように前処理剤を塗ります。

印刷範囲より大きめに塗布することをお勧めします。



- 5** ヒートプレスで前処理剤を定着させます。

📖 「前処理剤の定着」 39 ページ

噴霧器で塗布

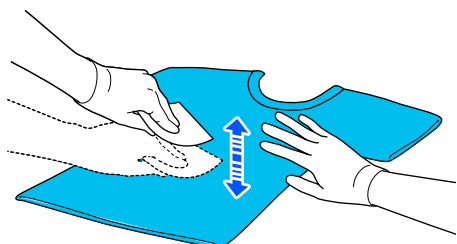
！重要

噴霧器の種類によっては、前処理剤を塗布するとミストが飛散します。作業は必要に応じてマスク、保護メガネ、手袋をして、十分に換気ができる場所で行ってください。

また、飛散したミストが本機内部に入り込み、動作不良や故障の原因になることがあります。噴霧器は必要に応じて本機から離れた場所に設置してお使いください。

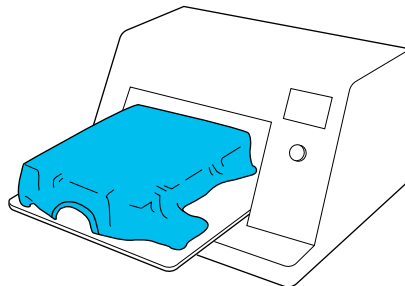
噴霧器の使用方法は噴霧器のマニュアルをご覧ください。

- 1** 前処理剤を噴霧器にセットします。
- 2** Tシャツを平らな面に広げます。
- 3** 前処理剤を塗布する面の糸くずを粘着テープ（ローラー）などで取り除きます。



- 4** Tシャツを噴霧器にセットして、印刷面に前処理剤を均一に吹き付けます。

印刷範囲より大きめに塗布することをお勧めします。



参考

塗布後に吹き付けた部分をローラーで押しつけると、ムラなくなじみます。

- 5** ヒートプレスで前処理剤を定着させます。

📖 「前処理剤の定着」 39 ページ

前処理剤の定着

Tシャツの折りじわの解消や前処理剤の定着には、ヒートプレスをお使いください。オープンでは毛羽が寝ないため印刷面が平らにならず、しわ、ムラの原因になります。ヒートプレスで前処理剤の定着をする際は、プレス面に前処理剤が付着するのを防ぐために、シリコンペーパーなどの耐熱および剥離性のあるシートをTシャツとプレス面の間に挟んでお使いください。

前処理剤の塗布量によって最適な条件は異なるため、以下の数値はあくまで目安としてご利用ください。

前処理剤（綿用）の定着条件

温度	時間	圧力*1
170 °C	45 秒間*2	4.2N/cm ²

*1 手動調整タイプなど、お使いのヒートプレス機によって最適な条件は異なります。必ず事前にインク定着結果を確認しながら圧力を調整してください。

*2 前処理剤の塗布面積が A4 より大きいときは、45 秒間実施しても乾ききらないことがあります。前処理剤が乾燥しているか様子を見ながら最大 90 秒までの間で時間を延ばしてみてください。

前処理剤（ポリエステル用）の定着条件

温度	時間	圧力*1
130 °C	60 秒間*2	3.0N/cm ²

- *1 手動調整タイプなど、お使いのヒートプレス機によって最適な条件は異なります。必ず事前にインク定着結果を確認しながら圧力を調整してください。
- *2 前処理剤の塗布面積が A4 より大きいときは、60 秒間実施しても乾ききらないことがあります。前処理剤が乾燥しているか様子を見ながら最大 90 秒までの間で時間を延ばしてみてください。

！重要

- 前処理剤は十分に乾燥させてください。乾燥が不十分だと、印刷品質が低下するおそれがあります。
- 前処理剤を定着させた T シャツは、濡らしたり、湿度の高い場所に長時間放置したりしないでください。濡れた部分はインクの発色が悪くなり、ムラの原因になります。
長時間放置したときは、印刷直前に 5～10 秒程度プレスし、乾かしてから印刷してください。

参考

前処理剤の跡が目立つときは、洗濯（水洗い）により改善しますが、生地により効果が異なります。

ジョブの作成と送信

印刷する画像を作成した市販のアプリケーションソフトから本機に直接印刷することはできません。

専用のアプリケーションソフト (Garment Creator 2/Garment Creator for SC-F3000 Series) を介して本機にジョブを送信して印刷します。

ジョブの作成と送信の流れ

Garment Creator 2/Garment Creator for SC-F3000 Series でジョブを作成して印刷するまでの基本的な作業の流れは、以下の通りです。

準備からジョブ作成までの詳細は、Garment Creator 2/Garment Creator for SC-F3000 Series のマニュアルをご覧ください。

1 準備

プリンターを選択	作成したジョブの送信先プリンター（印刷するプリンター）を選択します。通常は、初回のみ行います。
----------	---



インク量調整	最適な状態で印刷するために、初めて印刷する T シャツはインク量調整をしてから実際の印刷を開始することをお勧めします。
--------	---

2 ジョブ作成

生地色 (T シャツタイプ) の選択	印刷する T シャツの色を生かしてインクの使用量を効率的に印刷するために、適切な T シャツタイプを選択します。
--------------------	--



画像の配置	印刷する画像の位置や大きさ、向きなどをプレビューエリアで確認しながら設定します。
-------	--



プリンターにジョブを送信	印刷枚数を指定して選択しているプリンターにジョブを送信します。
--------------	---------------------------------

3 印刷 (プリンターで操作)

印刷実行	T シャツをプラテンにセットして印刷を実行します。 📄 「T シャツ (メディア) のセット」 47 ページ
------	---

ジョブの送信と印刷

- 1 設定エリア下部で印刷部数を指定して【印刷】ボタンをクリックします。



- 2 プリンターがジョブの受信を完了すると、本機画面がプレビュー表示になり、【◇】ボタンが点灯します。

以下をご覧になり、Tシャツ（メディア）をセットして印刷を開始してください。

[🔗 「Tシャツ（メディア）のセット」 47 ページ](#)

ジョブ受信時のご注意

本機はジョブ受信中、下記の操作だけが有効です。パネル操作したときにボタンが反応しないときは、ジョブ受信中被考えられるので、しばらく待ってから再操作してみてください。

- ジョブをキャンセルする
- 可動台（プラテン）を移動させる
- 電源を切る

参考

- ジョブをキャンセルすると印刷可能状態になるまでに時間がかかります。
- 電源を切る操作をすると電源が切れるまでに時間がかかります。また、受信したジョブは削除されます。

プラテンの準備

次の3点の準備を説明します。

布貼りプラテンにする（綿Tシャツに印刷する場合に初回のみ）

綿Tシャツに印刷する場合は、本機に付属のプラテンまたはオプションのハンガープラテン L/M/S サイズは、布シートを貼り付けて使用することをお勧めします。布貼りプラテンにすると、印刷時にTシャツ（メディア）が動きにくくなるため印刷のズレが軽減されます。ポリエステルTシャツに印刷する場合は、布シートを貼り付けずにそのまま使用してください。印刷時にプラテンの布がインクで汚れるおそれがあります。次項でプラテンに布シートを貼り付ける方法を説明します。

本機には、付属のプラテンに貼り付ける布シートが付属しています。オプションのハンガープラテン L/M/S サイズは、消耗品の布シートを購入して貼り付けてください。

XS サイズ、袖用、ポロ/ジッパー用プラテンは布シートを貼り付けずにそのまま使用してください。

布シートを貼り付けずに使用するときは、付属のプラテン枠を使用してTシャツをセットします。

プラテンポロ/ジッパー用をメディアに合わせて切り替える（プラテンポロ/ジッパー用使用時のみ）

ポロシャツやジッパー付きのシャツなどに印刷するときは、プラテンポロ/ジッパー用を使用します。メディアの中心部分にジッパーなど段差のあるメディアに印刷するときは、事前に天板部分から四角い部品を取り外します。

[🔗 「ポロ用からジッパー用への切り替え方（プラテンポロ/ジッパー用使用時のみ）」 44 ページ](#)

プラテンの交換をする

Tシャツのサイズや印刷する部位に合わせてプラテンを6種類用意しています。印刷するTシャツのサイズや部位を変更するときは、事前に適切なプラテンに交換します。

[🔗 「プラテンの交換」 45 ページ](#)

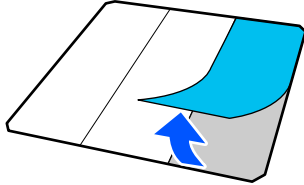
布シートの貼り方・剥がし方

布シートは消耗品です。汚れたら消耗品を購入して交換してください。

[🔗 「消耗品とオプション」 126 ページ](#)

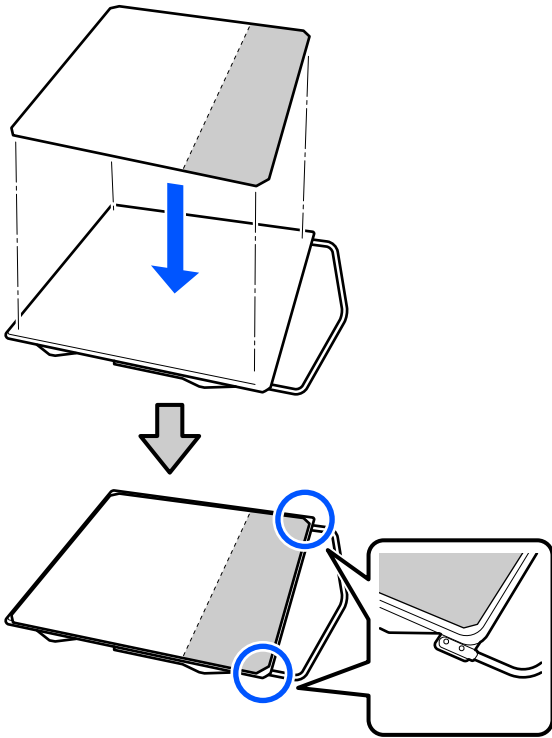
貼り方

- 1 図のように布シート裏面の台紙を1枚だけ剥がします。

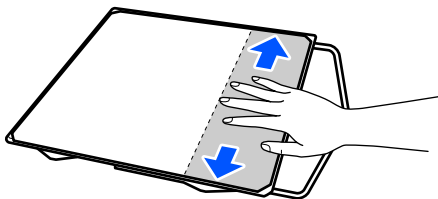


- 2 平らな場所にプラテンを置き、布シートの角をプラテンの角のやや内側に合わせて貼り付けます。

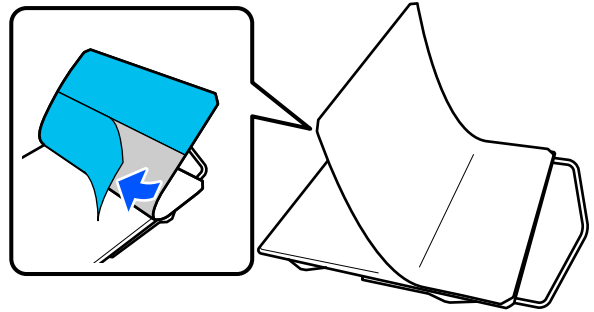
裏面の台紙をはがしていない方の角がプラテンからはみ出さないようにしてください。



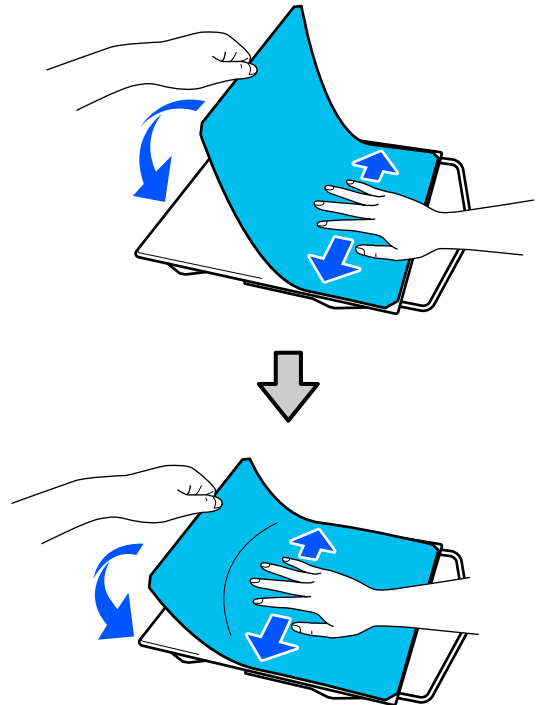
- 3 台紙を剥がした箇所を軽く押さえ、布シートを貼り付けます。



- 4 布シート裏面の下図の台紙を全て剥がします。



- 5 図のように端から押さえながら貼り付けます。

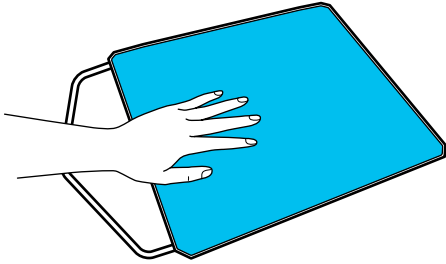


剥がし方

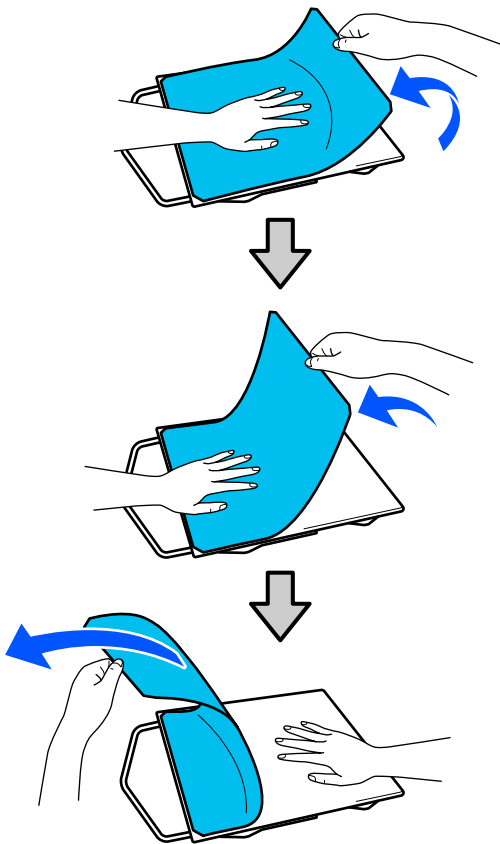
!重要

- のりを柔らかくするためにドライヤーなどの熱風を当てないでください。部品が変形するおそれがあります。
- アルコールなどの有機溶剤は使用しないでください。部品の変色、変形、破損の原因になります。

- 1 平らな場所にプラテンを置き、手前側を押さえま
す。



- 2 奥側の布シートを持って手前の方に剥がしま
す。



参考

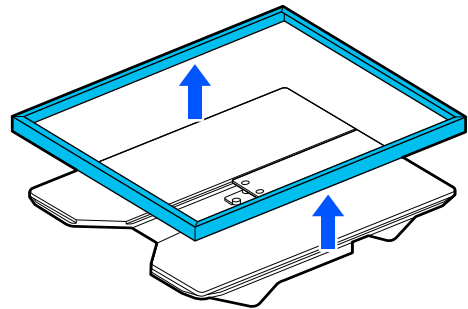
長期間貼られたシートは、プラテンに固着して剥がしにく
いことがあります。固着しているときは市販のラベ
ル剥がし用ヘラなどを使用して剥がしてください。

プラテンにのりが残ったときは、薄めた中性洗剤に
浸して絞った柔らかい布で拭き取ってください。

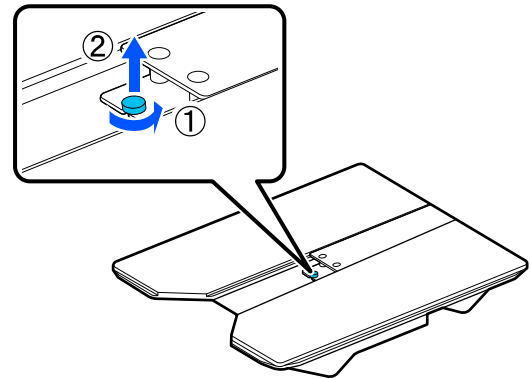
ポロ用からジッパー用への切り 替え方（プラテン ポロ/ジッ パー用使用時のみ）

メディアの中心部分にジッパーなど段差のあるメディア
をセットするときは、四角い部品を取り外して使用して
ください。
それ以外のメディアは四角い部品を取り付けてくださ
い。

- 1 プラテンの枠を取り外します。

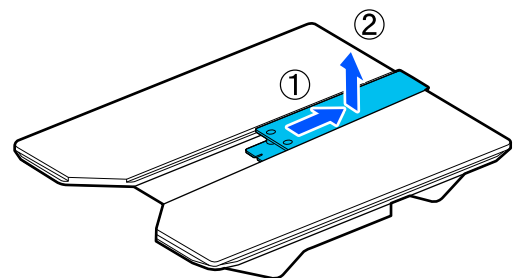


- 2 ネジを取り外します。



- 3 部品を取り外します。

①の矢印の向きに突き当たるまでスライドさせて
から取り外します。

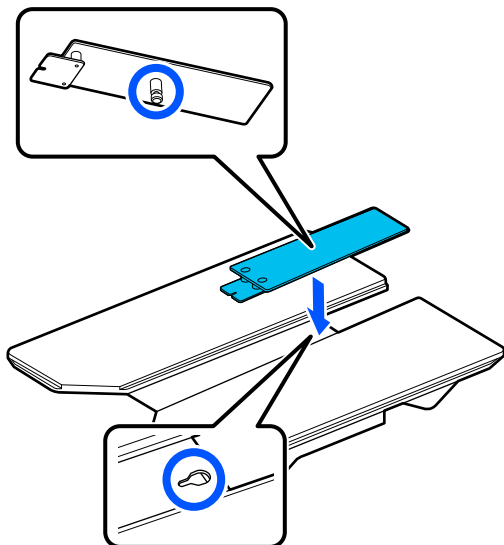


取り外したネジ、部品はポロシャツなどをセットする際に必要です。保管してください。ネジはプラテンに取り付けての保管をお勧めします。

部品を取り付けるときは、取り外しの手順と逆に進めてください。

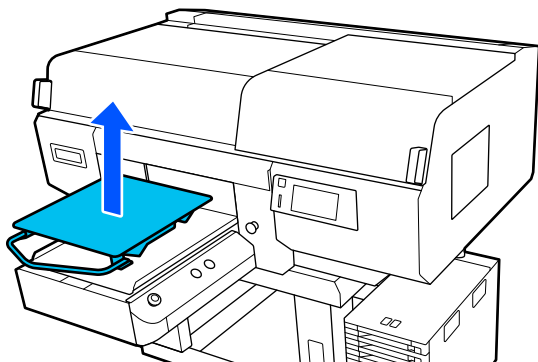
参考

取り付けるときは、以下のように突起部分を穴に合わせてください。



プラテンの交換

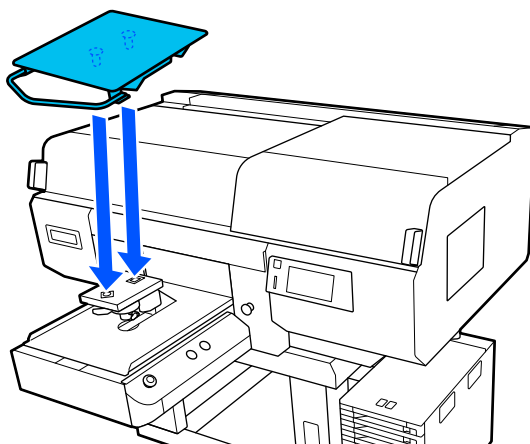
- 1 プラテンが手前に出ていることを確認します。
出ていないときは、【▼】ボタンを押して、プラテンを手前に移動させます。
- 2 電源を切ります。
- 3 プラテンの左右を持ってまっすぐに持ち上げて取り外します。



- 4 交換するプラテンを持って、プラテンの軸が受け口にはまるように差し込みます。

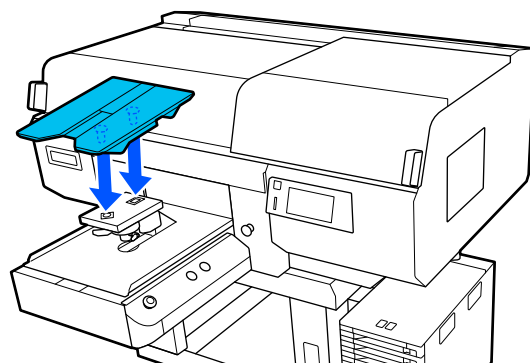
ハンガープラテン L/M/S サイズ、XS サイズプラテンの取り付け

ハンガープラテン L/M/S サイズは、ハンガーが手前になるように差し込みます。XS サイズのプラテンは、前後の向きはありません。



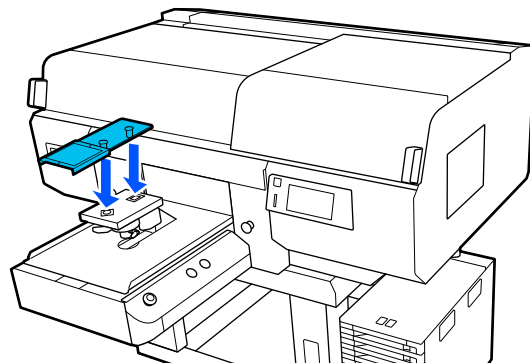
プラテンポロ/ジッパー用の取り付け

切り欠き部分が手前になるよう差し込みます。

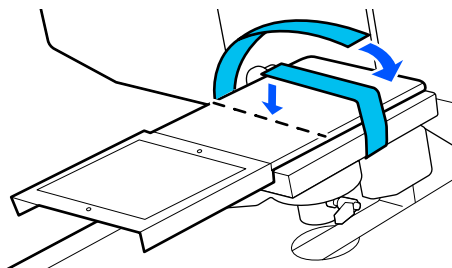


プラテン袖用の取り付け

- (1) プラテンを図の向きで差し込みます。

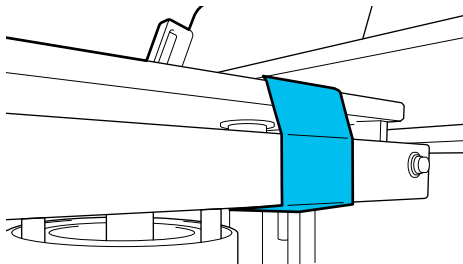


(2) プラテンの上面にある溝に固定バンドを合わせてしっかり巻き付けます。

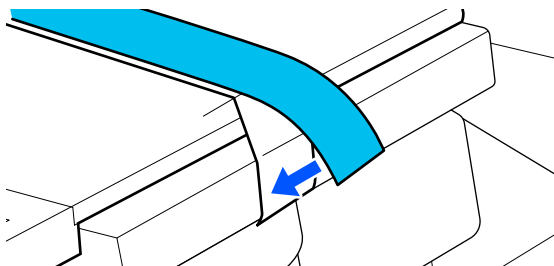


以下の2点に留意して巻き付けます。

- 固定バンドはプラテン設置板の下を通します。

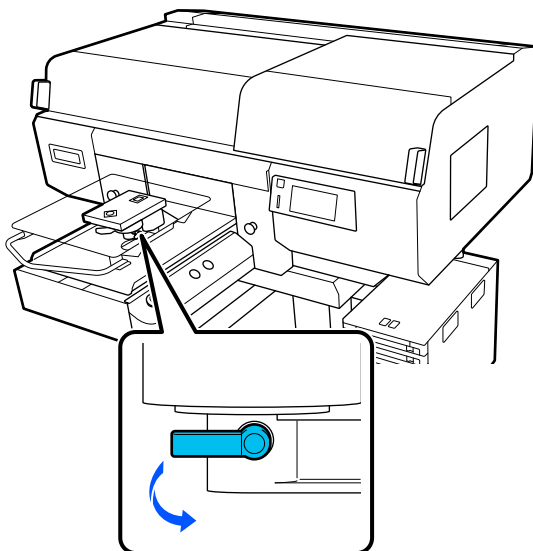


- 固定バンドの端が側面になるように留めます。



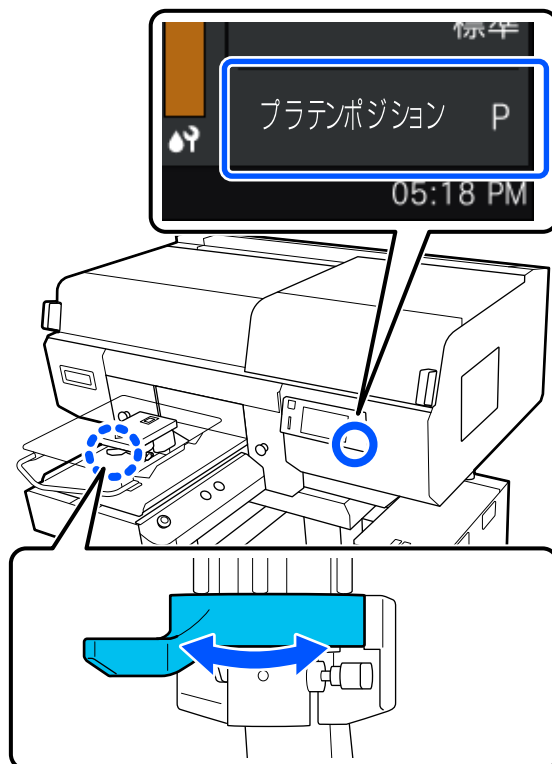
プラテンポジションの切り替え方

- 1 固定レバーを緩めます。



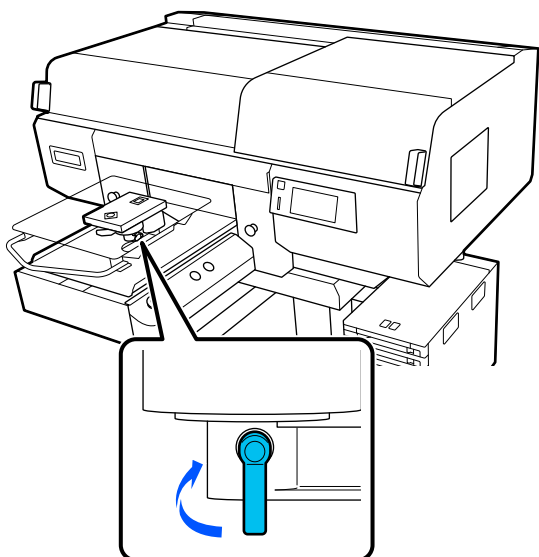
- 2 本機の画面で確認しながら、プラテンギャップ調整レバーを操作します。

画面の表示がPの時にプラテンポジションは最も高く、数字が大きいほどプラテンポジションが低くなります。



レバーを反時計回りに動かすと、数字が大きい方に切り替わり、プラテンポジションが下がります。
レバーを時計回りに動かすと、数字が小さい方に切り替わり、プラテンポジションが上がります。

- 3** 固定レバーを締めて、プラテンギャップ調整レバーを固定します。



Tシャツ(メディア)のセット

Tシャツに折りじわがあるときは、プラテンにセットする前にヒートプレスでしわを解消してください。

ポリエステルTシャツは、布を貼らないプラテンにセットしてください。布貼りプラテンにセットすると、印刷時にプラテンの布がインクで汚れるおそれがあります。布貼りプラテンにTシャツをセットする方法は、次項をご覧ください。



布を貼らないプラテンにTシャツをセットする方法は、以下をご覧ください。

ハンガープラテン L/M/S サイズ、XS サイズプラテン
[☞ 「布を貼らないプラテンへのセット方法」 50 ページ](#)
プラテン袖用 [☞ 「プラテン袖用へのセット方法」 54 ページ](#)

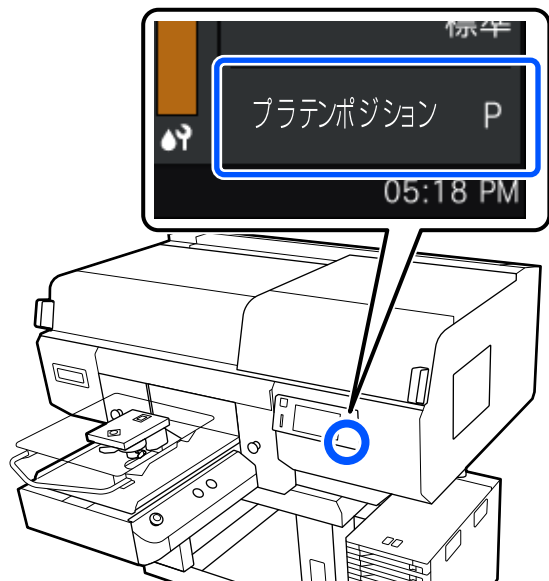
プラテンポロ/ジッパー用 [☞ 「プラテンポロ/ジッパー用へのセット方法」 56 ページ](#)

布貼りプラテンへのセット方法

手順は YouTube から動画でご覧いただけます。
[動画マニュアル](#)

- 1** 【】 ボタンを押して電源を入れます。
- 2** プラテンが手前に出ていることを確認します。
出ていないときは、【】 ボタンを押して、プラテンを手前に移動させます。

- 3 本機の画面でプラテンポジションが以下になっていることを確認します。



【プラテンギャップ】を【自動】に設定しているとき：

メディアの厚さによって最適なプラテンポジションが異なります。下表を目安にプラテンポジションを変更してください。

メディアの厚さ	プラテンポジション
0mm～4mm	P
4mm～7mm	1
7mm～10mm	2
10mm～13mm	3
13mm～16mm	4
16mm～19mm	5
19mm～22mm	6
22mm～25mm	7
25mm～28.5mm	8

【プラテンギャップ】を【手動】に設定しているとき：

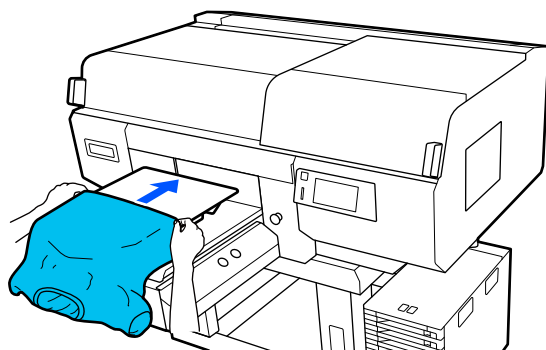
使用するプラテンの種類とセットするメディアの厚さによって最適なプラテンポジションが異なります。詳細は、以下をご覧ください。

☞ [「メディアの厚さと【プラテンギャップ】の設定値の対応表」132 ページ](#)

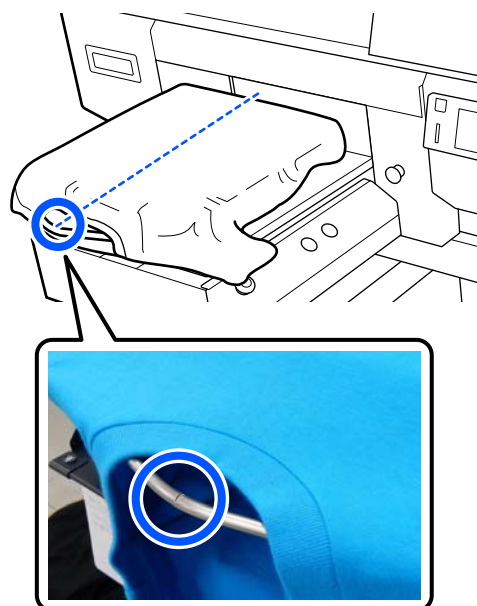
プラテンポジションの切り替え方は以下をご覧ください。

☞ [「プラテンポジションの切り替え方」46 ページ](#)

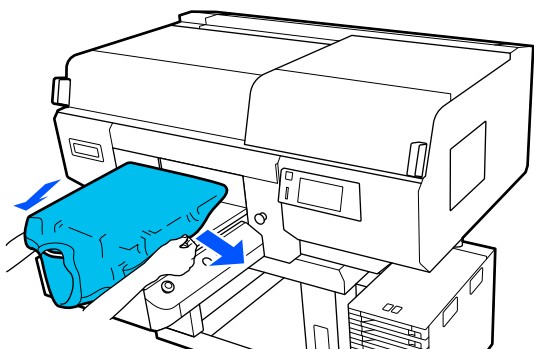
- 4 シャツの裾を手前からプラテンにかぶせるようにセットします。



図の囲み内にある線は、プラテンの中心を示しています。



- 5** プラテンからはみ出た部分を引っ張り、印刷面を平らにします。

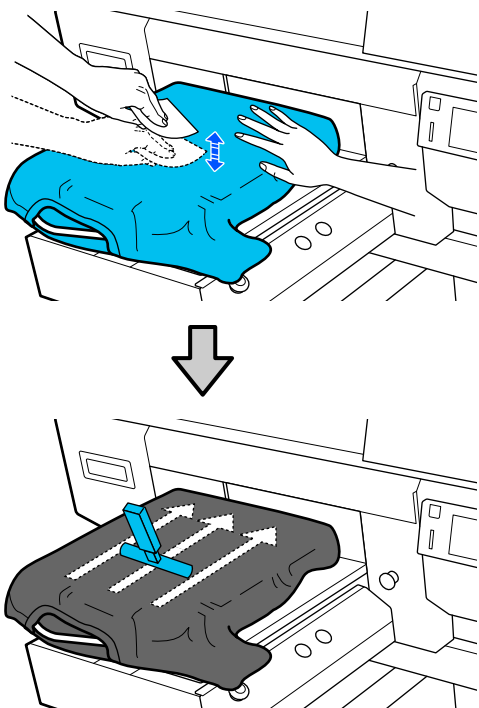


！重要

Tシャツは強く引っ張りすぎないでください。生地伸びによる画像変形などの印字品質の低下や、下地の白印刷のはみ出しにつながります。

- 6** 印刷面の糸くずを取り除き、毛羽を寝かせます。

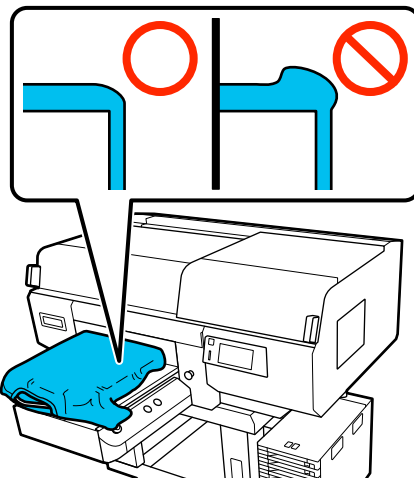
前処理剤を塗布していないTシャツには印刷面に糸くずがある可能性があるため、粘着テープ（ローラー）で糸くずを取り除いた後、硬質なローラーで毛羽を寝かせてください。糸くずがあったり毛羽が寝ていないと、プリントヘッドに付着して意図しない部分がインクで汚れることがあります。



- 7** 印刷面のたるみやしわをとり、平らにします。

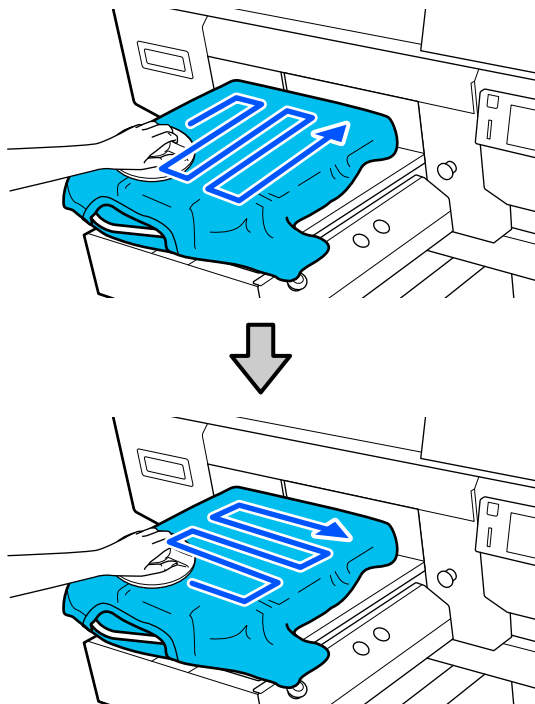
！重要

本機は、印刷面の一番高い部分を検知して高さを調整します。図のようにしわやたるみが残っている（浮いている）と、プリントヘッドと印刷面の距離が離れて印刷品質が悪くなる場合があります。しわやたるみが残らないようにTシャツを平らにしてください。

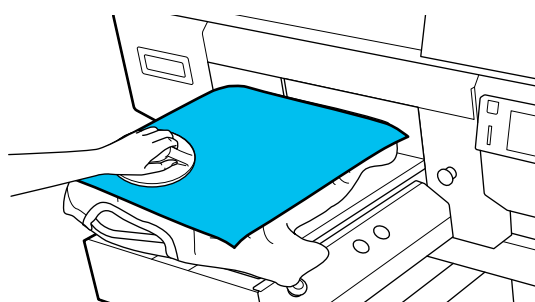


付属のバレンを使って印刷面を平らにします。Tシャツがプラテンの布に密着するため印刷面がより平らに仕上がります。印刷中にTシャツがずれるのを防ぎます。

下図のように、Tシャツにバレンを軽く押しつけながら端から縦方向、横方向に動かします。この動作を2~3回繰り返してたるみやしわをとり印刷面を平らにします。



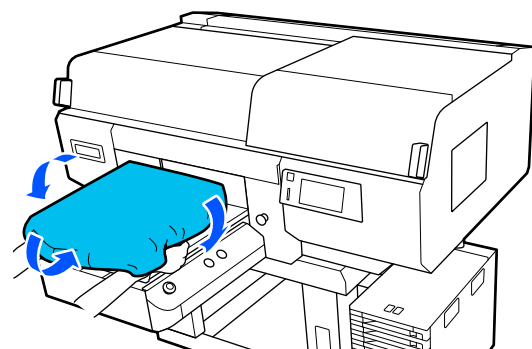
前処理剤を塗布したTシャツをセットしたとき、または生地の特徴によってバレンが引っ掛かるときは、図のようにTシャツの上にシリコンペーパーなどの剥離性のあるシートを載せてバレンを使用してください。



参考

バレンが汚れたときは、湿らせた布でバレンの汚れを拭き取ってください。

8 プラテンからはみ出た部分を、可動台からはみ出ないように折り込みます。



布を貼らないプラテンへのセット方法

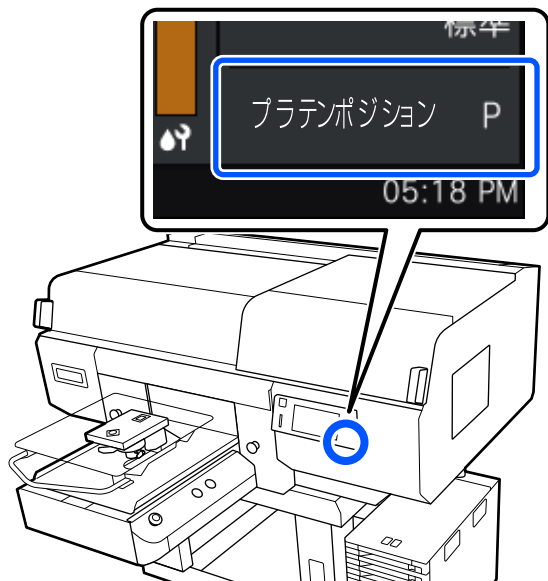
布を貼らないプラテンにセットするときは、プラテンに付属の枠を使用します。

手順は YouTube から動画でご覧いただけます。
[動画マニュアル](#)

1 【**⏻**】 ボタンを押して電源を入れます。

2 プラテンが手前に出ていることを確認します。
出ていないときは、【**⏪**】 ボタンを押して、プラテンを手前に移動させます。

- 3 本機の画面でプラテンポジションが以下になっていることを確認します。



【プラテンギャップ】を【自動】に設定しているとき：

メディアの厚さによって最適なプラテンポジションが異なります。下表を目安にプラテンポジションを変更してください。

メディアの厚さ	プラテンポジション
0mm～4mm	P
4mm～7mm	1
7mm～10mm	2
10mm～13mm	3
13mm～16mm	4
16mm～19mm	5
19mm～22mm	6
22mm～25mm	7
25mm～29.5mm	8

【プラテンギャップ】を【手動】に設定しているとき：

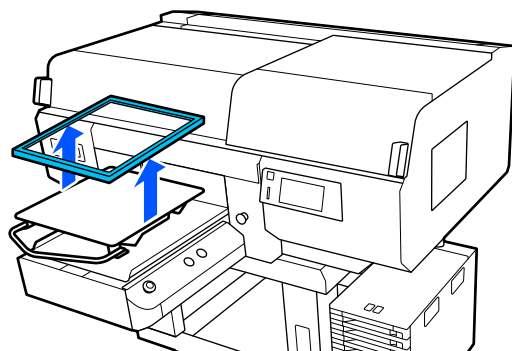
使用するプラテンの種類とセットするメディアの厚さによって最適なプラテンポジションが異なります。詳細は、以下をご覧ください。

☞ [「メディアの厚さと【プラテンギャップ】の設定値の対応表」132 ページ](#)

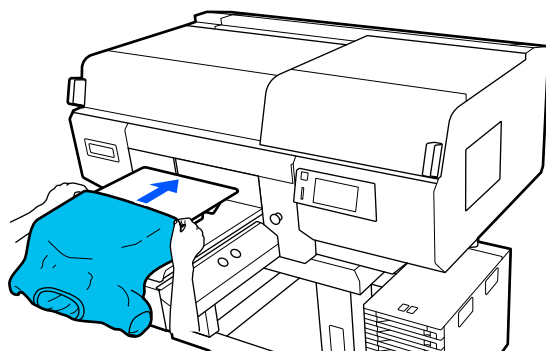
プラテンポジションの切り替え方は以下をご覧ください。

☞ [「プラテンポジションの切り替え方」46 ページ](#)

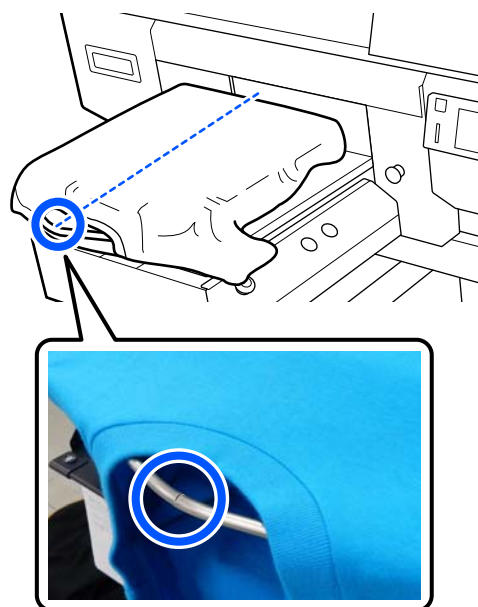
- 4 プラテンから枠を取り外します。



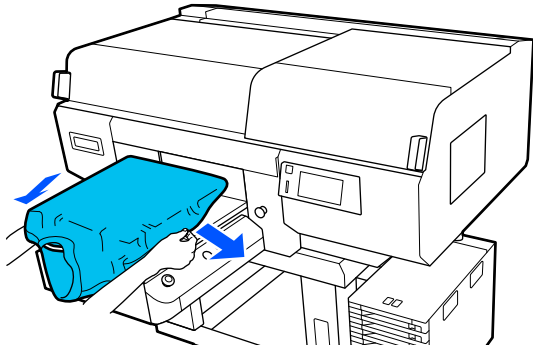
- 5 シャツの裾を手前からプラテンにかぶせるようにセットします。



図の囲み内にある線は、プラテンの中心を示しています。（ハンガープラテン L/M/S サイズのみ）



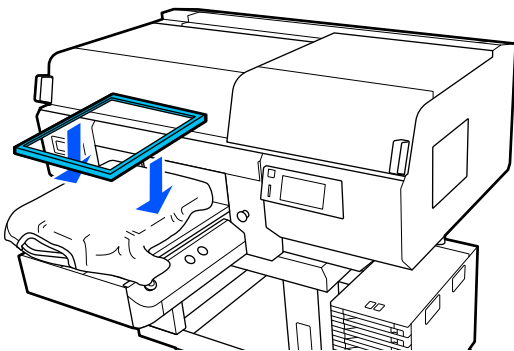
- 6 プラテンからはみ出た部分を引っ張り、印刷面を平らにします。



！重要

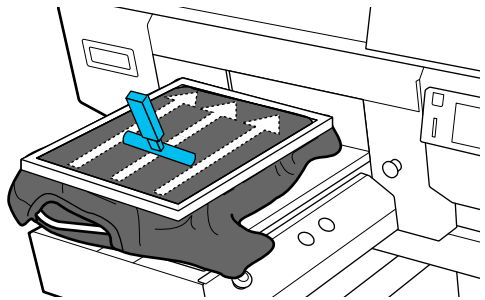
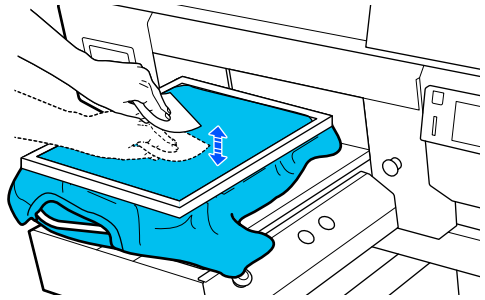
Tシャツは強く引っ張りすぎないでください。生地伸びによる画像変形などの印字品質の低下や、下地の白印刷のはみ出しにつながります。

- 7 プラテンの枠を取り付けます。

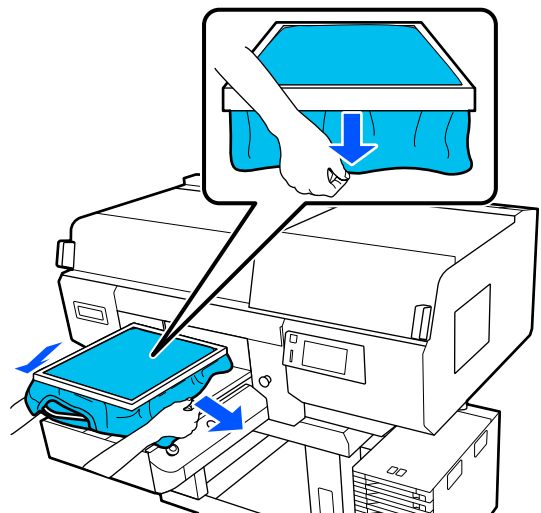


- 8 印刷面の糸くずを取り除き、毛羽を寝かせます。

前処理剤を塗布していないTシャツには印刷面に糸くずがある可能性があるため、粘着テープ（ローラー）などで糸くずを取り除いた後、硬質なローラーで毛羽を寝かせてください。糸くずがあったり毛羽が寝ていないと、プリントヘッドに付着して意図しない部分がインクで汚れることがあります。

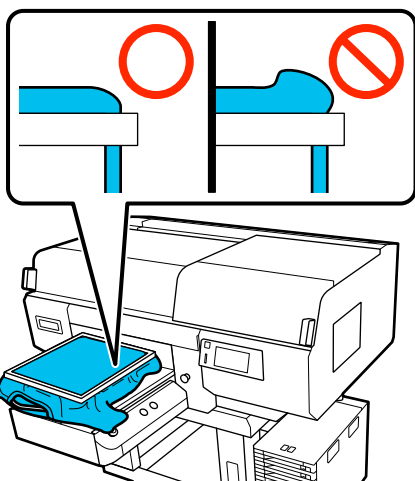


- 9 プラテンの枠からはみ出た部分を引っ張り、印刷面のたるみやしわを取り除きます。



！重要

本機は、印刷面の一番高い部分を検知して高さを調整します。図のように枠の内側付近にしわやたるみが残っている（浮いている）と、プリントヘッドと印刷面の距離が離れて印刷品質が悪くなることがあります。しわやたるみが残らないようにTシャツを引っ張ってください。ただし引っ張りすぎは、生地伸びによる画像変形などの印字品質の低下や、下地の白印刷のみ出しにつながります。

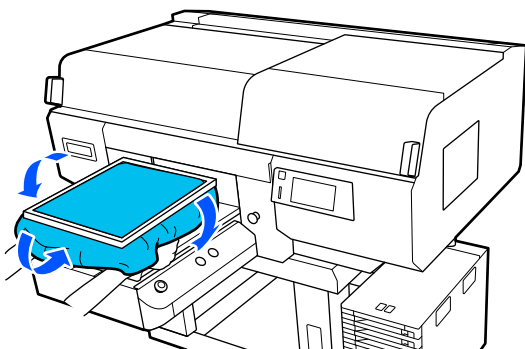


参考

印刷面がプラテンの枠によりある程度引っ張られた状態にすると、印刷面が印字中に膨らむのを軽減できることがあります。

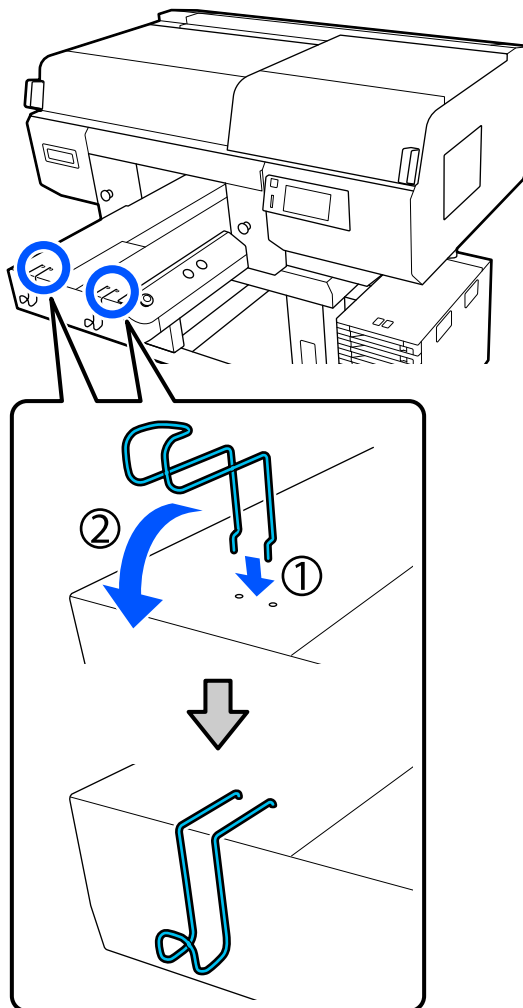
10 プラテンの枠が浮かないように枠を押します。

11 プラテンの枠からはみ出た部分を、可動台からはみ出ないように折り込みます。



付属のフックの使い方

本機に付属のフックを図のように取り付けると、プラテンから取り外した枠を引っ掛けておくことができますので便利です。

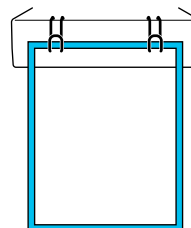


！重要

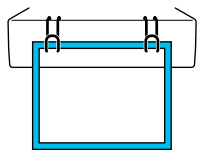
ハンガープラテンは、フックに引っ掛けしないでください。床に落ちて破損するおそれがあります。

枠の種類によって図のように1つだけ引っ掛けてください。

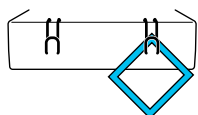
- ハンガープラテンL/Mサイズ、およびプラテンポロ/ジッパー用の枠



- ハンガープラテンSサイズの枠

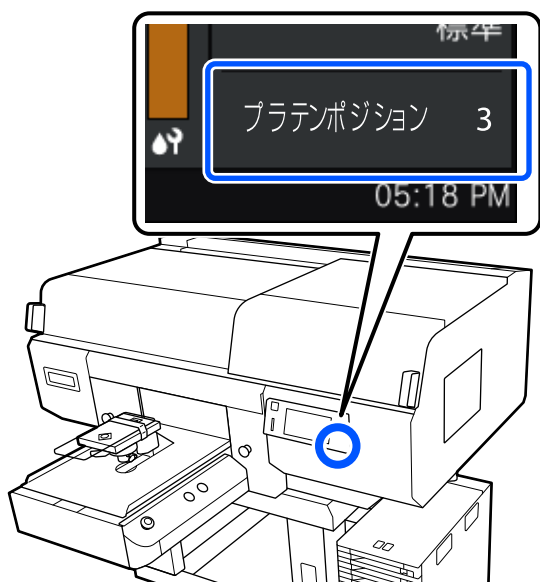


- XSサイズプラテン、およびプラテン袖用の枠



プラテン袖用へのセット方法

- 1 【】 ボタンを押して電源を入れます。
- 2 プラテンが手前に出ていることを確認します。
出ていないときは、【】 ボタンを押して、プラテンを手前に移動させます。
- 3 本機の画面でプラテンポジションが以下になっていることを確認します。



【プラテンギャップ】を【自動】に設定しているとき：

メディアの厚さによって最適なプラテンポジションが異なります。下表を目安にプラテンポジションを変更してください。

メディアの厚さ	プラテンポジション
0mm～4mm	3
4mm～7mm	4
7mm～10mm	5
10mm～13mm	6
13mm～16mm	7
16mm～19.5mm	8

【プラテンギャップ】を【手動】に設定しているとき：

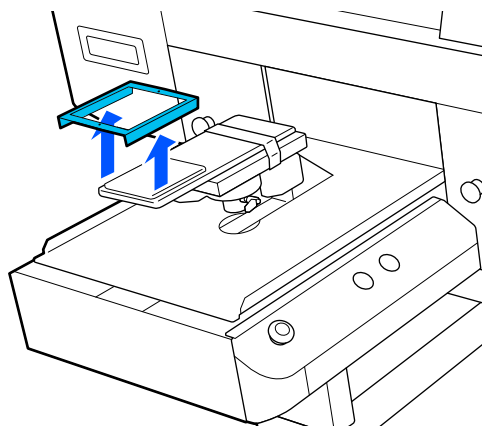
使用するプラテンの種類とセットするメディアの厚さによって最適なプラテンポジションが異なります。詳細は、以下をご覧ください。

[📖 「メディアの厚さと【プラテンギャップ】の設定値の対応表」 132 ページ](#)

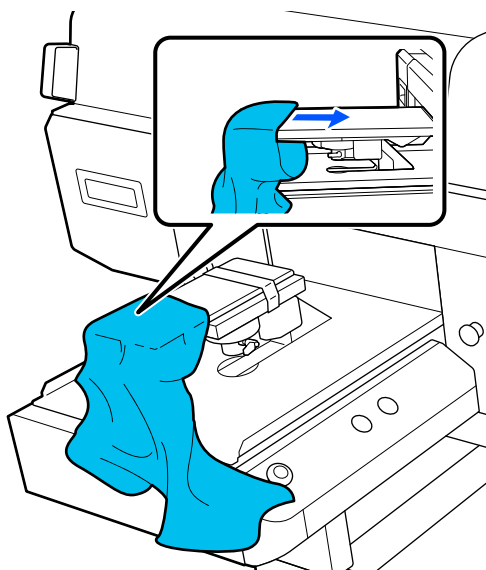
プラテンポジションの切り替え方は以下をご覧ください。

[📖 「プラテンポジションの切り替え方」 46 ページ](#)

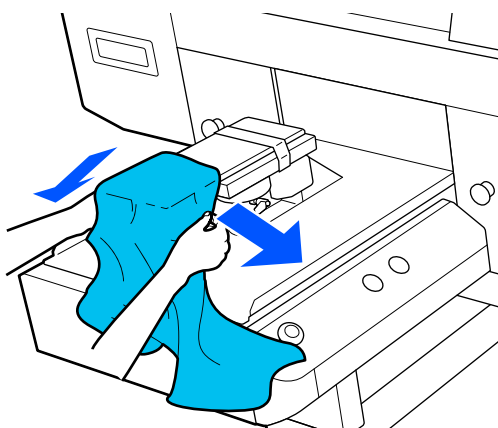
- 4 プラテンから枠を取り外します。



5 Tシャツの袖をプラテンに通します。



6 プラテンからはみ出た部分を引っ張り、印刷面を平らにします。

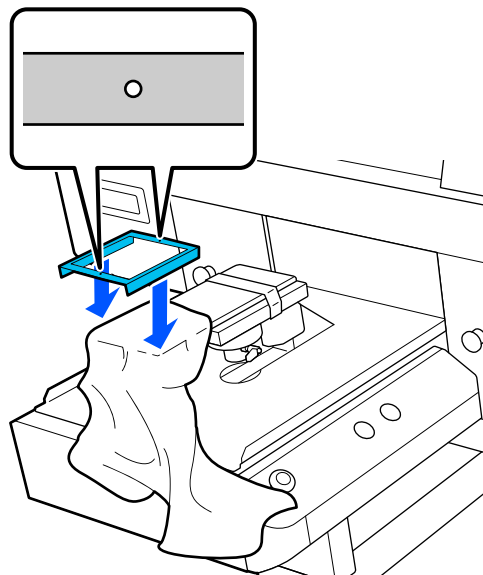


！重要

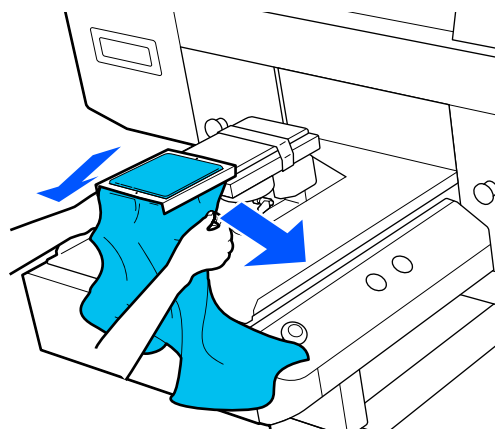
- 脇や袖の折り返しの縫い目が、上面に出ないようにセットしてください。縫い目などの段差があると、エラーが発生したり印刷品質が悪くなったりします。
- Tシャツは強く引っ張りすぎないでください。生地伸びによる画像変形などの印字品質の低下や、下地の白印刷のはみ出しにつながります。

7 プラテンの枠を取り付けます。

枠の小さな穴が空いている部分が前後になるようにセットします。



8 プラテンの枠からはみ出た部分を引っ張り、印刷面のたるみやしわを取り除きます。

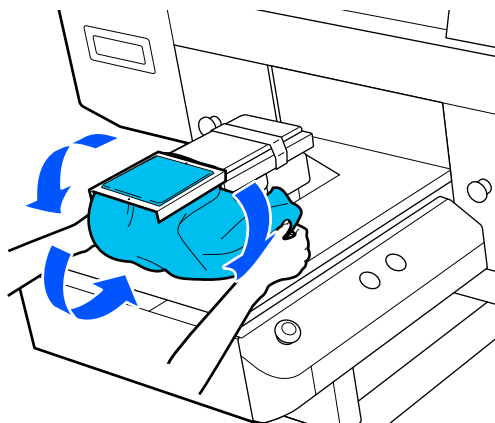


！重要

しわやたるみが残らないようにTシャツを引っ張ってください。ただし引っ張りすぎは、生地伸びによる画像変形などの印字品質の低下や、下地の白印刷のはみ出しにつながります。

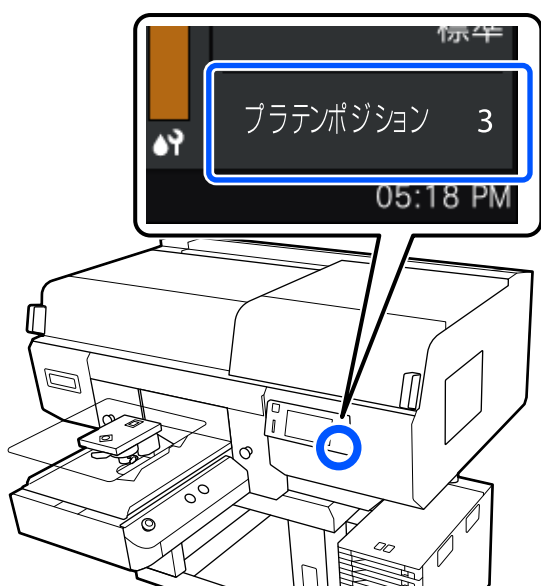
9 プラテンの枠が浮かないように枠を押します。

- 10 プラテンの枠からはみ出た部分を、可動台からはみ出ないように折り込みます。



プラテンポロ/ジッパー用へのセット方法

- 1 【】 ボタンを押して電源を入れます。
- 2 プラテンが手前に出ていることを確認します。
出ていないときは、【】 ボタンを押して、プラテンを手前に移動させます。
- 3 本機の画面でプラテンポジションが以下になっていることを確認します。



【プラテンギャップ】を【自動】に設定しているとき：

メディアの厚さによって最適なプラテンポジションが異なります。下表を目安にプラテンポジションを変更してください。

メディアの厚さ	プラテンポジション
0mm～4mm	3
4mm～7mm	4
7mm～10mm	5
10mm～13mm	6
13mm～16mm	7
16mm～19.5mm	8

【プラテンギャップ】を【手動】に設定しているとき：

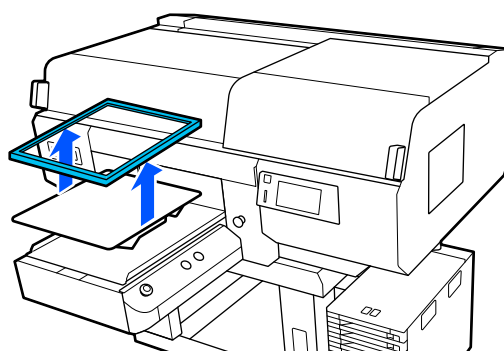
使用するプラテンの種類とセットするメディアの厚さによって最適なプラテンポジションが異なります。詳細は、以下をご覧ください。

[🔗 「メディアの厚さと【プラテンギャップ】の設定値の対応表」 132 ページ](#)

プラテンポジションの切り替え方は以下をご覧ください。

[🔗 「プラテンポジションの切り替え方」 46 ページ](#)

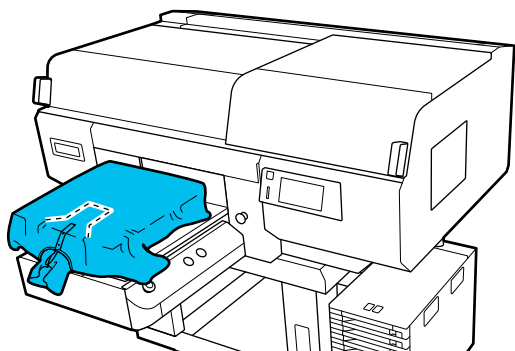
- 4 プラテンから枠を取り外します。



- 5** シャツの裾を手前からプラテンにかぶせるようにセットします。

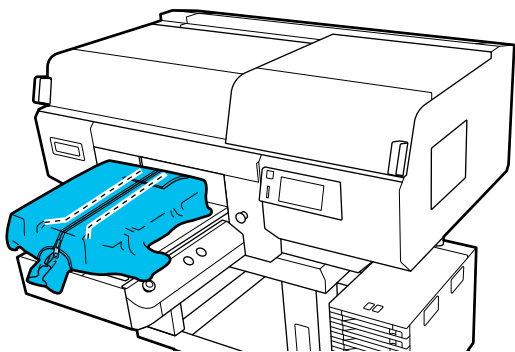
四角い部品装着時（ポロシャツなど）

襟やボタン部分が天板の切り欠き部分に収まるようにして、段差のある部分が印刷面より上に出ないようにセットします。

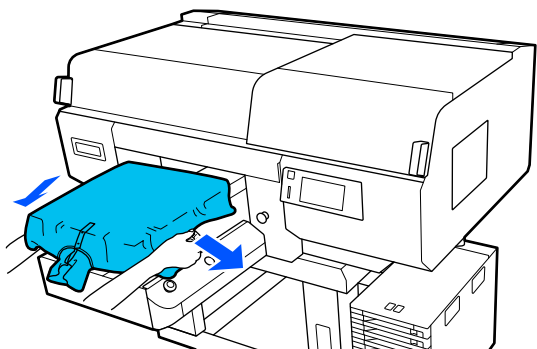


四角い部品取り外し時（前開きシャツなど）

天板部分から四角い部品を取り外し、取り外した部分にジッパーなどの段差が収まるようにして、段差のある部分が印刷面より上に出ないようにセットします。



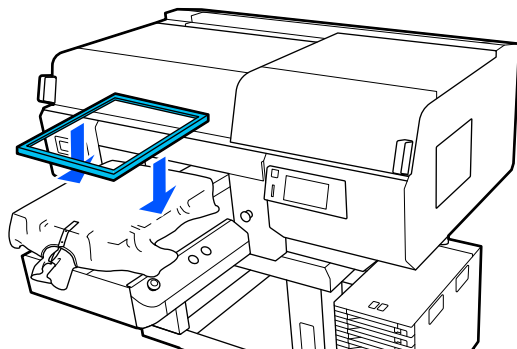
- 6** プラテンからはみ出た部分を引っ張り、印刷面を平らにします。



！重要

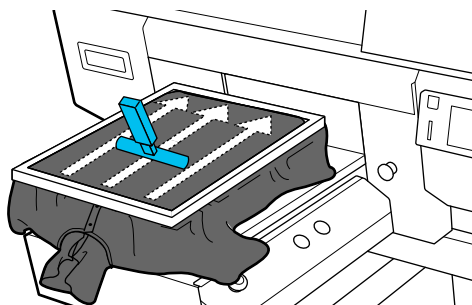
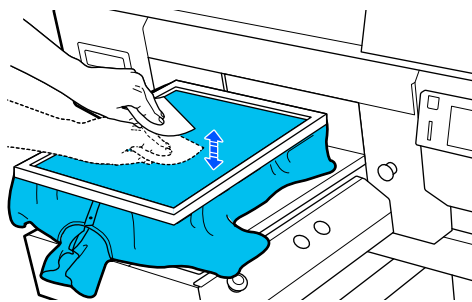
メディアは強く引っ張りすぎないでください。生地伸びによる画像変形などの印字品質の低下や、下地の白印刷のはみ出しにつながります。

- 7** プラテンの枠を取り付けます。

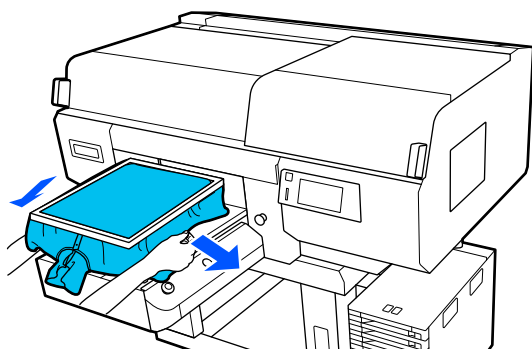


- 8** 印刷面の糸くずを取り除き、毛羽を寝かせます。

前処理剤を塗布していないメディアには印刷面に糸くずがある可能性があるため、粘着テープ（ローラー）などで糸くずを取り除いた後、硬質なローラーで毛羽を寝かせてください。糸くずがあったり毛羽が寝ていないと、プリントヘッドに付着して意図しない部分がインクで汚れることがあります。



- 9 プラテンの枠からはみ出た部分を引っ張り、印刷面のたるみやしわを取り除きます。

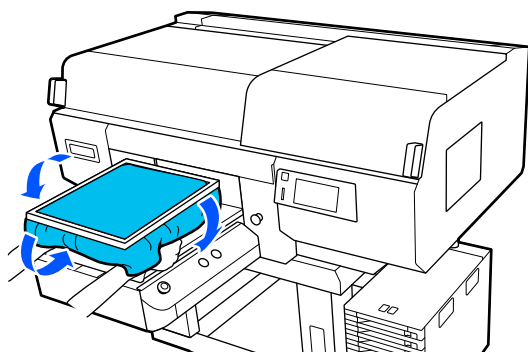


！重要

しわやたるみが残らないようにメディアを引っ張ってください。ただし引っ張りすぎは、生地への伸びによる画像変形などの印字品質の低下や、下地の白印刷のはみ出しにつながります。

- 10 プラテンの枠が浮かないように枠を押します。

- 11 プラテンの枠からはみ出た部分を、可動台からはみ出ないように折り込みます。



印刷の開始と中止

プラテンポジションの確認

厚さ 4mm 以上のメディアに初めて印刷するときは、ジョブを送信する前にプラテンポジションが適切か確認することをお勧めします。

確認方法

既に本機にジョブが送信されているときは、ジョブをキャンセルしてください。

ジョブのキャンセル方法 [☞ 「中止」 60 ページ](#)

- 1 T シャツがセットされていることを確認して【◇】ボタンを押します。

プラテンが印刷開始位置に移動します。

- 2 操作パネルの画面に表示状態を確認します。

【メディアが検出できません。】とエラー表示されているとき

メディアが正しくセットされているときは [OK] を押し、プラテンポジションを 1 段上げて再度確認してください。

【メディア表面の位置が高すぎます。】とエラー表示されているとき

メディアの表面にゴミが付着したり、メディアのセット状態に問題がないときは [OK] を押し、プラテンポジションを 1 段下げて再度確認してください。

[☞ 「プラテンポジションの切り替え方」 46 ページ](#)

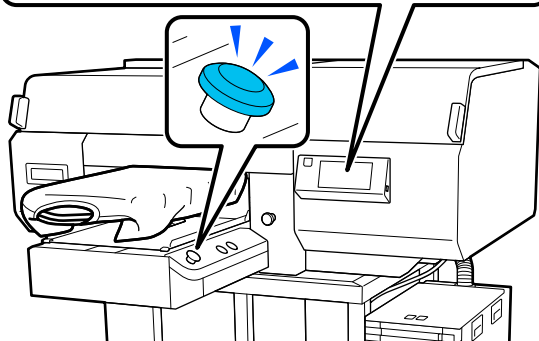
上記エラーが表示されなかったとき

プラテンポジションは適切です。

次項へ進み印刷を開始してください。

開始

- 1 ジョブの受信が完了すると、画面がプレビュー表示になり、【◇】ボタンが点灯します。



- 2 Tシャツがセットされていることを確認して【◇】ボタンを押します。

参考

印刷開始前やリPEAT印刷の合間に、[プリントヘッドのノズルチェック] や [プリントヘッドのクリーニング] を実施するときは、**Menu** (メニュー) - [プリンターのお手入れ] の順に押し、メニューを選択してください。

[プリントヘッドのノズルチェック] を実施するときは、必ずプラテンの中央にメディアをセットしてください。

🔗 [「メディアのセット方法」 88 ページ](#)

同じジョブを再印刷 (リPEAT印刷) するとき

本機に送信されたジョブは、指定部数の印刷終了後も以下のタイミングまでは本機に保存されています。

- 新しいジョブが送信される
- 電源を切る

参考

ジョブサイズが 576MB を超えるものは、本機に保存されません。再度ジョブを送信してください。

以下の手順で保存されたジョブを呼び出すと、コンピューターからジョブを再送信しなくても本機の操作のみでリPEAT印刷が行えます。

- 1 **Menu** (メニュー) - [再印刷] の順に押します。

- 2 印刷部数を入力して [次へ] を押します。

[ヘッド移動方向] の設定もここで変更できます。

- [自動] : 印刷ジョブの設定内容に従って印刷されます。
- [単方向] : プリントヘッドが左右に移動する際の往路でのみ印刷します。



- 3 本機画面がプレビュー表示になり、【◇】ボタンが点灯したら、Tシャツをプラテンにセットして【◇】ボタンを押します。

🔗 [「Tシャツ \(メディア\) のセット」 47 ページ](#)

中止

印刷を中止したい場合、または本機で受信中、受信済みのジョブをキャンセルしたい場合に実施します。リピート印刷や USB メモリーからの印刷も同様の手順でキャンセルできます。

1 本機の【II】ボタン、または画面の状態表示エリアの右端にある **II** (ポーズ) を押します。

2 [中止] を選択します。

印刷またはジョブの受信が止まり、ジョブが削除されます。

参考

Garment Creator 2/Garment Creator for SC-F3000 Series からジョブを送信中に表示される画面で [キャンセル] をクリックすると中止できます。コンピューターから本機へのジョブ転送が終了しているときは、本機で中止してください。

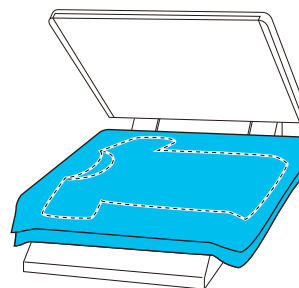
インクの定着

印刷後の T シャツは、ヒートプレスまたはオープンでインク定着処理を行います。

インク定着時のご注意

- 袖周りなどの縫い目近くに印刷した T シャツ (メディア) でヒートプレスを使用すると、縫い目による段差のためにインクが加熱されず定着が不十分になることがあります。

段差を吸収するため下図のように T シャツの上下に耐熱性のある布をセットしてから加圧することをお勧めします。



- ポリエステル T シャツをヒートプレスで定着処理すると、生地特性上ヒートプレスがインクで汚れやすくなります。必要に応じてヒートプレスを清掃するか、剥離性のあるシートをセットしてプレスしてください。

- 定着が不十分だと洗濯や摩擦により、色が落ちることがあります。

- T シャツ (メディア) にプラスチック製のボタンやジッパーがあるときは、ヒートプレス使用時に破損しないか事前に確認してからのご使用をお勧めします。

定着の条件

定着に必要な条件は、生地やインク定着用機器の種類により以下の通り異なります。

以下の数値は、目安としてご利用ください。お使いの生地やインク定着用機器の種類、インク量によって最適な条件は異なります。

綿 T シャツの場合

ヒートプレス

温度	時間	圧力* ¹
170 °C	45 秒間* ²	4.2N/cm ²

*1 手動調整タイプなど、お使いのヒートプレス機によって最適な条件は異なります。必ず事前にインク定着結果を確認しながら圧力を調整してください。

*2 ホワイトインクを含む A4 より大きな画像は、45 秒間実施しても乾ききらないことがあります。インクが乾燥しているか様子を見ながら最大 90 秒までの間で時間を延ばしてみてください。

オープン

お使いのオープンにより最適な条件は異なるため、必ず事前にインク定着結果を確認しながら温度と時間を決定してください。

オープンの種類	温度	時間
バッチ式	160 °C	3.5~5 分* ²
コンベア式	160 °C* ¹	3.5~4.5 分* ²

*1 定着面の表面部分の温度です。庫内温度ではありません。T シャツ表面温度が 180 °C を超えると、T シャツおよび印刷面が変色することがあります。

*2 ホワイトインクを含む画像は、定着に最大時間（バッチ式:5 分、コンベア式:4.5 分）必要です。

ポリエステル T シャツの場合

ポリエステル T シャツは生地の特性上、定着時の熱で生地が変色することがあります。また、過度な温度、時間、圧力で定着処理すると、印刷した色が薄くなったりヒートプレス跡が残ったりすることがあります。必ず事前にインク定着結果を確認しながら条件を決定してください。

ヒートプレス

• ホワイトインク使用時

温度	時間	圧力* ¹
130 °C	90 秒間	3.0N/cm ²

• カラーインクのみ

温度	時間	圧力* ¹
130 °C	30 秒間* ²	3.0N/cm ²

*1 手動調整タイプなど、お使いのヒートプレス機によって最適な条件は異なります。必ず事前にインク定着結果を確認しながら圧力を調整してください。

*2 混紡などの生地の種類によっては、A4 より大きな画像やインク量が多い画像は 30 秒間実施しても十分に乾燥しないことがあります。乾燥が不十分な場合は、インクが乾燥しているか様子を見ながらさらに時間を延ばしてみてください。

オープン

オープンの種類	温度	時間
バッチ式/コンベア式	140 °C* ¹	5~10 分* ²

*1 定着面の表面部分の温度です。庫内温度ではありません。

*2 ホワイトインクを含む画像は、定着に最大時間（10 分）必要です。

USB メモリーから印刷

コンピューターであらかじめ Garment Creator 2/ Garment Creator for SC-F3000 Series から USB メモリーへ保存したジョブを、本機の操作パネルで選択して直接印刷できます。

USB メモリーへジョブを保存する方法はお使いのソフトウェアのマニュアルをご覧ください。

USB メモリーの条件

以下の条件を満たしているものをご使用ください。

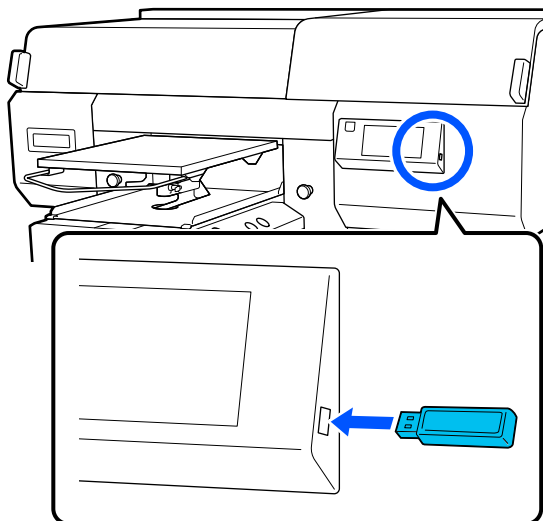
- Windows 互換の FAT デバイス
- フォーマット形式：FAT、FAT32、または exFAT
- 暗号化やパスワードロックなどのセキュリティー機能を搭載していない
- メモリー容量：2TB 以内
- パーティション：1 つ

保存可能なデータの条件

- ファイルフォーマット：prn ファイル (.prn)
- データ名：半角英数 255 文字以内
- データサイズ：4GB 以内
- データ数：999 以内

印刷手順

- 1 ジョブが保存された USB メモリーを USB メモリーポートに差し込みます。



- 2 操作パネルの画面で  (USB 印刷) を押します。

!重要

- ランプ点滅時は、USB メモリーを抜き差ししないでください。
- USB メモリーは本機に直接装着してください。延長ケーブルを使用した接続や、USB ハブ、カードリーダーを使用した装着は保証できません。

- 3 以下の画面が表示されたら、[印刷] を押します。

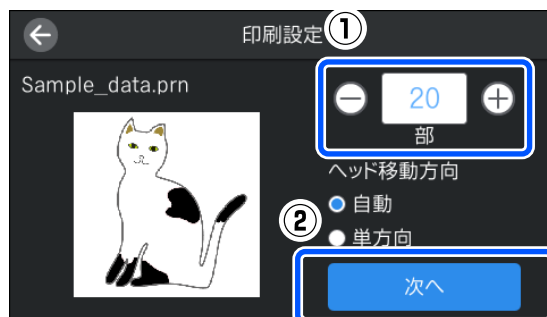


- 4 印刷するデータを選択します。
印刷データのプレビューが表示されます。

- 5 印刷部数を入力して [次へ] を押します。

[ヘッド移動方向] の設定もここで変更できます。


- [自動]：印刷ジョブの設定内容に従って印刷されます。
- [単方向]：プリントヘッドが左右に移動する際の往路でのみ印刷します。



- 6** 本機画面がプレビュー表示になり、【◇】ボタンが点灯したら T シャツをプラテンにセットして【◇】ボタンを押します。

[🔗 「T シャツ \(メディア\) のセット」 47 ページ](#)

参考

印刷開始前やリピート印刷の合間に、[プリントヘッドのノズルチェック] や [プリントヘッドのクリーニング] を実施するときは、 (メニュー) - [プリンターのお手入れ] の順に押し、メニューを選択してください。

[プリントヘッドのノズルチェック] を実施するときは、必ずプラテンの中央にメディアをセットしてください。


[🔗 「メディアのセット方法」 88 ページ](#)

指定部数を印刷し終わると、印刷ジョブの一覧画面が表示されます。


指定部数の印刷途中で部数を変更するとき

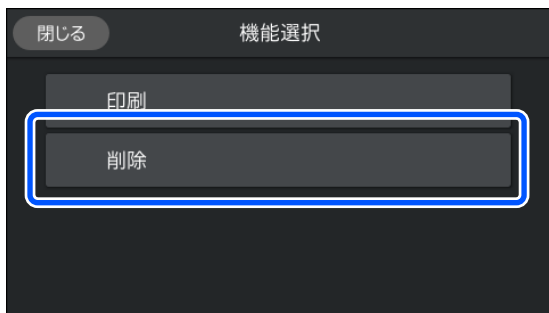
画面または本機の【||】ボタンを押して印刷を終了し、手順 4 からやり直してください。

指定部数の印刷終了前に違うジョブを印刷するとき

画面または本機の【||】ボタンを押して印刷を終了し、プレビュー画面で  を押して印刷ジョブの一覧画面に戻り、手順 3 からやり直してください。

削除

- 1** 操作パネルの画面で  (USB 印刷) を押します。
- 2** 以下の画面が表示されたら、[削除] を押します。



- 3** 削除するデータを選択します。
- 印刷データのプレビューが表示されます。そのまま削除するときは、[はい] を選択してください。

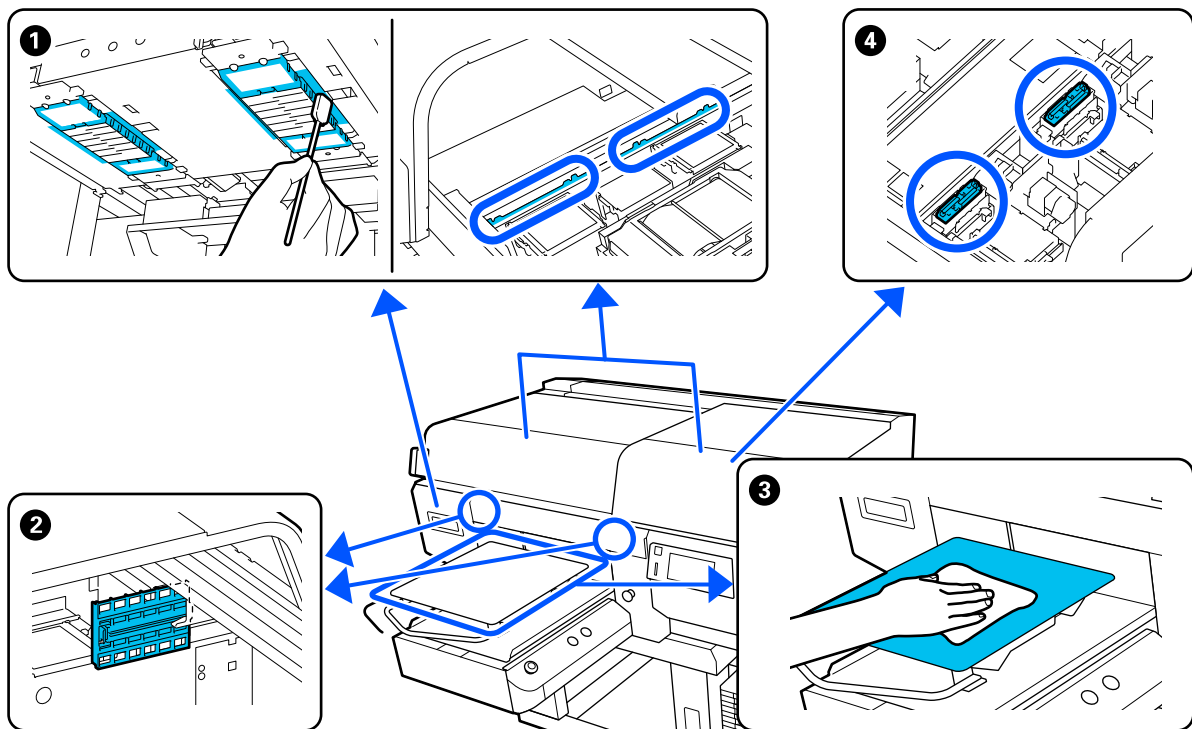
メンテナンス

メンテナンスの種類と実施時期

本機の印刷品質を維持するためには、清掃や消耗品の交換が必要です。

適切なメンテナンスを怠ると、印刷品質の低下や製品が早期に寿命にいたる原因になったり、修理が必要の際に有償になることがあります。画面にメッセージが表示されたら必ずメンテナンスを実施してください。

清掃箇所と実施時期

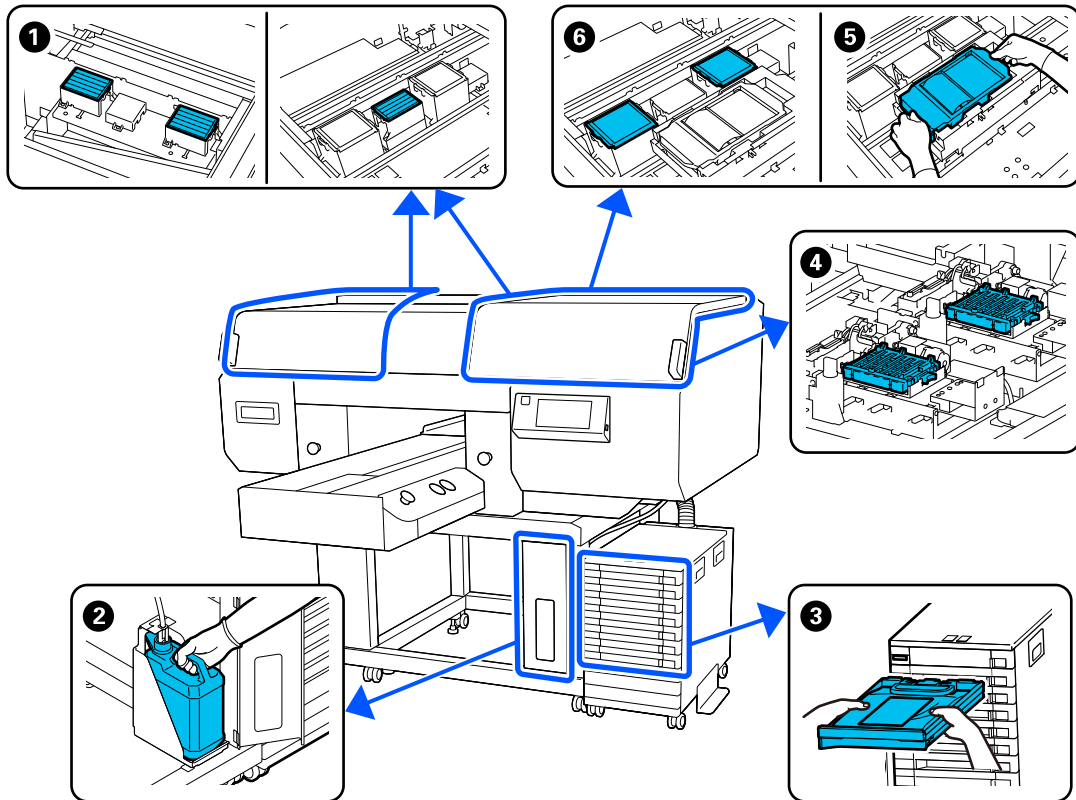


実施時期	清掃箇所
操作パネルの画面に「センサーカバーの清掃時期です。」と表示されたとき	② センサーカバーの清掃 ☞ 「センサーカバーの清掃」 68 ページ 手順は YouTube から動画でご覧いただけます。 動画マニュアル
<ul style="list-style-type: none"> 吸引キャップを清掃しても、印刷面などが汚れるとき プリントヘッドのクリーニングをしても正常に印刷されないとき 	① プリントヘッド周辺と板金のフチの清掃 ☞ 「プリントヘッド周辺と板金のフチの清掃」 70 ページ 手順は YouTube から動画でご覧いただけます。 動画マニュアル
布を貼らないプラテンが汚れたとき	③ 布を貼らないプラテンの清掃 ☞ 「布を貼らないプラテンの清掃」 75 ページ

実施時期	清掃箇所
<ul style="list-style-type: none"> 操作パネルの画面に「吸引キャップの清掃時期です。」と表示されたとき* Tシャツの印刷面にインクの汚れが付くとき 	<p>④ 吸引キャップ ☞ 「吸引キャップの清掃」 72 ページ</p> <p>手順は YouTube から動画でご覧いただけます。 動画マニュアル</p>








* メッセージが頻繁に表示されるときはエプソンサービスコールセンターに連絡してください。

消耗品の箇所と交換時期



実施時期	交換箇所
<p>操作パネルの画面に準備や交換を促すメッセージが表示されたとき</p>	<p>① エアフィルター ☞ 「エアフィルターの交換」 86 ページ</p> <p>② 廃インクボトル ☞ 「廃インク処理」 79 ページ</p> <p>④ 乾燥防止キャップ ☞ 「キャップユニットセットの交換」 84 ページ</p> <p>⑤ ワイパーユニット、⑥ フラッシング用吸収材 ☞ 「ヘッドクリーニングセットの交換」 81 ページ</p>
<p>操作パネルの画面に「インク量が限界値以下のためインクパック交換が必要です。」と表示されたとき</p>	<p>③ インクパック ☞ 「インクパックのかくはんと交換」 76 ページ</p>

その他のメンテナンス

実施時期	実施事項
<ul style="list-style-type: none"> • 毎日の印刷業務開始前（WHのみ） • [インクのかくはん時期です。] [ /  が表示されているインクパックを振ってください。]と表示されたとき • インクユニットのLEDランプが青色点滅しているとき 	<p>インクパックのかくはん  「かくはんの方法」 76 ページ</p>
<ul style="list-style-type: none"> • ノズルが目詰まりしているか確認したいとき • 目詰まりしている色を確認したいとき • 水平方向のスジ/濃淡ムラ（バンディング）が見られるとき 	<p>ノズルの目詰まりチェック  「ノズルの目詰まりチェック」 88 ページ</p>
<ul style="list-style-type: none"> • 印刷物にかすれや欠けがあるとき • ノズルの目詰まりチェックの結果、目詰まりが確認されたとき 	<p>プリントヘッドのクリーニング  「プリントヘッドのクリーニング」 90 ページ</p>
<p>プリンターモードを変更するとき</p>	<p>プリンターモードの切り替え  「【プリンターモード】の切り替え」 91 ページ</p>
<p>本機を長期間使用しない（電源を切る）とき</p>	<p>長期保管前メンテナンス  「長期間使用しないときの事前メンテナンス」 93 ページ</p>

準備するもの

清掃や交換を始める前に、以下のものを準備してください。

付属品が終了したときは、消耗品をお求めください。
インクパックやメンテナンス用の交換パーツは、本機専用のものをご用意ください。

🔗 [「消耗品とオプション」 126 ページ](#)

保護メガネ（市販品）

インクやインククリーナーが目に入らないように保護します。

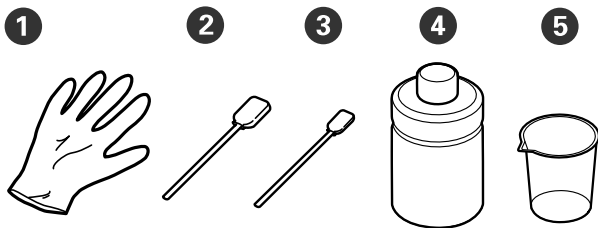
ピンセット（本機付属）

塊や膜状に付着している廃液を取り除きます。

メンテナンスキット（本機付属）

キャップやプリントヘッド周辺、センサーカバーの清掃で使います。

手袋、クリーニング棒、インククリーナー、カップがセットに入っています。



- ① 手袋（4枚）
- ② クリーニング棒（太）（25本）
- ③ クリーニング棒（細）（25本）
- ④ インククリーナー（1個）
- ⑤ カップ（1個）

クリーンルーム用ワイパー（本機付属）

センサーカバーの清掃で使います。

金属またはプラスチック製のトレイ（市販品）

使用済みのクリーニング棒や取り外した交換部品を置いたり、プリントヘッド周辺の清掃時にインク汚れを防いだりするのに使います。

柔らかい布

板金のフチの清掃や、布を貼らないプラテンの清掃に使います。

作業時のご注意

⚠️ 注意

- 作業をするときは、保護メガネ、手袋、マスクなどを着用してください。廃インク、インククリーナーが皮膚に付着したときや目や口に入ったときは、以下の処置をしてください。
- 皮膚に付着したときは、多量の石けん水で洗い流してください。皮膚に刺激を感じたり変化があるときは、医師の診断を受けてください。
- 目に入ったときは、すぐに水で洗い流してください。そのまま放置すると目の充血や軽い炎症を起こすおそれがあります。異常があるときは、医師の診断を受けてください。
- 口に入ったときは、速やかに医師に相談してください。
- 飲み込んだときは、無理に吐かせずに速やかに医師に相談してください。無理に吐かせると、吐いたものが気管に入ることがあり危険です。
- インクパック、廃インク、インククリーナー、クリーニングインクパックは子どもの手の届かない場所に保管してください。

- 本機から T シャツを取り外してから作業を始めてください。
- 清掃の対象箇所以外の部品や基板には絶対に触らないでください。本機の故障や印刷品質低下の原因となります。
- クリーニング棒は、常に新品を使用してください。一度使用したものを再利用すると、かえって汚れが付着する原因となります。
- クリーニング棒の先は手で触らないでください。皮脂が付着し、機能が損なわれることがあります。
- インクが水や有機溶剤と混ざると固まり、故障の原因となります。
 - 指示された箇所の清掃には、必ず純水を使用してください。水道水は使用しないでください。
 - アルコールなどの有機溶剤は清掃に使用しないでください。有機溶剤は、変色、変形、破損の原因になります。
- 作業の前に金属製のものに触れて、作業者の静電気を逃がしてください。

清掃

インククリーナーの使い方

インククリーナーは、以下の清掃で使用します。

使用箇所

- 吸引キャップの清掃時
クリーニング棒に染み込ませて使用する。
- 吸引キャップ周囲の清掃時
から拭きただけでは取れないインク汚れがあるとき、クリーニング棒に染み込ませて使用する。
- プrintヘッド周辺の清掃時
クリーニング棒に染み込ませて使用する。
- 布を貼らないプラテンの清掃時
から拭きや、薄めた中性洗剤を使用して拭いただけでは取れないインク汚れがあるとき、柔らかい布に染み込ませて使用する。
- センサーカバーの清掃時
水拭きだけでは取れないインク汚れがあるとき、クリーニング棒用ワイパーに染み込ませて使用する。
- 本機内部の通風口の清掃時
水拭きだけでは取れないインク汚れがあるとき、クリーニング棒に染み込ませて使用する。

!重要

- 使用箇所指定された箇所以外の清掃には使用しないでください。部品が傷つくおそれがあります。
- 開封後の使用、保管状況によっては、インククリーナーが変色することがあります。
- インククリーナーに変色や異臭があるときは、使用を中止して新しいメンテナンスキットをお使いください。
- 使用後は蓋をしっかりと閉め、高温多湿、直射日光を避けて保管してください。

1 インククリーナーの蓋を外します。

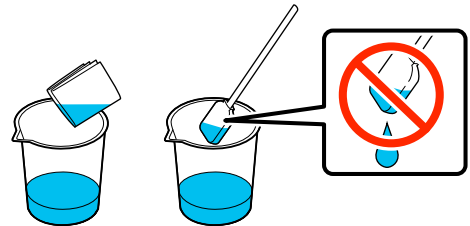
2 メンテナンスキットに付属のカップにインククリーナーを適量注ぎます。

センサーカバーや本機内部の通風口の清掃に使用する時は、約 5ml（一番下の目盛りの半分程度）注いでください。



3 クリーニング棒や柔らかい布にインククリーナーを染み込ませます。

このとき、クリーニング棒や柔らかい布からインククリーナーが垂れないように注意してください。



センサーカバーの清掃

センサーカバーの清掃時期になると、操作パネルの画面に [センサーカバーの清掃時期です。] と表示されます。そのまま使い続けると、プラテン位置が検知されず印刷ができなくなります。以降をご覧ください。清掃してください。

手順は YouTube から動画でご覧いただけます。
[動画マニュアル](#)


!重要

プラテンは手で動かさないでください。故障の原因になります。

作業を行う前に、必ず以下をお読みください。

[🔗 「作業時のご注意」 67 ページ](#)

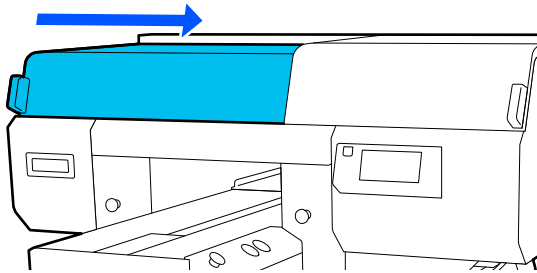
- 1 本機画面に表示されたメッセージの内容を確認し、[清掃する]を押します。

メッセージが表示されていないときは、 (メニュー) - [プリンターのお手入れ] - [部品清掃] - [センサーカバー] の順に押します。

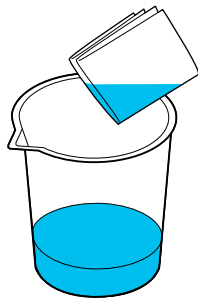
- 2 メッセージの内容を確認し、[開始]を押します。


プラテンがメンテナンス位置まで移動します。

- 3 左側のプリンターカバーを開けます。

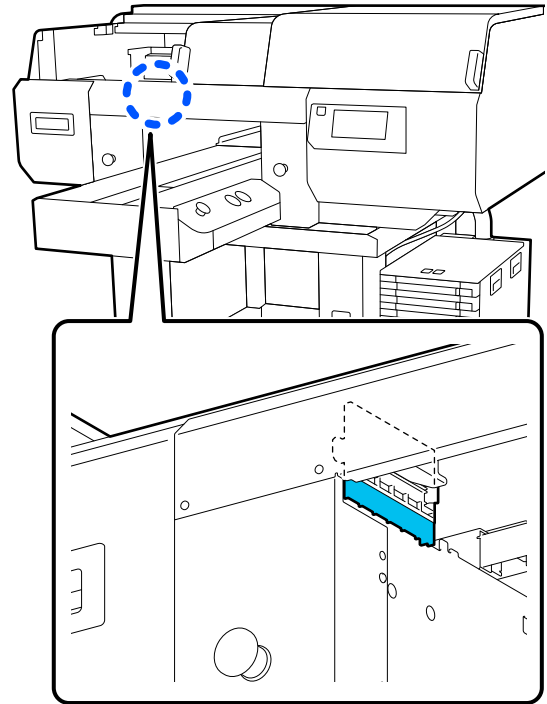


- 4 メンテナンスキットに付属のカップに水を注ぎ、クリーンルーム用ワイパーに染み込ませます。



- 5 開口部から手を入れて水を染み込ませたクリーンルーム用ワイパーで図の部分を湿らせます。

本機内部に水が垂れないように注意してください。



- 6 乾いたクリーンルーム用ワイパーで汚れを拭き取ります。

下図のように透明な部分の曇りがなくなり、内部がはっきり見えるようになるまで拭いてください。

清掃前



清掃後



参考

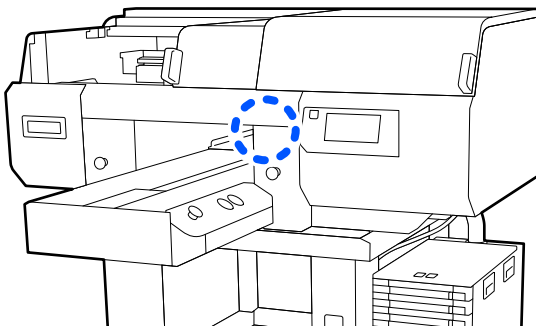
透明な部分の下から見える赤色や緑色の光は LED ライトです。目に刺激はありません。

汚れがひどいときは手順 4 に戻り、水の代わりにメンテナンスキットに付属のインククリーナーを使用して再度清掃してください。

☞ [「インククリーナーの使い方」 68 ページ](#)

- 7** 右側のセンサーカバーも同じ手順で清掃します。

手順 4~6 を行ってください。



- 8** 両方のセンサーカバーの清掃が終了したら左側のプリンターカバーを閉め、操作パネルの画面で [終了] を押します。

- 9** 画面のメッセージを確認して [OK] を押します。

プラテンが通常の位置に戻ります。

使用済み消耗品の廃棄 ☞ [「廃棄」 97 ページ](#)

【センサーカバーを認識できません。】と表示されたら

清掃終了後すぐにこのメッセージが表示されたときは、清掃が不十分です。再度清掃を行ってください。

プリントヘッド周辺と板金のフチの清掃

【プリントヘッドのクリーニング】を数回行って印刷面などが汚れるときは、プリントヘッドの周辺や板金のフチに糸くずなどの毛羽が堆積している可能性があります。以下の手順で清掃してください。

手順は YouTube から動画でご覧いただけます。


[動画マニュアル](#)

！重要

プリントヘッド、プラテンは手で動かさないでください。故障の原因になります。

作業を行う前に、必ず以下をお読みください。

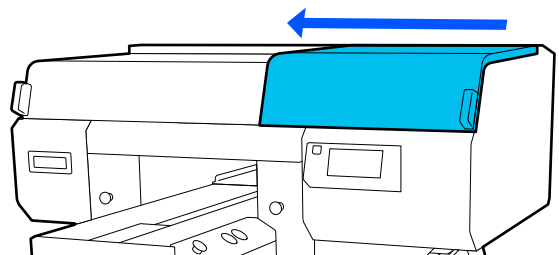
☞ [「作業時のご注意」 67 ページ](#)

- 1** 電源が入っていることを確認し、 (メニュー) - [プリンターのお手入れ] - [部品清掃] - [ヘッド周辺] の順に押します。


- 2** メッセージの内容を確認し、[開始] を押します。

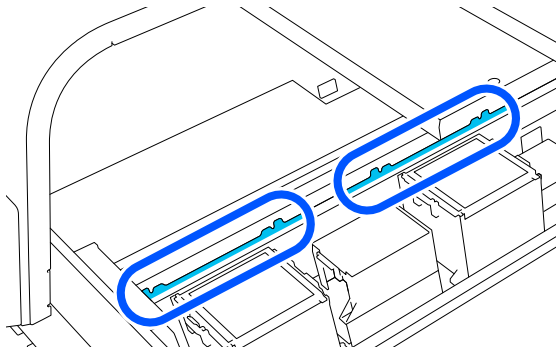
プラテンがメンテナンス位置まで移動します。

- 3** 右側のプリンターカバーを開けます。

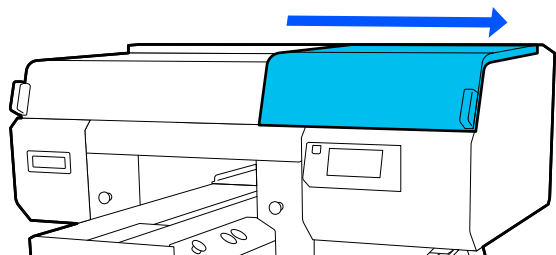


- 4** 水に浸して固く絞った柔らかい布で板金のフチを拭き、から拭きします。

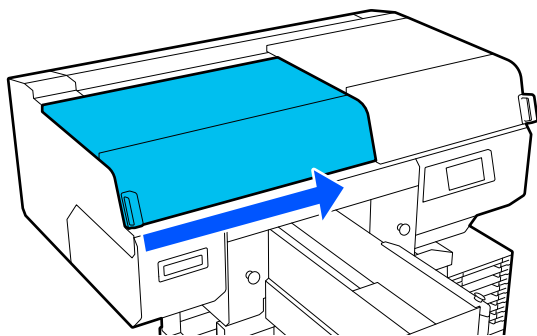
図の  部分に付着したインクや毛羽ゴミ、ホコリを拭きとります。




- 5** 右側のプリンターカバーを閉めます。

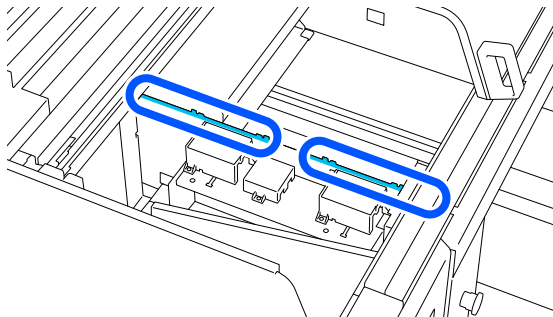


- 6** 左側のプリンターカバーを開けます。

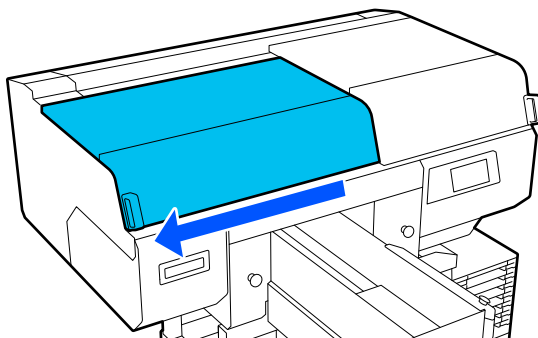


- 7** 水に浸して固く絞った柔らかい布で板金のフチを拭き、から拭きします。

図の  部分に付着したインクや毛羽ゴミ、ホコリを拭きとります。



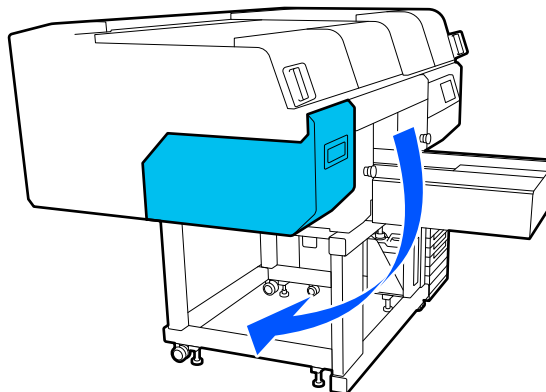
- 8** 左側のプリンターカバーを閉めます。



- 9** 画面のメッセージを確認し、[次へ] を押します。

プリントヘッドがメンテナンス位置に移動します。

- 10** プリントヘッドが移動したことを確認し、メンテナンスカバーを開けます。



参考

プリントヘッド移動後、10分経過するとブザーが鳴ります（メーカー設定値）。画面のメッセージを確認し、[OK] を押して作業を継続してください。更に10分経過すると、再びブザーが鳴ります。

11 新品の太いクリーニング棒を2本用意し、インククリーナーを染み込ませます。

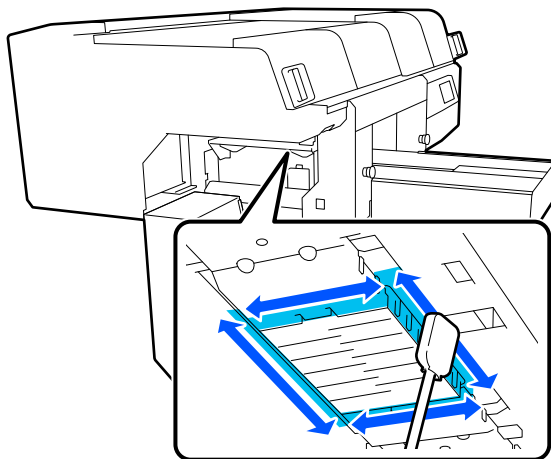
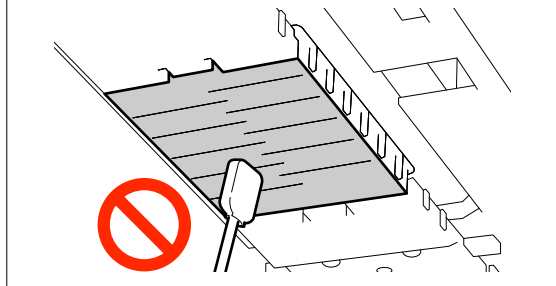
奥と手前のプリントヘッドはそれぞれ別のクリーニング棒で清掃します。

☞ [「インククリーナーの使い方」68ページ](#)

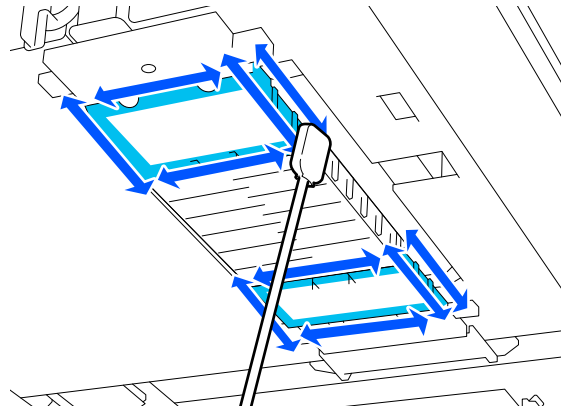
12 プリントヘッドをのぞき込み、図の■部分のインクの固まりや毛羽ゴミ、ホコリを拭き取ります。

!重要

クリーニング棒でノズル面には触らないでください。故障の原因になります。



13 図の■部分のインクの固まりや毛羽ゴミ、ホコリを拭き取ります。



一度拭いただけでは汚れが取れないときはクリーニング棒にインククリーナーを再度染み込ませ、手順12、13を繰り返して汚れを拭き取ります。このとき、クリーニング棒がひどく汚れているときは新品に交換してください。

14 両方のヘッドの清掃が終了したら、メンテナンスカバーを閉め、操作パネルの画面で[終了]を押します。

プラテンとプリントヘッドが通常的位置に戻り設定メニューが終了します。

清掃終了後はノズルの目詰まりチェックの実施をお勧めします。

☞ [「ノズルの目詰まりチェック」88ページ](#)

使用済み消耗品の廃棄 ☞ [「廃棄」97ページ](#)

吸引キャップの清掃

吸引キャップの清掃時期になると、操作パネルの画面に「吸引キャップの清掃時期です。」と表示されます。そのまま使い続けるとノズルの目詰まりが発生して、印刷品質が低下します。メッセージが表示されなくても、印刷面にインクの汚れが付くときは清掃をしてください。

手順はYouTubeから動画でご覧いただけます。

[動画マニュアル](#)


!重要

プリントヘッド、プラテンは手で動かさないでください。故障の原因になります。

作業を行う前に、必ず以下をお読みください。

☞ [「作業時のご注意」67ページ](#)

- 1** 本機画面に表示されたメッセージの内容を確認し、**「清掃する」**を押します。

メッセージが表示されていないときは、 (メニュー) - **「プリンターのお手入れ」** - **「部品清掃」** - **「吸引キャップ」**の順に押します。

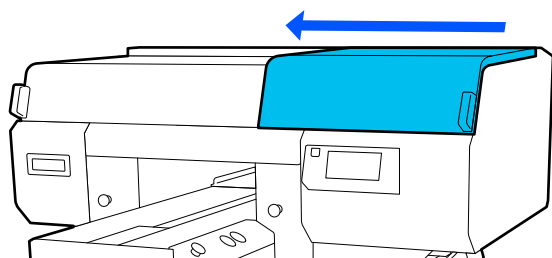
- 2** メッセージの内容を確認し、**「開始」**を押します。

プラテンとプリントヘッドがメンテナンス位置まで移動します。

参考

プリントヘッド移動後、10分経過するとブザーが鳴ります (メーカー設定値)。画面のメッセージを確認し、**「OK」**を押して作業を継続してください。更に10分経過すると、再びブザーが鳴ります。

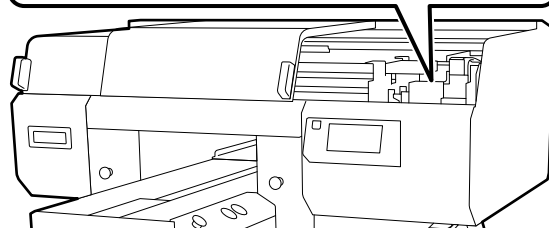
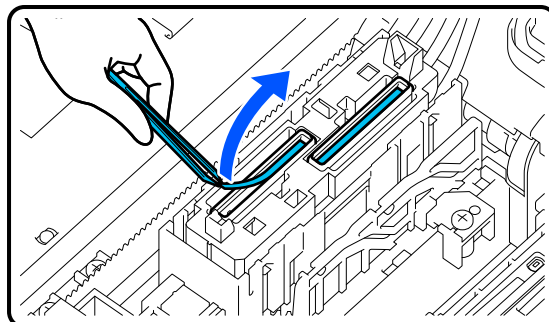
- 3** 右側のプリンターカバーを開けます。



- 4** 吸引キャップに廃液が塊や膜状に付着しているときは、付属のピンセットで取り除きます。

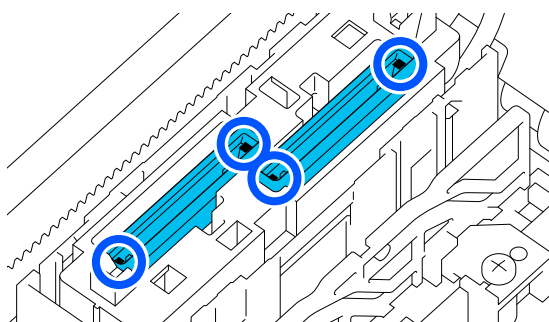
！重要

- キャップ部分を強くこするなどして傷付けないようにしてください。傷が付くと空気が漏れて、プリントヘッドのクリーニングが正常にできなくなります。
- 付属品以外の金属ピンセットなどは使用しないでください。



- 5** 囲みを付けた4カ所の穴が廃液でふさがっているときは、ピンセットで取り除きます。

廃液を穴に押し込まないように注意してください。



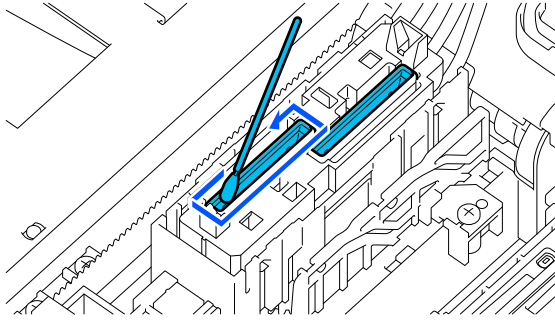
清掃後、4カ所の穴が全て見えるようになったか確認してください。

- 6** 新品の細いクリーニング棒と太いクリーニング棒を2本ずつ用意し、インククリーナーを染み込ませます。

奥と手前の吸引キャップはそれぞれ別のクリーニング棒で清掃します。

 [「インククリーナーの使い方」 68 ページ](#)

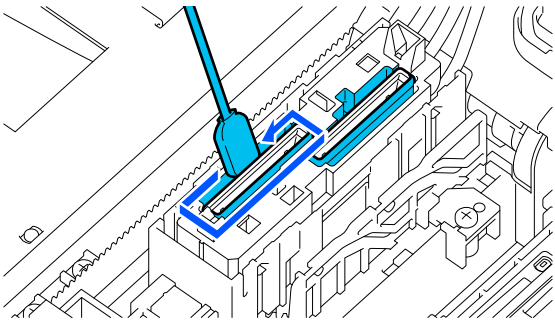
- 7** 細いクリーニング棒を回転させながら、吸引キャップの内側の汚れを拭き取ります。



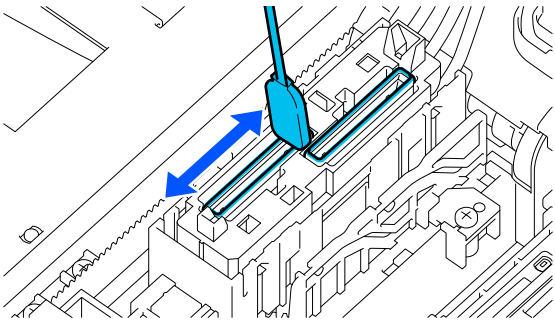
！重要

インククリーナーが乾燥防止キャップの方に垂れないように注意してください。垂れたときは、乾いたクリーニング棒で拭き取ってください。クリーナーが付着したままだと、プリントヘッドのノズルの目詰まり発生につながります。

- 8** 太いクリーニング棒で吸引キャップ外周の汚れを拭き取ります。



- 9** 外周の汚れが拭き取れたら、吸引キャップ上側のフチの汚れを拭き取ります。

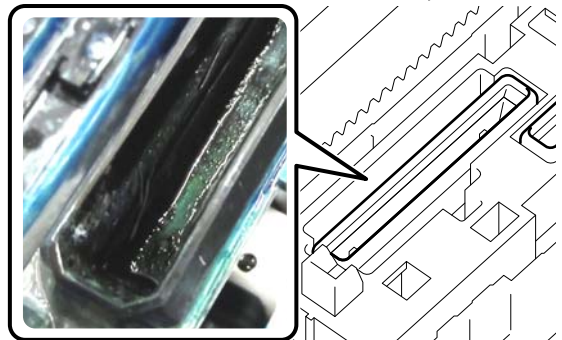
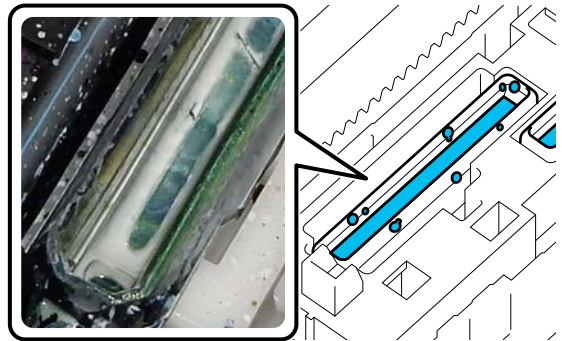


！重要

フチの汚れは、キャップの地色が見えるようになるまで丁寧に拭き取ってください。汚れが付着したままだと、キャップとプリントヘッドの間に隙間が生じて吸引力が低下し、ノズルの目詰まりが発生します。

- 10** キャップに付着したインク汚れや毛羽ゴミ、ホコリが取り除けたか確認します。

以下のように取り除けたら、次に進みます。



特にフチ周辺の汚れは吸引力低下の原因となります。汚れが残っているときはクリーニング棒にインククリーナーを再度染み込ませ、手順7、8を繰り返して汚れを拭き取ります。このとき、クリーニング棒がひどく汚れているときは新品に交換してください。

- 11** 右側のプリンターカバーを閉め、操作パネルの画面で【終了】を押します。

プラテンとプリントヘッドが通常の位置に戻り設定メニューが終了します。

清掃終了後はノズルの目詰まりチェックの実施をお勧めします。


「ノズルの目詰まりチェック」88ページ

使用済み消耗品の廃棄  「廃棄」97ページ

布を貼らないプラテンの清掃

布を貼らないプラテンが汚れたときは、以下の手順で汚れを拭き取ってください。

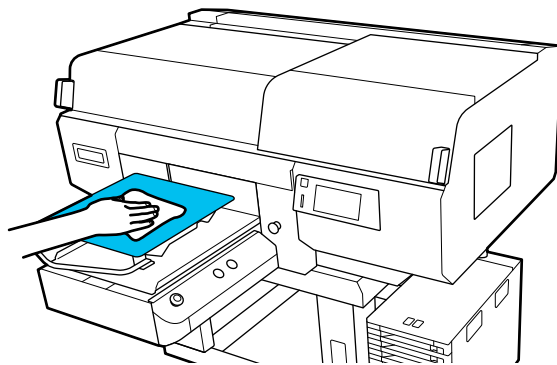
ポリエステルTシャツに印刷する場合は、生地 특성上プラテンがインクで汚れやすくなります。プラテンがインクで汚れたときは、インクが乾く前に速やかに汚れを拭き取ってください。

1 プラテンが手前に出ていることを確認します。
出ていないときは、【】ボタンを押して、プラテンを手前に移動させます。

2 本機の電源を切り、画面の表示が消えたのを確認します。

3 柔らかい布を使って、ホコリや汚れを注意深く払います。

汚れがひどいときは中性洗剤を少量入れた水、またはインククリーナーに柔らかい布を浸し、よく絞ってから拭いてください。その後、乾いた柔らかい布で水気を拭いてください。



消耗品の交換

インクパックのかくはんと交換

かくはんの方法

かくはんのタイミングと回数

！重要

本機のインクパックは、インク特性上、沈降（成分が液の底に沈んでたまること）しやすくなっています。インクが沈降すると、濃淡ムラやノズルの目詰まりの原因となります。

新品に交換するとき、およびインクユニットに装着後も定期的に取り外してインクパックをかくはんしてください。

• 交換時

振る回数はインクの色によって異なります。ML とクリーニングインクパックは振る必要はありません。

WH	25 秒間に 25 回程度
WH 以外の色	5 秒間に 5 回程度

• 毎日の印刷業務開始前（WH のみ）

WH は、他の色よりも沈降しやすい特性があります。毎日の印刷業務開始前にインクパックを取り出して以下の回数、よく振ってください。

5 秒間に 5 回程度

24 時間以上かくはんされない状態が続くと、以下のメッセージが表示されます。メッセージが表示されたら、速やかにトレイを取り出してかくはんしてください。

[インクのかくはん時期です。]

• 1 月に 1 度（WH を除く各色）

LED ランプが青色点滅しているトレイを取り出してかくはんしてください。印刷品質を保つために青色点滅した状態で使い続けしないでください。

5 秒間に 5 回程度

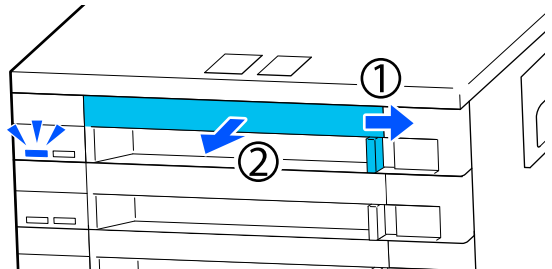
振り方

- 1 本機の電源が入っていることを確認してインクユニットからかくはん対象のトレイを引き出します。

LED ランプが青点滅しているのがかくはんが必要なインクパックです。

！重要

トレイを取り出すときは、トレイ底面に手を添えてください。片手で作業をすると、トレイを引き抜いたときに重さでトレイが落下し破損するおそれがあります。



参考

トレイを引き出した際は、インクパックのインク供給孔を確認してください。写真のようにインクが垂れたり、インクが底面にたまったりしているときは、クリーニング棒で拭き取ってください。

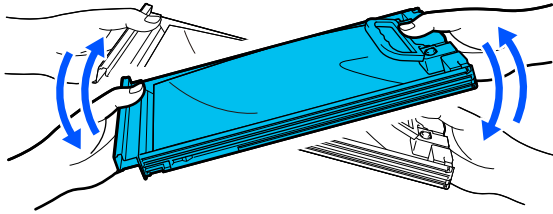


拭き取る際は、インク供給孔に触れないでください。



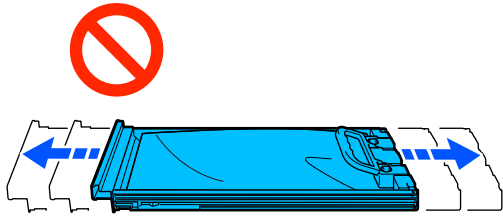
- 2** インクパックがトレイにセットされた状態のまま下図の通り、上下に約 **60 度**の角度で **5 秒間**に **5 回程度**、よく振ります。

WH は、交換時に限り 25 秒間に 25 回程度、よく振ります。



!重要

インクパックがセットされたトレイやインクパックを強く振ったり、振り回したりしないでください。インクが漏れるおそれがあります。



交換方法

1 色でもインク残量が限界値以下になると、印刷はできません。

!重要

WH インク使用時は、[インク量が限界値以下のためインクパック交換が必要です。]と表示されたら、速やかに新しいインクパックと交換してください。インクの残量警告が表示された状態のまま放置すると、プリントヘッド等が故障するおそれがあります。

印刷途中でインク残量が限界値以下になったときは、そのインクパックを交換すれば印刷は続行されます。インクの残量が少なくなったインクパックを使い続けると、印刷途中でインクパックの交換が必要になることがあります。印刷途中で交換するとインクの乾き具合により、色味が異なって見えることがあります。許容できないときは、事前に新品のインクパックと交換して印刷することをお勧めします。取り外したインクパックは、再び装着してインク残量が限界値以下になるまで使うことができます。

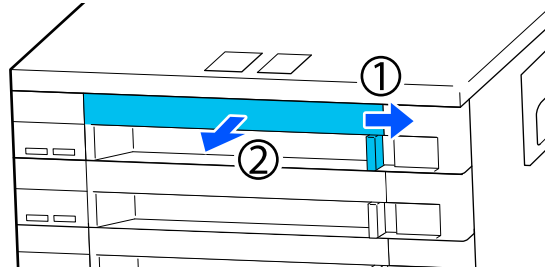
インクパックとクリーニングインクパックの交換は、以降の手順で行います。

!重要

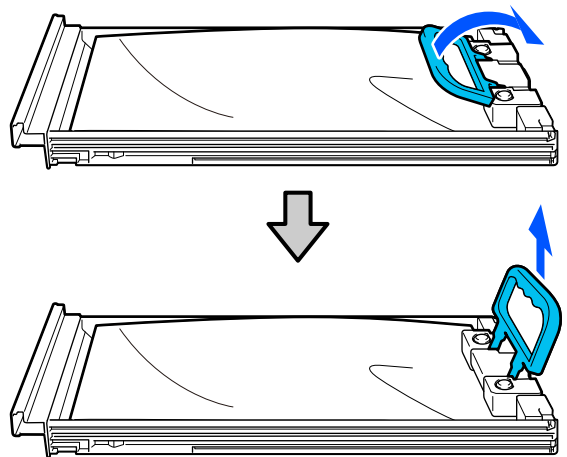
プリンター性能をフルに発揮するためにエプソン純正品のインクパックを使用することをお勧めします。純正品以外のものでご使用になりますと、プリンター本体や印刷品質に悪影響が出るなど、プリンター本来の性能を発揮できない場合があります。純正品以外の品質や信頼性について保証できません。非純正品の使用に起因して生じた本体の損傷、故障については、保証期間内であっても有償修理となります。

- 1** 本機の電源が入っていることを確認します。

- 2** インクユニットから交換するインクパックが入っているトレイを引き出します。



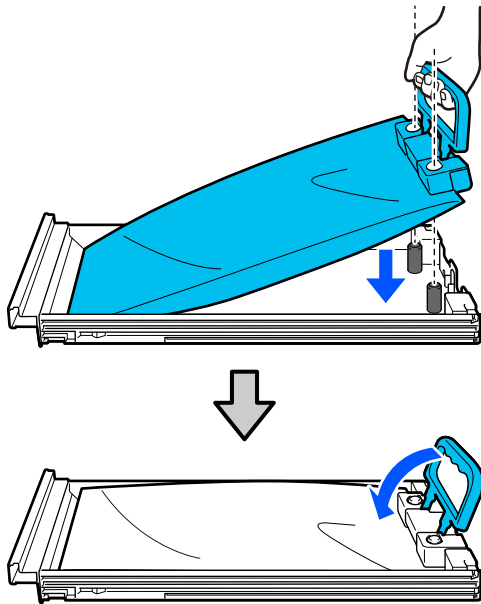
- 3** インクパックをトレイから取り外します。



!重要

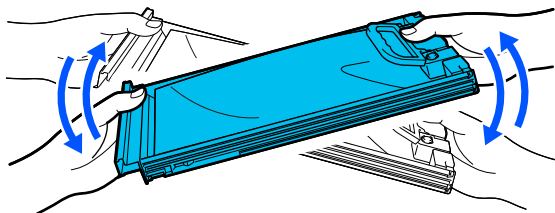
取り外したインクパックはインク供給孔部にインクが付いていることがありますので、周囲を汚さないようご注意ください。

- 4 新しいインクパックをトレイにセットしてハンドルを倒します。



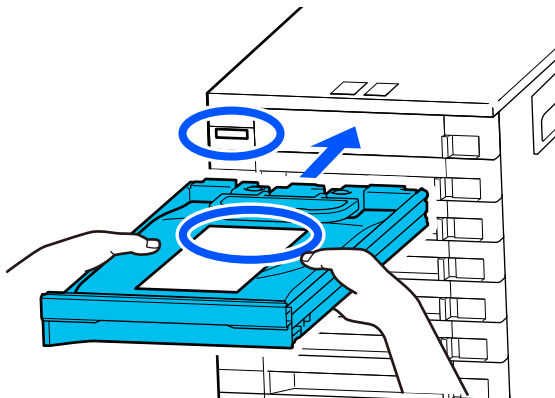
- 5 インクパックがトレイにセットされた状態のまま下図の通り、上下に約 60 度の角度で 5 秒間に 5 回程度、よく振ります。

WH は 25 秒間に 25 回程度、よく振ります。

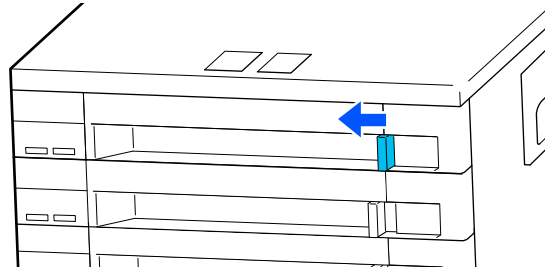


ML とクリーニングインクパックは振る必要はありません。

- 6 インクパックとインクユニットに貼付のラベルの色を合わせてトレイを奥まで押し込みます。



- 7 ロックスイッチを左に動かしてロックします。



別の色のインクパックも交換するときは、手順 2～手順 7 を行います。

！重要


全トレイにインクパックをセットしてインクユニットに装着してください。インクパックがセットされていないトレイやインクユニットに装着されていないトレイが 1 色でもあると印刷できません。

廃棄  「廃棄」 97 ページ

廃インク処理

準備と交換時期

【廃インクボトルの交換時期が近づいています。】と表示されたとき

直ちに新しい廃インクボトルを手元に用意してください。夜間稼働などのため、この段階で廃インクボトルを交換するときは、操作パネルの画面で  (メニュー) - [プリンターのお手入れ] - [メンテナンスパーツ交換] - [廃インクボトル] の順に押しして交換作業を行ってください。設定メニューから交換作業を行わないと、廃インクカウンターが正しく働かなくなります。

廃インクカウンター [「廃インクカウンターについて」 79 ページ](#)

！重要

印刷中や以下のメンテナンス作業中は、絶対に廃インクボトルを取り外さないでください。廃インクが漏れることがあります。

- プリントヘッドのクリーニング
- プリンターモードの切り替え
- 長期保管時の事前メンテナンス


【廃インクボトルの交換時期です。】と表示されたとき

直ちに廃インクボトルを新品と交換してください。

交換方法 [「廃インクボトルの交換」 79 ページ](#)

廃インクカウンターについて

本機は、廃インクカウンターで廃インクの量をカウントし、累計が警告量に達するとメッセージでお知らせします。【廃インクボトルの交換時期です。】のメッセージに従って新しい廃インクボトルに交換すると、カウンターは自動的にクリアされます。

このメッセージが表示される前に交換するときは、操作パネルの画面で  (メニュー) - [プリンターのお手入れ] - [メンテナンスパーツ交換] - [廃インクボトル] の順に押しして交換作業を行ってください。

プリンターのお手入れメニュー [「プリンターのお手入れメニュー」 108 ページ](#)

！重要

メッセージが表示される前に廃インクボトルを交換するときは、必ず設定メニューから交換作業を行って廃インクカウンターをクリアしてください。次回から、廃インクボトルの交換時期を正しくお知らせできなくなります。

廃インクボトルの交換

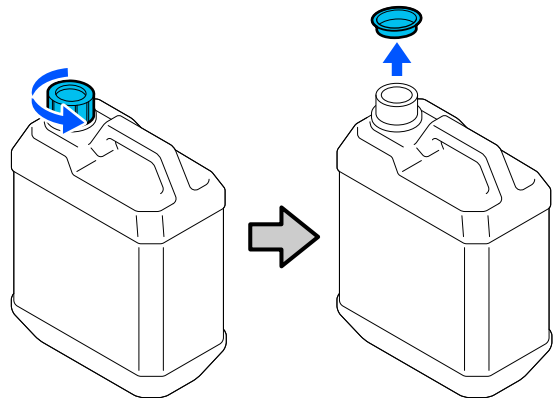
作業を行う前に、必ず以下をお読みください。

[「作業時のご注意」 67 ページ](#)

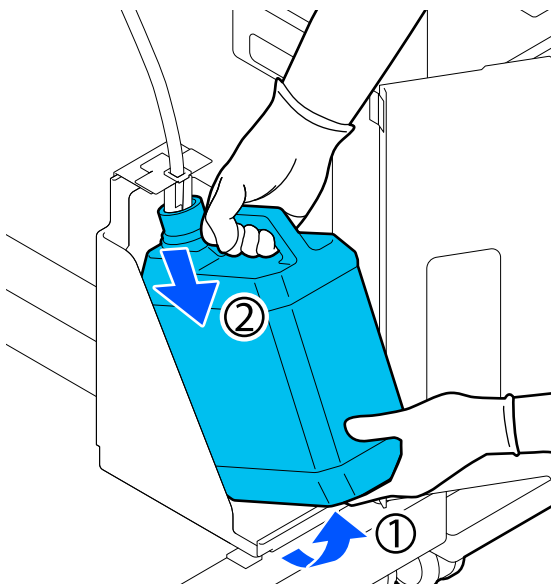
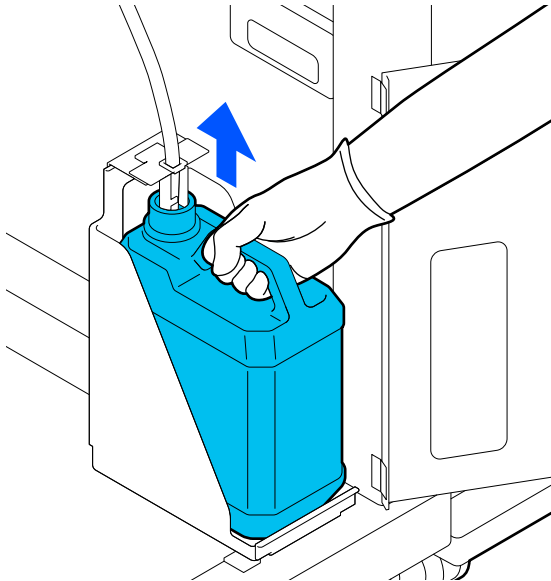
1 新品の廃インクボトルの外蓋と中蓋を外します。

！重要

廃インクボトルの蓋は、廃インクを廃棄するときに必要となります。捨てずに保管しておいてください。



- 2** 廃インクボトルを廃インクボトルホルダーから取り出します。



- 3** 新しい廃インクボトルの口を廃インクチューブに差し込んでから、廃インクボトルホルダーに設置します。

使用後の廃インクボトルはしっかり蓋をしてください。

- 4** 操作パネルの画面で **[OK]** を押します。
廃インクカウンターがクリアされます。

！重要


必ず、廃インクチューブがボトルの口に差し込まれていることを確認してください。廃インクチューブがボトルから外れていると廃インクが周囲にこぼれます。

廃インクは別の容器に移し替えずに廃インクボトルごと廃棄してください。

参考


廃インクを廃インクボトルから別の容器に移すときは、以下の点に留意してください。

- 移し替える側の容器は、PE 製をお使いください。
- 本製品に付属のそそぎ口を廃インクボトルの口に取り付けて廃インクを移してください。
- 慎重に注いでください。勢いよく注ぐと廃インクがこぼれたり飛び散ったりします。
- 廃インクを移し替えた容器は、しっかりと蓋を閉めて保管してください。

使用済み廃インクボトルと廃インクの廃棄  **「廃棄」**
97 ページ


ヘッドクリーニングセットの交換

準備と交換時期

【ヘッドクリーニングセットの交換時期が近づいています。】と表示されたとき/ヘッドクリーニングセットの残量表示に  が表示されているとき


直ちに新しいヘッドクリーニングセットを手元に用意してください。

！重要

ヘッドクリーニングセットの残量表示に  が表示された状態で本機を放置する際のご注意

自動メンテナンスの途中でヘッドクリーニングセットの交換時期に達すると、自動メンテナンスを完了できずプリントヘッドの目詰まりが発生するおそれがあります。ヘッドクリーニングセットをすぐに新品と交換できない状態が続くときは、本機の電源を切り、画面の表示が消えたことを確認してから放置してください。

次回電源を入れたときは、印刷可能状態になるまで通常より時間がかかることがあります。7日以上電源を入れないときは7日に一度は電源を入れてください。

この段階で交換するときは、操作パネルの画面で  (メニュー) - [プリンターのお手入れ] - [メンテナンスパーツ交換] - [ヘッドクリーニングセット] の順に押し、交換作業を行ってください。設定メニューから交換作業を行わないと、ヘッドクリーニングセットカウンターが正しく働かなくなります。

！重要

ヘッドクリーニングセットカウンターについて

本機は、ヘッドクリーニングセットカウンターで使用量をカウントし、累計が警告量に達するとメッセージでお知らせします。

【ヘッドクリーニングセットの交換時期です。】のメッセージに従って新しいヘッドクリーニングセットと交換すると、カウンターは自動的にクリアされます。

このメッセージが表示される前に交換するときは、必ず設定メニューから交換作業を行ってください。

【ヘッドクリーニングセットの交換時期です。】と表示されたとき

次項をご覧になり、ヘッドクリーニングセットに付属のパーツを一括して交換してください。交換しないと印刷できません。

ヘッドクリーニングセットには、以下のパーツが入っています。

- ワイパーユニット (1 個)
- フラッシング用吸収材 (2 個)

交換方法


交換用のヘッドクリーニングセットは、必ず本機専用のものをお選びください。

 [「消耗品とオプション」126 ページ](#)

作業を行う前に、必ず以下をお読みください。

 [「作業時のご注意」67 ページ](#)

1 【ヘッドクリーニングセットの交換時期です。】の画面で **[OK]** を押します。

メッセージが表示されていないときは、 (メニュー) - [プリンターのお手入れ] - [メンテナンスパーツ交換] - [ヘッドクリーニングセット] の順に押します。

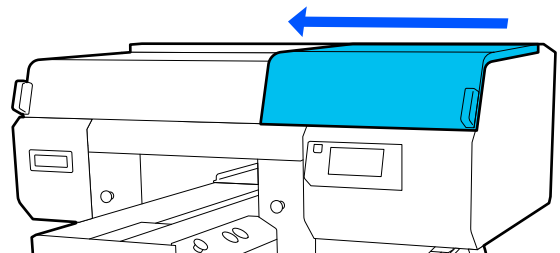
2 メッセージの内容を確認し、**[開始]** を押します。

プラテンとプリントヘッドがメンテナンス位置まで移動します。

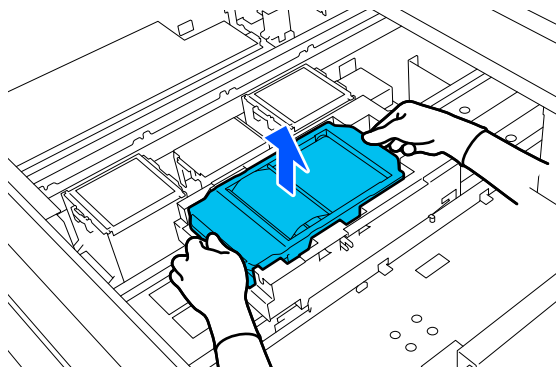
参考

プリントヘッド移動後、10分経過するとブザーが鳴ります (メーカー設定値)。画面のメッセージを確認し、**[OK]** を押して作業を継続してください。更に10分経過すると、再びブザーが鳴ります。

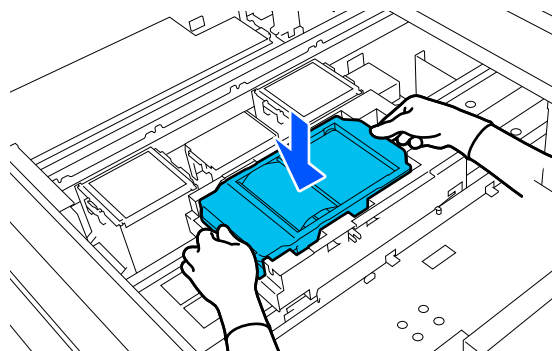
3 右側のプリンターカバーを開けます。



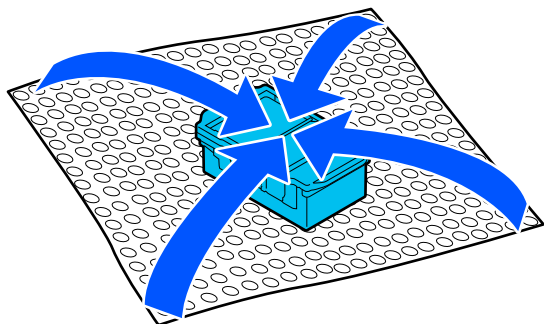
- 4 両側のつまみを持ち、まっすぐ上に持ち上げてワイパーユニットを取り外します。



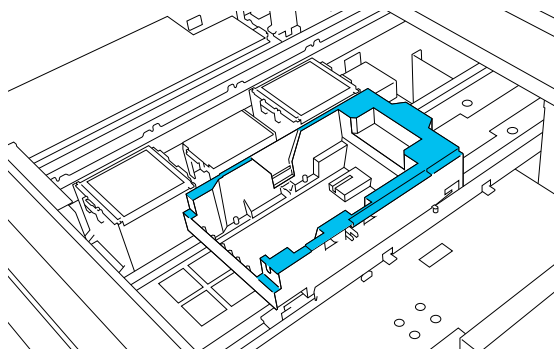
- 7 新品のワイパーユニットを取り付けます。



- 5 使用済みのワイパーユニットは、インクが周りに付かないように、新品のワイパーユニットを包んでいた緩衝材で包みます。



- 6 図の部分にインクや毛羽ゴミ、ホコリをが付着していないか確認します。



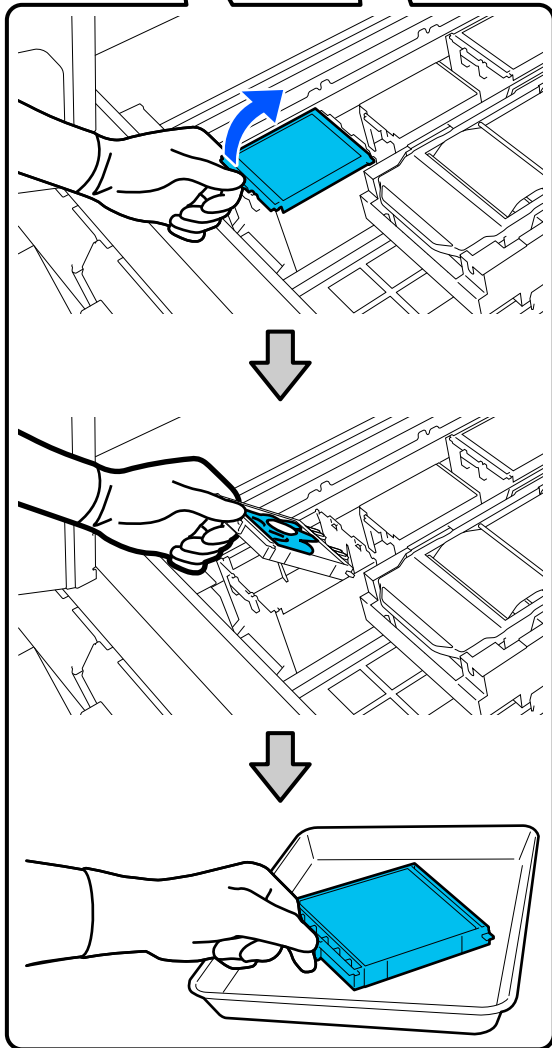
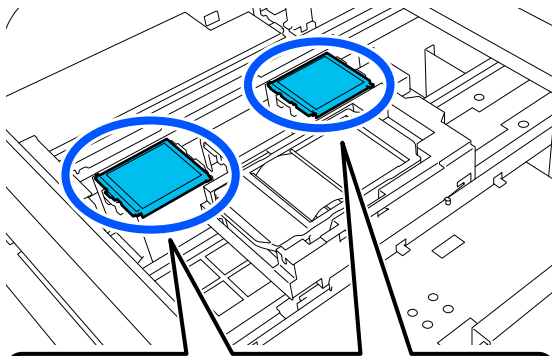
インクや毛羽ゴミ、ホコリが付着しているときは水に浸して固く絞った柔らかい布で拭き取り、から拭きしてください。

- 8** フラッシング用吸収材のつまみを持ち、引き上げて取り外します。

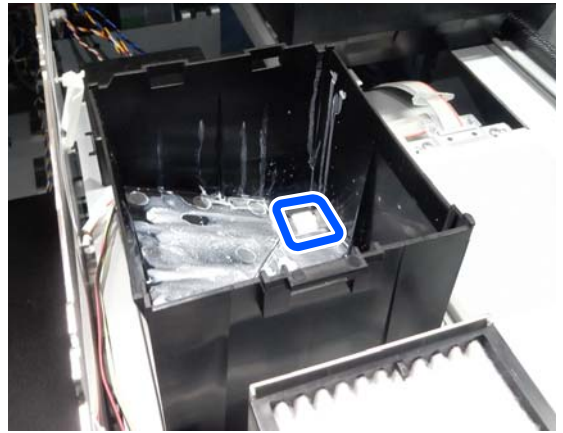
！重要

勢いよく持ち上げると、廃インクが飛び散ることがありますので、注意して作業してください。

フラッシング用吸収材から廃インクが垂れなくなるまで斜めにして待ってから取り外し、金属トレイに載せてください。



- 9** 廃液口（図の囲み部分）で廃インクが乾燥して膜状になったり固まったりしていないか確認します。



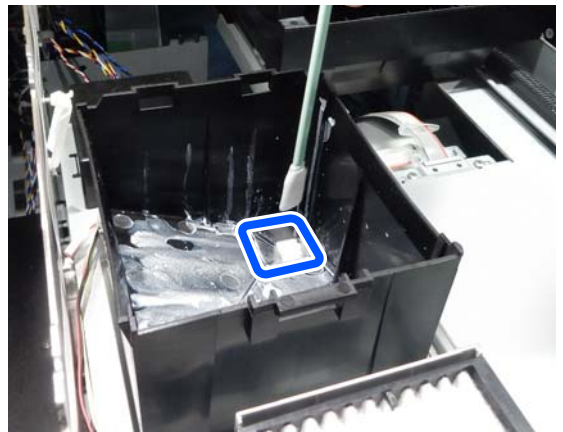
廃インクが固まっているとき

次手順に進み、固まったインクを取り除いてください。そのまま使用し続けると、廃液があふれることがあります。

廃インクが固まっていないとき

手順 12 に進みます。

- 10** 新品の太いクリーニング棒で、廃液口と周辺の固まったインクを取り除きます。

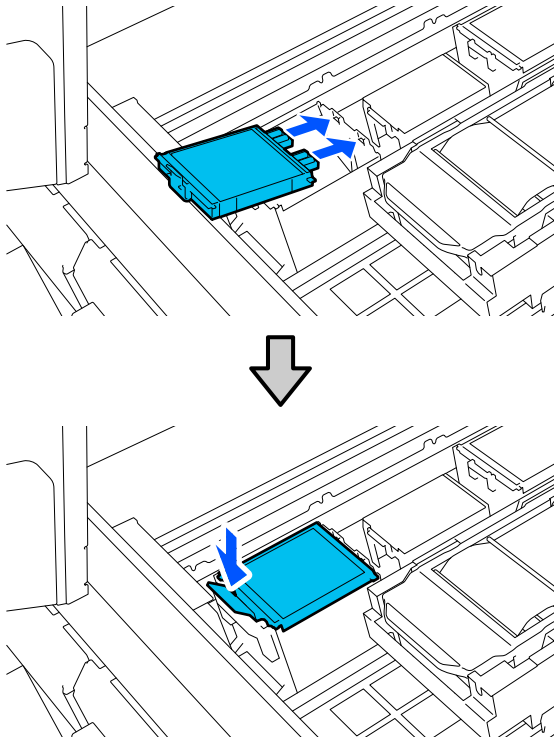


- 11** メンテナンスキットに付属のカップに純水を 100ml 程度注ぎます。

- 12** 廃液口に純水を注ぎ、スムーズに流れるか確認します。

水が流れにくいときは、手順 9 に戻り廃液口をつつくようにしてインクを取り除いてください。

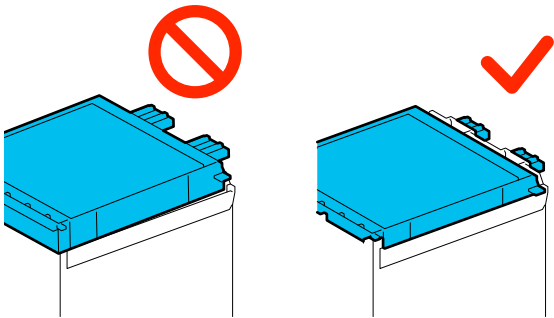
- 13** 新品のフラッシング用吸収材の2本のツメを穴に差し込み、つまみの辺りをパチッと音がするまで押し込みます。



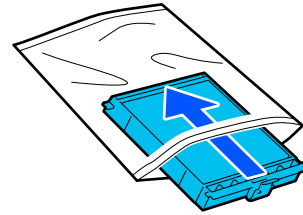
- 14** 両方のフラッシング用吸収材が正しく取り付けられているか確認します。

!重要

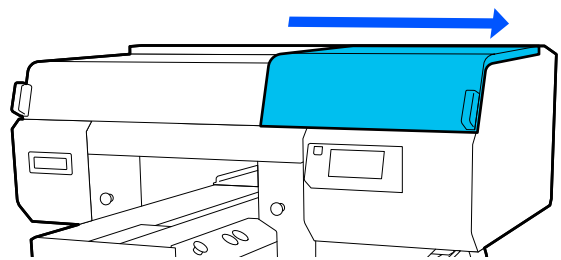
ツメが乗り上げた状態で使用すると、プリントヘッドが破損することがあります。



- 15** 取り外したフラッシング用吸収材を新品のフラッシング用吸収材が入っていた袋に入れます。



- 16** 右側のプリンターカバーを閉めます。



- 17** 画面のメッセージを確認し、[はい]を押します。

ヘッドクリーニングセットカウンターがクリアされます。

使用済み消耗品の廃棄 [「廃棄」97ページ](#)

キャップユニットセットの交換

乾燥防止キャップの交換時期になると、本機の操作パネルに「キャップユニットセットの交換時期です。」と表示されます。次項をご覧になり、奥と手前両方の乾燥防止キャップを一括して新品と交換してください。

交換用のキャップユニットセットは、必ず本機専用のものをお選びください。

[「消耗品とオプション」126ページ](#)


作業を行う前に、必ず以下をお読みください。

[「作業時のご注意」67ページ](#)

交換方法

- 1** 新品の乾燥防止キャップを袋から取り出します。

- 2 [キャップユニットセットの交換時期です。]の画面で[部品を交換する]を押します。

メッセージが表示されていないときは、 (メニュー) - [プリンターのお手入れ] - [メンテナンスパーツ交換] - [キャップユニットセット]の順に押します。

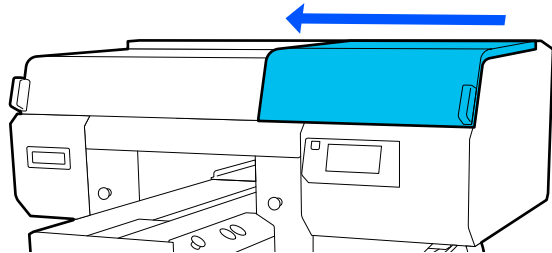
- 3 メッセージの内容を確認し、[開始]を押します。

プラテンとプリントヘッドがメンテナンス位置まで移動します。

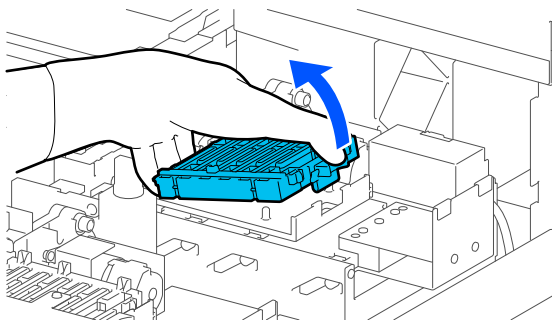
参考

プリントヘッド移動後、10分経過するとブザーが鳴ります(メーカー設定値)。画面のメッセージを確認し、[OK]を押して作業を継続してください。更に10分経過すると、再びブザーが鳴ります。

- 4 右側のプリンターカバーを開けます。



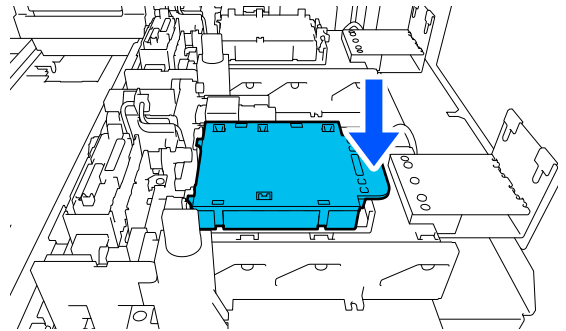
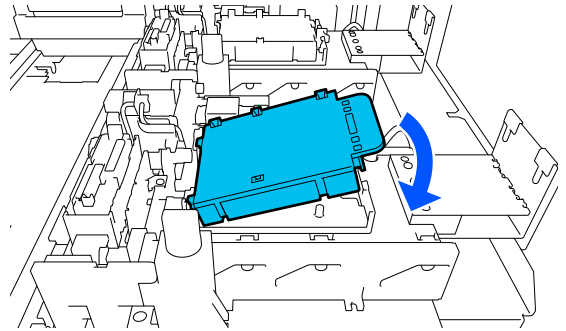
- 5 つまみの凹部を押しながら乾燥防止キャップを取り外します。



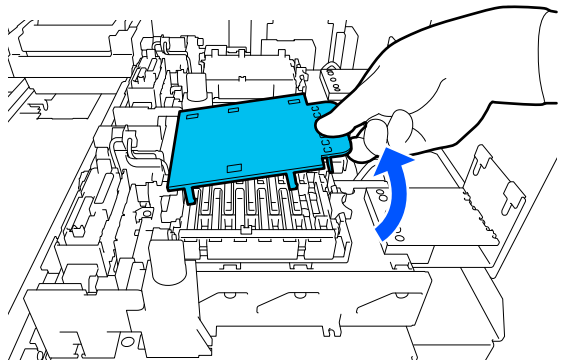
奥側のキャップ(ホワイト用)と手前側のキャップ(カラー用)、両方を取り外します。

- 6 取り外した乾燥防止キャップを新品が入っていた袋に入れます。

- 7 新品の乾燥防止キャップを取り付け、カチッと音がするまで押し込みます。



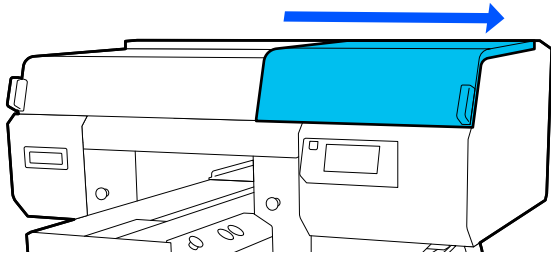
- 8 カバーを取り外します。



!重要

カバーが付いたままの状態で使用すると、プリントヘッドが破損することがあります。

- 9 右側のプリンターカバーを閉めます。



- 10 画面のメッセージを確認し、[終了]を押します。

プラテンとプリントヘッドが通常の位置に戻り設定メニューが終了します。

使用済み消耗品の廃棄 [「廃棄」 97 ページ](#)

エアフィルターの交換

エアフィルターの交換時期になると、本機の操作パネルに[エアフィルターの交換時期です。]と表示されます。次項をご覧くださいになり、3個全て同時に新品と交換してください。


交換用のエアフィルターは、必ず本機専用のものをお選びください。

[「消耗品とオプション」 126 ページ](#)

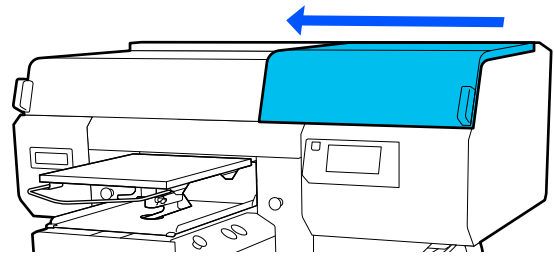
作業を行う前に、必ず以下をお読みください。

[「作業時のご注意」 67 ページ](#)

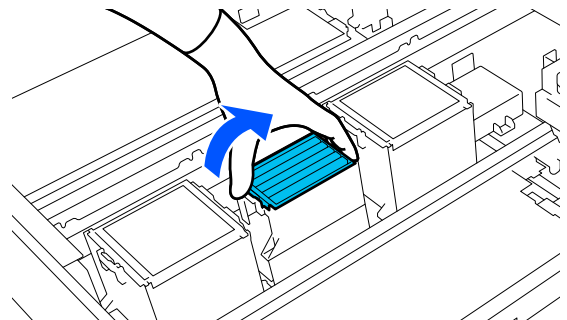
- 1 [エアフィルターの交換時期です。]の画面で[部品を交換する]を押します。

メッセージが表示されていないときは、 (メニュー) - [プリンターのお手入れ] - [メンテナンスパーツ交換] - [エアフィルター]の順に押します。

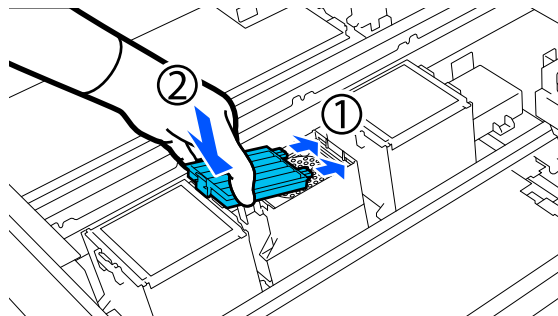
- 2 右側のプリンターカバーを開けます。



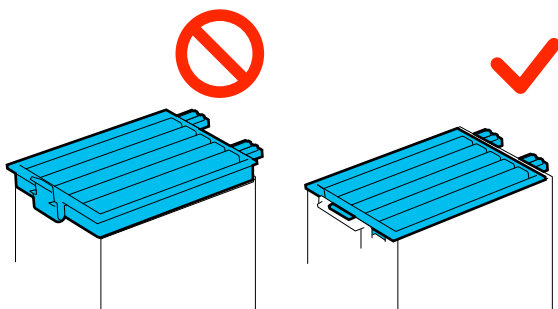
- 3 エアフィルターのつまみ部分を持ち上げながら取り外します。



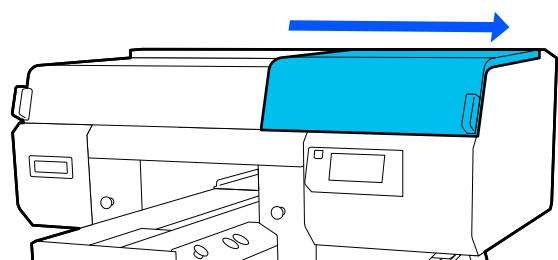
- 4** 新品のエアフィルターを取り付けます。
2本のツメを確実に穴に差し込み、つまみの辺りをパチッと音がするまで押し込みます。



- 5** エアフィルターが正しく取り付けられているか確認します。



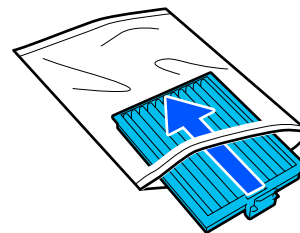
- 6** 右側のプリンターカバーを閉めます。



- 7** 左側のプリンターカバーを開け、右側と同様の手順で残り2つのエアフィルターを交換します。
手順3~5を行います。

- 8** 左側のプリンターカバーを閉め、操作パネルの画面で【終了】を押します。

- 9** 使用済みのエアフィルターを新品のエアフィルターが入っていた袋に入れます。



使用済み消耗品の廃棄  [「廃棄」97ページ](#)

その他のメンテナンス

ノズルの目詰まりチェック

良好な印刷品質を維持するために、ノズルの目詰まりをチェックしてから印刷することをお勧めします。

目詰まりチェックの種類

ノズルの目詰まりをチェックするには、以下の2通りの方法があります。

おまかせクリーニングを実施する

本機が自動でノズルの目詰まり状態を確認し、最適な強度のクリーニングを実施します。ノズルが目詰まりしていないときはクリーニングを行いません。詳細は、以下をご覧ください。

☞ 「プリントヘッドのクリーニング」 90 ページ

任意にチェックパターンを印刷する

印刷の前に目詰まりがないか確認したいときや印刷結果にスジやムラが見られるときなど必要に応じてチェックパターンを印刷します。印刷されたチェックパターンを目視で確認してノズルの目詰まりがあるか確認します。チェックパターンの印刷方法は、以降をご覧ください。

使用可能なメディア

チェックパターンの印刷には、以下のメディアが必要です。お使いの[プリンターモード]により使用するメディアの種類が異なります。

サイズ

A4、またはレターサイズ

メディアの種類

ホワイトインクモード：OHP シートなど透明なメディア、または色の付いた紙*

カラーインクモード：普通紙*

* プラテンポロ/ジッパー用を装着しているときは、こしが強い紙を使用してください。こしが強い紙がないときは本機に付属のプラテンに交換してノズルチェックパターンを印刷してください。

メディアは、プラテンに貼り付けて印刷します。メディアのセット方法は次項をご覧ください。

メディアのセット方法

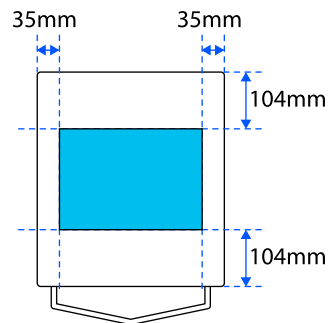
ハンガープラテン S サイズ、XS サイズプラテン、プラテン袖用はチェックパターンの印刷に使用できません。本機に付属のプラテンに交換してください。

☞ 「プラテンの交換」 45 ページ

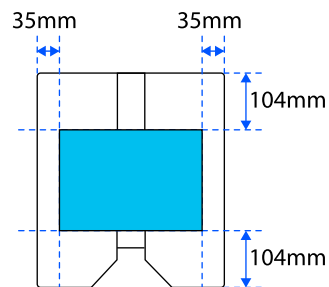
- 1 プラテンが手前に出ていることを確認します。
出ていないときは、【▼】ボタンを押して、プラテンを手前に移動させます。

- 2 メディアを図の位置にセットします。(A4 サイズの場合)

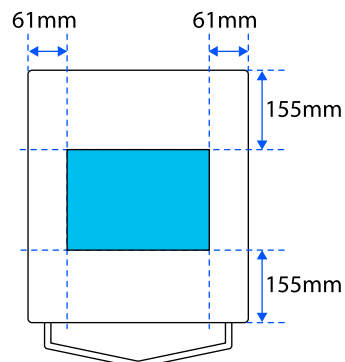
ハンガープラテン M サイズ



プラテンポロ/ジッパー用

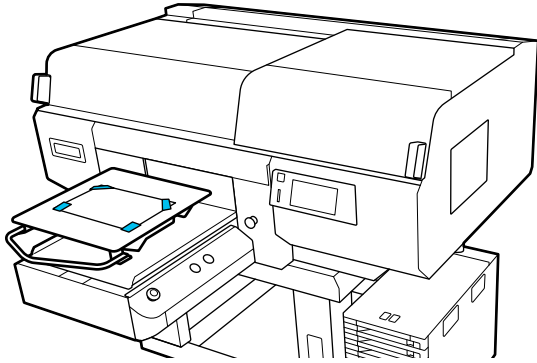


ハンガープラテン L サイズ



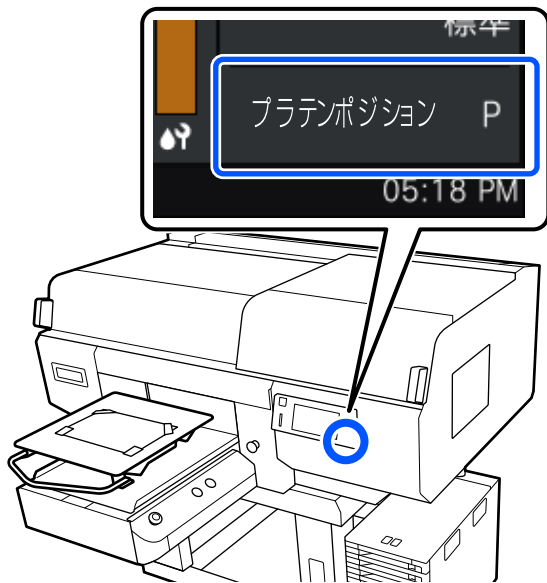
メディアは必ず図の位置にセットしてください。異なる位置にセットするとプラテンがインクで汚れるおそれがあります。

- 3** メディアが浮かないように、セロハンテープなどで貼り付けます。



- 4** 本機の画面でプラテンポジションが以下になっていることを確認します。

- ハンガープラテンL/M サイズ装着時：P
- プラテンポロ/ジッパー用装着時：3




【メディア設定】で【プラテンギャップ】を【手動】に設定しているときは、【自動】に変更してください。

🔗 [「メディア設定メニュー」106 ページ](#)

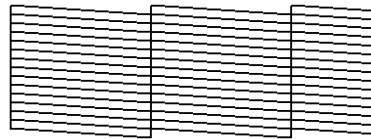
プラテンポジションの切り替え方は以下をご覧ください。

🔗 [「プラテンポジションの切り替え方」46 ページ](#)

ノズルチェックパターンの印刷方法

- 1**  (メニュー) - [プリンターのお手入れ] - [プリントヘッドのノズルチェック] の順に押しします。
- 2** チェックパターンの種類を選択します。
[全て] を選択すると、全色のチェックパターンが印刷されます。
- 3** プラテンにメディアがセットされていることを確認し、[開始] を押しします。
ノズルチェックパターンが印刷されます。
- 4** 印刷されたノズルチェックパターンを確認します。

目詰まりしていないときの例



チェックパターンが欠けていません。

目詰まりしているときの例




ノズルチェックパターンが欠けているときは、プリントヘッドのクリーニングをしてください。

🔗 [「プリントヘッドのクリーニング」90 ページ](#)

プリントヘッドのクリーニング

プリントヘッドのクリーニングには、[おまかせクリーニング]、および[クリーニング(弱)] [クリーニング(中)] [クリーニング(強)] の3段階のクリーニングがあります。

最初は、[おまかせクリーニング] を実施してください。実施後に目詰まりが解消されないときは[クリーニング(弱)] [クリーニング(中)] [クリーニング(強)] の順に、目詰まりが解消されるまで実施してください。

1 電源が入っていることを確認し、 (メニュー) - [プリンターのお手入れ] - [プリントヘッドのクリーニング] の順に押します。

2 クリーニング方法を選択します。

[おまかせクリーニング] を選択するとき
手順4に進みます。

クリーニングのレベルを選択するとき

両方のプリントヘッドの全ての列をクリーニングするときは、[全ての列] を選択し、手順4に進みます。

ノズルチェックパターンを確認してクリーニングする列を指定するときは、次手順に進みます。

3 ノズルチェックパターンを確認し、クリーニングする列を選択して[OK] を押します。

ノズルチェックパターンの下に印字されている文字列は、インク色とノズル列の組み合わせを示しています。

ノズルチェックパターンが欠けている列を確認し、ホワイト、カラーそれぞれのプリントヘッドでクリーニングする列を選択してください。

下図のような場合は、[C1] を選択します。



4 メッセージの内容を確認し、[開始] を押します。

クリーニングが開始されます。クリーニングが終了したら確認画面で[はい] を選択し、ノズルチェックパターンを印刷して目詰まりが解消されたか確認することをお勧めします。

目詰まりが解消されたとき

通常の作業を再開してください。


目詰まりが解消されないとき

手順1に戻ってクリーニング(弱)を実施します。クリーニング(弱)を実施以降はクリーニングのレベルを一つ上げて実施します。

数回プリントヘッドのクリーニングを行ってもノズルの目詰まりが解消されないとき

板金のフチが汚れているおそれがあります。

以下を実施してください。


 [「プリントヘッド周辺と板金のフチの清掃」70ページ](#)

【プリンターモード】の切り替え

変更後のカラーモードに応じて、以下のインクパックを用意してください。他のインクパックもインクの残量が少ないときは、新品を用意してください。

カラーインクモード → ホワイトインクモード
WH インクパック 2本

ホワイトインクモード → カラーインクモード
クリーニングインクパック 2本

- 1 電源が入っていることを確認し、 (メニュー)-
【プリンター設定】 - 【プリンターモード】 の順
に押します。
- 2 切り替え対象のモードを選択します。
- 3 画面のメッセージを確認し、【開始】を押しま
す。
- 4 切り替え対象のモードに応じてホワイトのイン
クパックまたはクリーニングインクパックを入
れ替えます。

[☞ 「インクパックのかくはんと交換」 76 ページ](#)

全てのロックスイッチを閉めると切り替え処理が
始まります。終了すると、操作パネルの画面が処理
中の画面から設定画面に変わります。

参考

長期間カラーインクモードで使用してホワイトインク
モードに切り替えたときは、以下の点を確認してくだ
さい。

- フラッシング用吸収材の表面で廃インクが固まっ
ていることがあります。以下をご覧になり、フラッシ
ング用吸収材表面の廃インクの状態を確認し、必要
に応じて新品と交換してください。

[☞ 「フラッシング用吸収材の確認方法」 94 ページ](#)

- ホワイトインクの濃度が薄くなるすることがありま
す。濃度が薄いときは、以下をご覧ください。

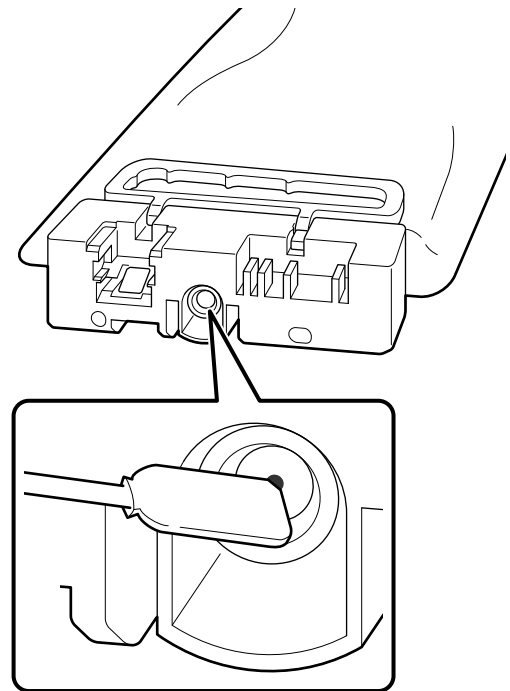
[☞ 「白さが足りない/白がムラになる」 121 ページ](#)

【ホワイトインクモード】 → 【カラーインクモー
ド】 に切り替えたときは、使用を再開するまでの間
にホワイトインクが固化しないように以降の手順
も行ってください。

ホワイトインク固化の予防

- 1 取り外したインクパックのインク供給孔部を清
掃してから保管します。

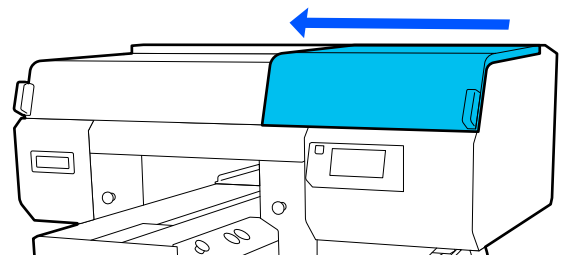
付属のメンテナンスキットの太いクリーニング棒
の角をインク供給孔の穴の部分に軽く当ててイン
クを吸着させます。インクを拭き取る必要はあり
ません。クリーニング棒は、強く押し当てたり動か
したりしないでください。



取り外した使用途中のインクパックは、以下の注意
点を守って保管してください。

[☞ 「インクパック/クリーニングインクパック取り
扱い上のご注意」 21 ページ](#)

- 2 本機の電源が切れていることを確認します。
- 3 右側のプリンターカバーを開けます。

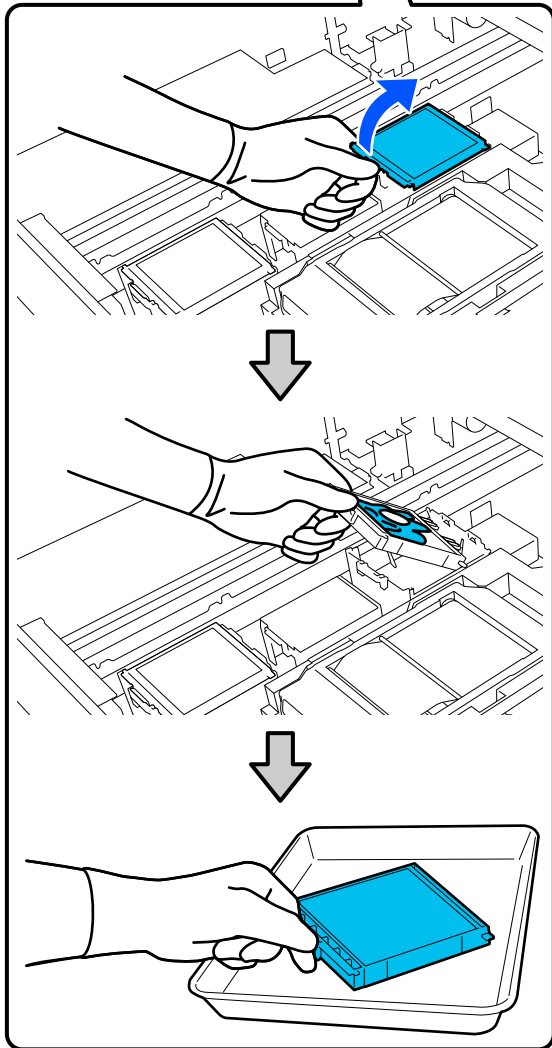
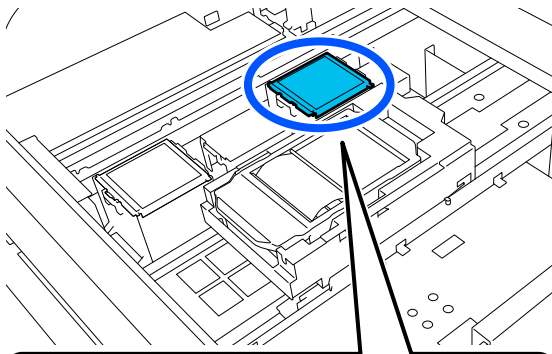


- 4 奥側（ホワイト用）のフラッシング用吸収材のつまみを持ち、引き上げて取り外します。

！重要

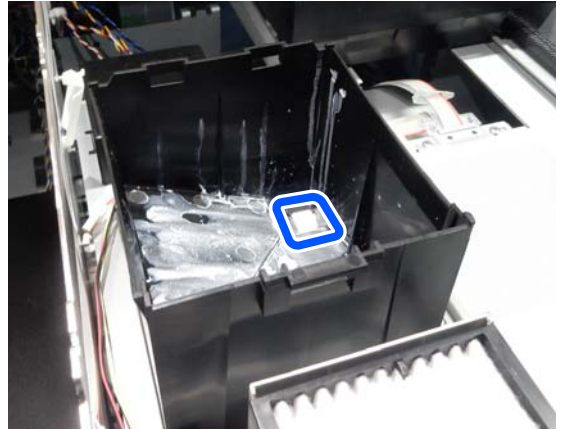
勢いよく持ち上げると、廃インクが飛び散ることがありますので、注意して作業してください。

フラッシング用吸収材から廃インクが垂れなくなるまで斜めにして待ってから取り外し、金属トレイに載せてください。

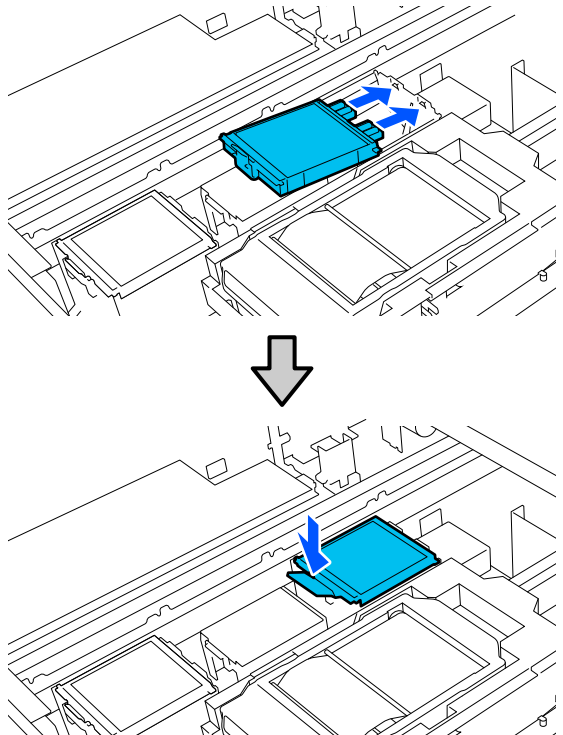


- 5 メンテナンスキットに付属のカップに純水を100ml程度注ぎます。

- 6 廃液口で廃インクが固まらないよう、純水を流します。



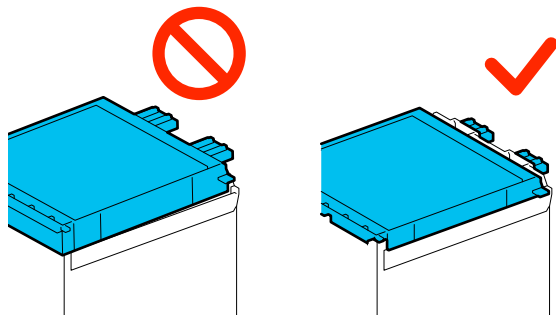
- 7 フラッシング用吸収材の2本のツメを穴に差し込み、つまみの辺りをパチッと音がするまで押し込みます。



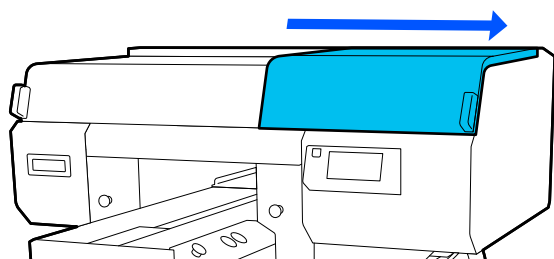
- 8 フラッシング用吸収材が正しく取り付けられているか確認します。

!重要

ツメが乗り上げた状態で使用すると、プリントヘッドが破損することがあります。



- 9 右側のプリンターカバーを開めます。



長期間使用しないときの事前メンテナンス

本機を長期間使用しない（電源を切る）ときは、必ず事前メンテナンスを実施してください。

!重要

事前メンテナンスをせずに放置すると、プリントヘッドのノズルの目詰まりが解消できなくなります。事前メンテナンスを行わずに長期間使用しないときは、7日に1度は電源を入れてください。

事前メンテナンスの実施タイミング

事前メンテナンスの内容は、使用しない期間により以下のように異なります。

2週間以上1カ月未満

〔ホワイトインクモード〕で使用時には、〔カラーインクモード〕に変更してください。

☞ 「〔プリンターモード〕の切り替え」91ページ

1カ月以上

以降をご覧ください、〔長期保管〕を実施してください。


〔長期保管〕実施時には、クリーニングインクパック6本と新品の廃インクボトルをご用意ください。

☞ 「消耗品とオプション」126ページ

事前メンテナンスの方法

!重要

インクやクリーニング液の残量が足りないと機能を実行できないことがあります。残量が残り少ないときは、念のためお手元に新品のインクパック/クリーニングインクパックをご用意ください。

- 1 電源が入っていることを確認し、 (メニュー) - [プリンターのお手入れ] - [長期保管] の順に押します。

- 2 画面のメッセージを確認し、[開始] を押します。

- 3 廃インクボトルに廃インクが入っているときは、新品と交換します。

☞ 「廃インク処理」79ページ

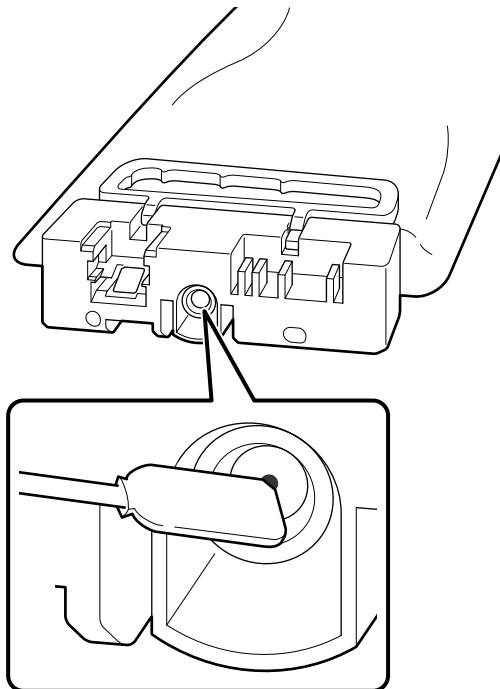
- 4** インクパックの交換手順を参照して、カラーインクおよびホワイトインクからクリーニング液に切り替えます。

☞ 「インクパックのかくはんと交換」 76 ページ

- 5** 取り外したインクパックのインク供給孔部に付着しているインクを清掃してから保管します。

付属のメンテナンスキットの太いクリーニング棒の角をインク供給孔の穴の部分に軽く当ててインクを吸着させます。インクを拭き取る必要はありません。

混色を防ぐために各色ごとに新しいクリーニング棒を使用してください。クリーニング棒は、強く押し当てたり動かしたりしないでください。



- 6** 切り替え終了のメッセージが表示されたら、電源を切ってください。

本機および取り外した使用途中のインクパックは、以下の注意点を守って保管してください。

☞ 「使用しないときのご注意」 20 ページ

☞ 「インクパック/クリーニングインクパック取り扱い上のご注意」 21 ページ

使用を再開するとき

再開手順は、使用しなかった期間により以下のように異なります。

2 週間以上 1 カ月未満

以下をご覧になり、使用を再開してください。

☞ 「使用の再開方法」 97 ページ

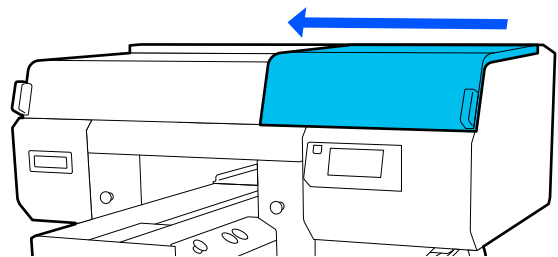
1 カ月以上

次項をご覧になり、電源を入れる前にフラッシング用吸収材表面の廃インクの状態を確認してください。廃インクが堆積して固まった状態で使い続けると、[プリントヘッドのクリーニング] を実施してもノズルの目詰まりが解消されないことがあります。

フラッシング用吸収材の確認方法

- 1** 本機の電源が切れていることを確認します。

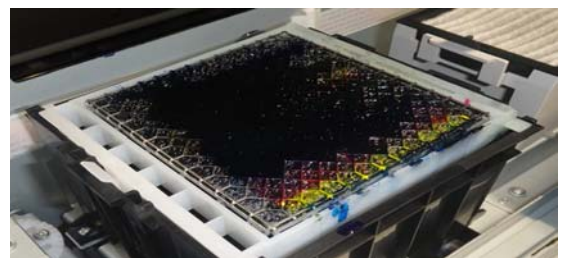
- 2** 右側のプリンターカバーを開けます。



- 3** 奥と手前のフラッシング用吸収材の表面を確認します。

廃インクが固まっているとき

図のように網目がはっきり見えないときは、手順 4 に進み新品と交換してください。



交換用のフラッシングパッドセットは、必ず本機専用のもをお選びください。

☞ 「消耗品とオプション」 126 ページ

作業を行う前に、必ず以下をお読みください。

👉 「作業時のご注意」 32 ページ

廃インクが固まっていないとき

次項へ進み、本機の使用を再開してください。

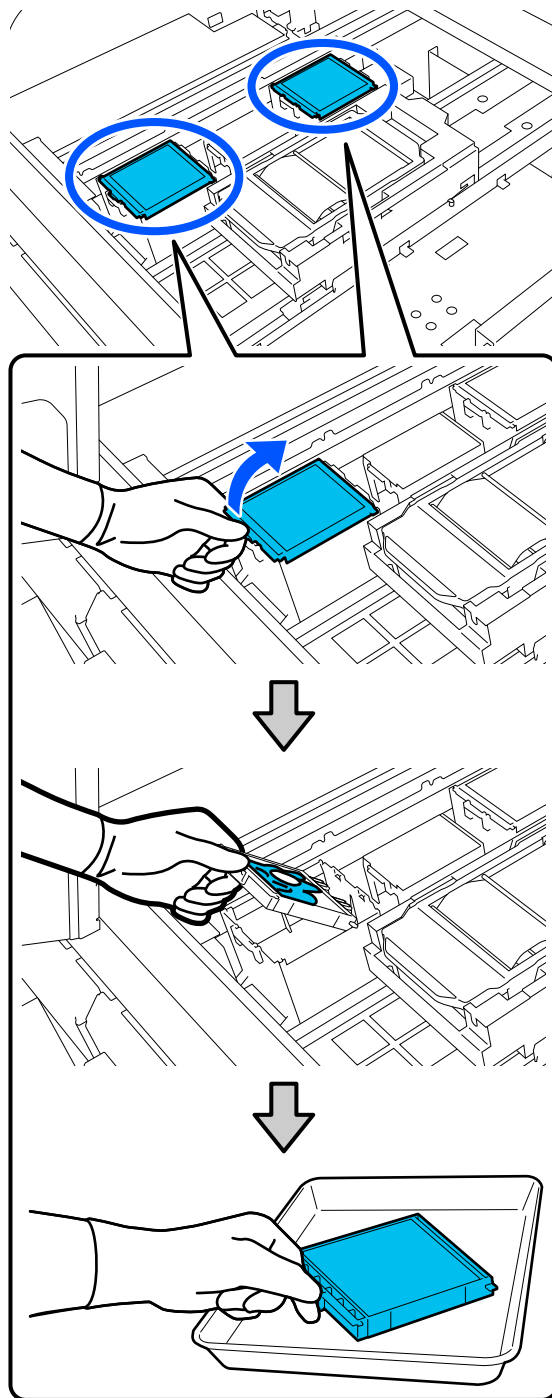
👉 「使用の再開方法」 97 ページ

- 4** フラッシング用吸収材のつまみを持ち、引き上げて取り外します。

！重要

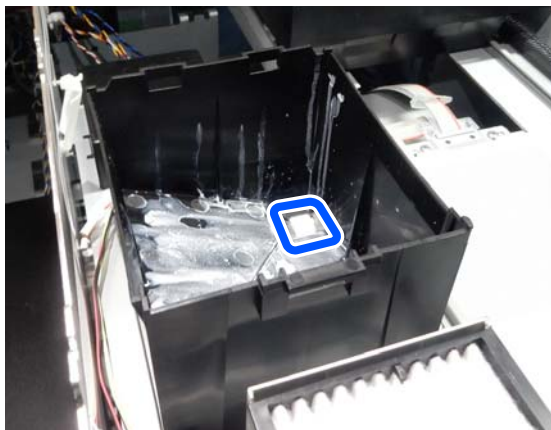
勢いよく持ち上げると、廃インクが飛び散ることがありますので、注意して作業してください。

フラッシング用吸収材から廃インクが垂れなくなるまで斜めにして待ってから取り外し、金属トレイに載せてください。



- 5** 廃液口（図の囲み部分）で廃インクが固まっていないか確認します。

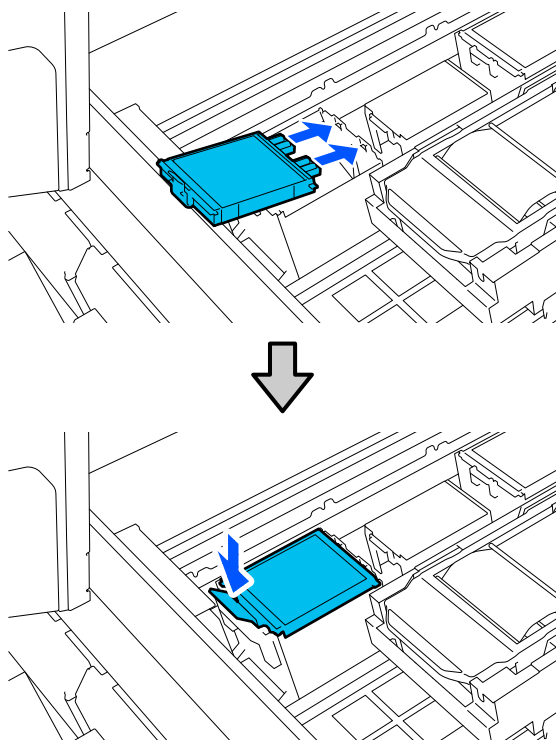
廃液口周辺で廃インクが乾燥して膜状になったり固まっていないか確認します。



廃インクが固まっているときは、ヘッドクリーニングセットの交換手順 9～11 をご覧になり廃インクを取り除いてください。

☞ 「交換方法」 81 ページ

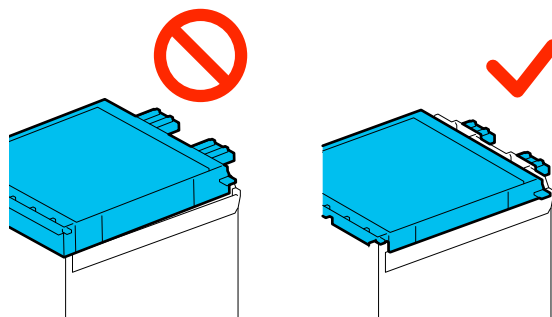
- 6** 新品のフラッシング用吸収材の 2 本のツメを穴に差し込み、つまみの辺りをパチッと音がするまで押し込みます。



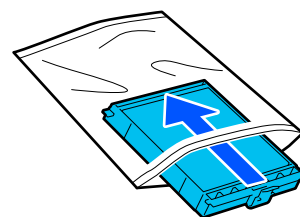
- 7** 両方のフラッシング用吸収材が正しく取り付けられているか確認します。

！重要

ツメが乗り上げた状態で使用すると、プリントヘッドが破損することがあります。

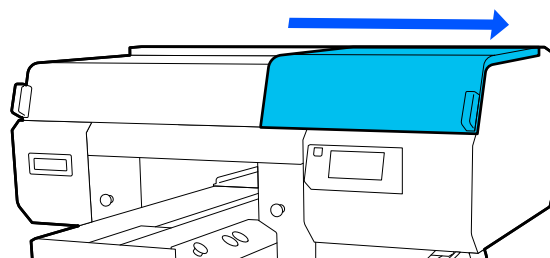


- 8** 取り外したフラッシング用吸収材を新品のフラッシング用吸収材が入っていた袋に入れます。



使用済み消耗品の廃棄 ☞ 「廃棄」 97 ページ

- 9** 右側のプリンターカバーを閉めます。



次項へ進み、本機の使用を再開してください。

☞ 「使用の再開方法」 97 ページ

使用の再開方法

！重要

使用を再開するときは、本機にインクを充填します。取り外したインクパックを使用して充填するときは、念のためお手元に新品のインクパックをご用意ください。

電源を入れて操作パネルの画面の指示に従い、廃インクボトルの交換とインクパックの装着をしてください。

🔗 [「廃インクボトルの交換」79 ページ](#)

🔗 [「インクパックのかくはんと交換」76 ページ](#)

参考

ホワイトインクモード選択時は、使用再開後にホワイトインクの濃度が薄くなる場合があります。濃度が薄いときは、以下をご覧ください。

🔗 [「白さが足りない/白がムラになる」121 ページ](#)

使用済み消耗品の処分

廃棄

使用済みの以下のインク付着物および前処理剤は産業廃棄物です。

- クリーニング棒
- クリーンルーム用ワイパー
- 柔らかい布
- インククリーナー
- 廃インク
- 廃インクボトル
- ワイパーユニット
- 乾燥防止キャップ
- フラッシング用吸収材
- エアフィルター
- 印刷後のメディア
- 空のインクパック、クリーニングインクパック、前処理剤パック
- 前処理剤用フィルター

産業廃棄物処理業者に廃棄物処理を委託するなど、法令に従って廃棄してください。委託時には、製品安全データシートを産業廃棄物処理業者に提出してください。

製品安全データシートは、エプソンのウェブサイト (<https://www.epson.jp>) からダウンロードできます。

操作パネルのメニュー

設定メニュー一覧

設定メニューで設定・実行できる項目と各設定値は以下の通りです。各項目の詳細は参照ページをご覧ください。

再印刷

選択すると、本機に保存されている印刷ジョブの再印刷（リピート印刷）ができます。詳細は、以下をご覧ください。

[🔗 「同じジョブを再印刷（リピート印刷）するとき」 59 ページ](#)

本体設定

各項目の詳細 [🔗 「本体設定メニュー」 102 ページ](#)

設定項目	設定値
基本設定	
画面の明るさ設定	1～9
音の設定	
操作音	0～3
正常終了音	0～3
準備完了音	0～3
印刷終了音	0～3
注意音	
音量	0～3
繰り返し鳴動	しない、停止されるまで
エラー音	
音量	0～3
繰り返し鳴動	しない、停止されるまで
音の種類	パターン 1、パターン 2
スリープ移行時間設定	
オフ	
オン	1～240 分
日付/時刻設定	
日付/時刻	
時差	-12:45～+13:45
言語選択/Language	Dutch、English、French、German、Italian、日本語、Korean、Portuguese、Russian、Simplified Chinese、Spanish、Traditional Chinese、Turkish

操作パネルのメニュー

設定項目	設定値
画面カスタマイズ	
背景色	グレー、ブラック、ホワイト
印刷開始画面	自動切替、サムネイル表示固定、情報表示固定
キーボード	QWERTY、AZERTY、QWERTZ
単位設定	
長さ単位	m、ft/in
温度単位	°C、°F
プリンター設定	
プリンターモード	ホワイトインクモード、カラーインクモード
ヘッド移動量	データ幅、プリンター幅
内部照明	自動、手動
特殊メニュー	ノズルよれの解消
初期設定に戻す	ネットワーク設定、全て初期化
メンテナンス設定	
クリーニング設定	
ノズル抜け許容数	
ホワイト	1～8000
カラー	1～6400
最大リトライ回数	0～2
ノズル抜け補完設定	オン、オフ
ノズル抜け許容数到達時のメンテナンス	印刷停止、通知のみ、自動メンテナンスする
定期クリーニング	
時間指定	1～9999
ページ数	1～9999
オフ	
電源投入後クリーニング	オン、オフ

操作パネルのメニュー

設定項目	設定値
ネットワーク設定	
ネットワーク情報	有線接続状態、ステータスシート印刷
詳細設定	
デバイス名	
TCP/IP	
プロキシサーバー	
IPv6 アドレス	有効、無効
Link Speed & Duplex	自動、100BASE-TX Auto、10BASE-T Half Duplex、10BASE-T Full Duplex、100BASE-TX Half Duplex、100BASE-TX Full Duplex
HTTP を HTTPS にリダイレクト	有効、無効
IPsec/IP フィルタリングの無効化	
IEEE802.1X の無効化	

メディア設定

本メニューは、画面のメディア情報エリアを押して直接呼び出すことができます。

各項目の詳細 [🔗 「メディア設定メニュー」 106 ページ](#)

設定項目	設定値
現在の設定	
メディア	01～30
プラテンギャップ	自動、手動
印刷調整	
プリントヘッドの位置調整	
標準	-8～+8
微調整	-10～+10
メディア送り調整	-1.00～1.00%
登録メディア管理	
01 XXXXXXXXXXXX～30 XXXXXXXXXXXX	
登録名称の変更	
プラテンギャップ	
自動	
ヘッド高さ	狭い、標準、広い
基準面	標準、最低面、最高面
手動	
設定値	3.0～ 35.0

プリンターのお手入れ

各項目の詳細 [「プリンターのお手入れメニュー」 108 ページ](#)

設定項目	設定値
プリントヘッドのノズルチェック	全て、ホワイトのみ、カラーのみ
プリントヘッドのクリーニング	
おまかせクリーニング	
クリーニング(弱)	
全ての列	
列を選択	カラー、ホワイト
クリーニング(中)	
全ての列	
列を選択	カラー、ホワイト
クリーニング(強)	
全ての列	
列を選択	カラー、ホワイト
メンテナンスパーツ交換	ヘッドクリーニングセット、廃インクボトル、キャップユニットセット、エアフィルター
部品清掃	ヘッド周辺、吸引キャップ、センサーカバー
長期保管	
ノズル制限	オフ、オン

消耗品情報

メニューの詳細 [「消耗品情報メニュー」 109 ページ](#)

交換部品情報

選択すると、プリントヘッドなどの交換部品の消耗度が表示されます。交換部品の寿命が近づくと、[メンテナンスコール] が表示されます。

[「メンテナンスコール/プリンターエラーが発生したときは」 111 ページ](#)

情報確認

メニューの詳細 [「情報確認メニュー」 109 ページ](#)


設定メニューの説明

本体設定メニュー



*はメーカー設定値です。

設定項目	設定値	説明
基本設定		
画面の明るさ設定	1～9 (9*)	操作パネルの画面の明るさを調整します。
音の設定		
操作音	0～3 (1*)	操作パネルの画面でメニューなどを押したときの音の大きさを設定します。
正常終了音	0～3 (3*)	ジョブの印刷やメンテナンス動作が終了したときの音の大きさを設定します。
準備完了音	0～3 (3*)	本機が、印刷準備をできる状態になったときの音の大きさを設定します。
印刷終了音	0～3 (0*)	印刷が終了し、Tシャツ（メディア）を取り外せる状態になったときの音の大きさを設定します。
注意音		消耗品の交換時期や部品清掃時期などを知らせる音の大きさと繰り返しを設定します。
音量	0～3 (2*)	
繰り返し鳴動	しない* 停止されるまで	
エラー音		印刷を継続できないエラーが発生したときの音の大きさと繰り返しを設定します。
音量	0～3 (3*)	
繰り返し鳴動	しない 停止されるまで*	
音の種類	パターン 1* パターン 2	音の種類を設定します。本機の設置環境に合わせて聞き取りやすい音に設定できます。
スリープ移行時間設定		エラーが発生していない状態で印刷ジョブの受信がない状態が、設定時間経過するとスリープモードに移行します。スリープモードになると、操作パネルの画面表示が消えるなど消費電力が抑えられます。操作パネルの画面にタッチすると、画面表示が復帰します。印刷ジョブを受信したり、ハードウェア動作を伴う操作によりスリープモードから復帰する際は、立ち上がりに時間がかかることがあります。
オフ		
オン	1～240 (15*)	
日付/時刻設定		
日付/時刻		内蔵時計の日時を設定します。ここで設定した時刻はホーム画面に表示されます。また、ジョブ履歴や Epson Edge Dashboard でプリンタステータスを表示させるときにも使用されます。
時差	-12:45～+13:45	協定世界時（UTC）との時差を 15 分刻みで設定します。時差があるネットワーク環境で本機を管理するときなどに必要に応じて設定します。

操作パネルのメニュー

設定項目	設定値	説明
言語選択/Language	Dutch	操作パネルの画面の表記言語を設定します。
	English	
	French	
	German	
	Italian	
	日本語*	
	Korean	
	Portuguese	
	Russian	
	Simplified Chinese	
	Spanish	
	Traditional Chinese	
Turkish		
画面カスタマイズ		
背景色	グレー	操作パネルの画面の配色を設定します。本機を設置している環境に応じて見やすい配色に設定できます。
	ブラック*	
	ホワイト	
印刷開始画面	自動切替*	印刷ジョブ受信後の画面表示を選択できます。どの設定を選択しても  (表示切り替え) を押せば、プレビュー画面 (サムネイル表示) と情報表示画面の切り替えができます。 【サムネイル表示固定】を選択時は、印刷ジョブを受信するとプレビュー画面が表示されますが、印刷開始後に情報表示画面には切り替わりません。 【情報表示固定】を選択時は、印刷ジョブを受信するとすぐに情報表示画面が表示されます。
	サムネイル表示固定	
	情報表示固定	
キーボード	QWERTY*	メディア設定の登録名称を入力するときなどに表示される文字入力画面のキー配列を選択します。
	AZERTY	
	QWERTZ	
単位設定		
長さ単位	m*	操作パネルの画面の表記やパターン印刷時に使用する長さの単位を設定します。
	ft/in	
温度単位	°C*	操作パネルの画面の表記で使用する温度の単位を設定します。
	°F	

操作パネルのメニュー

設定項目	設定値	説明		
プリンター設定				
プリンターモード	ホワイトインクモード*	印刷に使用するインクモードの切り替えができます。 WH インクを使用する印刷を一定期間まったく行わないときは、【カラーインクモード】に変更すると WH インクの消費を節約できます。 実行条件や手順など詳細は、以下をご覧ください。 ☞ 「【プリンターモード】の切り替え」 91 ページ		
	カラーインクモード			
ヘッド移動量	データ幅*	印刷時にプリントヘッドが移動する範囲を設定できます。 【データ幅】は、印刷データ幅の範囲でプリントヘッドが移動します。プリントヘッドの移動範囲が狭くなるため、印刷速度が向上します。 【プリンター幅】は、本機の最大メディア幅の範囲でプリントヘッドが移動します。印刷品質が均一で、よりムラのない印刷品質をお求めのときは、こちらに設定します。		
	プリンター幅			
内部照明	自動*	本機内部にある照明の点灯/消灯を自動で行うか選択します。 【自動】は、印刷中など照明が必要な動作時に自動で点灯し、動作が終了すると消灯します。 【手動】は、操作パネルの  を押したときのみ照明が点灯/消灯します。 点灯不可の動作中に  を押したときは、点灯可能になってから点灯します。		
	手動			
特殊メニュー	ノズルよれの解消	本設定は、エプソンサービスコールセンターまたはサービス・サポート担当から指示されたとき以外は使用しないでください。 指示なく使用すると、印刷品質や製品寿命に影響を与えるおそれがあります。		
初期設定に戻す	ネットワーク設定	【ネットワーク設定】を選択すると、【本体設定】 - 【ネットワーク設定】の設定値のみをメーカー設定値に戻します。 【全て初期化】を選択すると、本機のメニューの全設定をメーカー設定値に戻します。		
	全て初期化			
メンテナンス設定				
クリーニング設定				
ノズル抜け許容数	本機は、印刷前やクリーニング実施時にプリントヘッドのノズルの目詰まり状態を自動で確認します。確認の結果、インクの吐出量が一定以下になり印刷品質を正常に保てないノズルを目詰まりノズルとして検出します。 ここでは、目詰まりノズルが検出されたときに実施するメンテナンスに関する設定を行います。本設定は、以下に適用されます。 <ul style="list-style-type: none"> 印刷前に自動で行うノズルの目詰まり確認 【おまかせクリーニング】 【定期クリーニング】 【ノズル抜け許容数】は、目詰まりノズルが何本に達したらメンテナンスを実施するかを、【ホワイト】・【カラー】のプリントヘッドごとに設定します。 【最大リトライ回数】は、一度のメンテナンスでノズルの目詰まりが解決されなかった場合にメンテナンスを繰り返し行う回数を設定します。			
			ホワイト	1~8000 (50*)
			カラー	1~6400 (50*)
最大リトライ回数	0~2 (0*)			
ノズル抜け補完設定	オン*	本機は、印刷前やクリーニング実施時にプリントヘッドのノズルの目詰まり状態を自動で確認します。確認の結果、インクの吐出量が一定以下になり印刷品質を正常に保てないノズルを目詰まりノズルとして検出します。 ここでは、検出された目詰まりノズルから吐出されなかったインクの不足を、正常なノズルで補いながら印刷するかどうかを設定します。【オン】を選択するとノズル抜けで吐出できなかったインクの不足を、正常なノズルで補いながら印刷します。 <ul style="list-style-type: none"> 補完対象はカラーのプリントヘッドのみです。 補完を行うノズル本数には制限があります。 【プリントヘッドのノズルチェック】のチェックパターンなどの調整パターン印刷時や【ステータスシート印刷】では補完を行いません。 		
	オフ			

操作パネルのメニュー

設定項目	設定値	説明
ノズル抜け許容数到達時のメンテナンス	印刷停止	印刷前に [クリーニング設定] - [ノズル抜け許容数] で設定した本数以上の目詰まりノズルを検出したときの動作を設定します。 [印刷停止] は、操作パネルの画面に [自動ノズルメンテナンスで許容数を超えるノズルの目詰まりを検出しました。印刷品質が低下することがあります。] というメッセージを表示し、印刷を中断して待機します。 [通知のみ] は、操作パネルの画面に上記のメッセージが表示されますが、印刷を中断せずに続けます。 [自動メンテナンスする] は、印刷開始前にメンテナンスを実施します。
	通知のみ*	
	自動メンテナンスする	
定期クリーニング		
時間指定	1~9999 (60*)	プリントヘッドのノズルを最適な状態に保つためのクリーニングを実施するタイミングを時間 (分) または印刷ページ数で設定できます。 [オフ] を選択すると定期クリーニングは実施されません。
ページ数	1~9999 (50*)	
オフ*		
電源投入後クリーニング	オン*	プリントヘッドのノズルを最適な状態に保つために本機が自動で行うクリーニングを電源投入時に実施するかどうかを設定します。
	オフ	
ネットワーク設定		
ネットワーク情報	有線接続状態	[詳細設定] で設定されているネットワーク設定個々の情報を一括して確認できます。 [ステータスシート印刷] を選択すると一覧が印刷されます。
	ステータスシート印刷	
詳細設定		
デバイス名		ネットワークの個々の設定をします。 1000BASE-T Full Duplex をお使いのときは、 [Link Speed & Duplex] を [自動] に設定してください。
TCP/IP		
プロキシサーバー		
IPv6 アドレス	有効*	
	無効	
Link Speed & Duplex	自動*	
	100BASE-TX Auto	
	10BASE-T Half Duplex	
	10BASE-T Full Duplex	
	100BASE-TX Half Duplex	
HTTP を HTTPS にリダイレクト	有効*	
	無効	
IPsec/IP フィルタリングの無効化		
IEEE802.1X の無効化		

メディア設定メニュー

*はメーカー設定値です。

設定項目	設定値	説明
現在の設定		
メディア	01~30	現在選択中のメディア設定の設定値が一覧表示されます。各設定項目を押すと、設定値を変更できます。
プラテンギャップ	自動	
	手動	
印刷調整		
プリントヘッドの位置調整		印刷結果に粒状感やピントズレ（罫線のズレ、細かい文字のがたつき）が生じるときに調整を行います。 本調整では、双方向印刷時にインクが吐出される位置の微妙なズレを調整します。以下の場合には調整を行っても印刷結果が改善されません。 <ul style="list-style-type: none"> Garment Creator 2/Garment Creator for SC-F3000 Series で [ヘッド移動方向] が [単方向（低速印刷）] に設定されている。 リピート印刷時や USB メモリーからのジョブ印刷時に [印刷設定] - [ヘッド移動方向] が [単方向] に設定されている。 詳細は以下をご覧ください。 「【プリントヘッドの位置調整】の実施」118 ページ
標準	-8~+8	
微調整	-10~+10	
メディア送り調整	-1.00~1.00%	印刷結果に横方向のスジ（バンディング）が見られるときに調整を行います。 本調整では、プリントヘッドが1回動く間にプラテンを送り出す量（幅）を調整します。 バンディングの色が濃いときは+側に、色が薄い（白っぽい）ときは-側に数値を変更します。初めは 0.1%（または-0.1%）に設定して印字確認を行い、必要に応じて更に調整を行ってください。 調整実施時には以下をお読みください。 「印刷調整実施時のご注意」117 ページ

設定項目	設定値	説明
登録メディア管理		
01 XXXXXXXXXXX~30 XXXXXXXXXXX (登録名称が表示される)		
登録名称の変更		保存するメディア設定に、20 文字以内で名前を付けられます。(全角・半角どちらも使用可能) 区別しやすい名前を付けると、選択時に判別しやすくなります。
プラテンギャップ		本機はプラテンにセットされたメディア表面をセンサーで自動検出し、適切な【ヘッド高さ】(プラテンギャップ)で印刷を行います。通常は【自動】のままお使いください。以下のような場合に【手動】に設定することをお勧めします。 <ul style="list-style-type: none"> • メディアのセット状態が均一に保てないとき • メディアの素材や質感によるしわや毛羽立ちなどがあるとき
自動*		プラテンにセットされたメディア表面を自動で検出し、設定されたヘッド高さ(プラテンギャップ)に合わせて印刷します。
ヘッド高さ	狭い	プリントヘッドとメディアの間隔を設定します。通常は、【標準】のまま使用してください。 【狭い】:より高画質な印刷をしたいときなどに設定します。ただし、プリントヘッドに毛羽が接触してノズル抜けが発生しやすくなることがあります。 【広い】:印刷結果がこすれて汚れるときや毛羽の出やすいメディアに印刷するときなどに設定します。ただし、むやみに設定すると印刷品質が低下することがあります。
	標準*	
	広い	
基準面	標準*	プリントヘッドとメディアの間隔を決める際の基準となるメディア表面の位置を設定します。通常は、【標準】のまま使用します。 メディアの最も高い所や最も低い所を基準にするときに限り、設定を変更してください。
	最低面	
	最高面	
手動		プリントヘッドとメディアの間隔を指定された値に固定して印刷します。 【ヘッド高さ】を【自動】に設定していると、メディアのセット状態や素材の質感によるしわや毛羽立ちなどが原因で同じメディアでも検出される基準面が変わることがあります。基準面が変わり、ヘッド高さ(プラテンギャップ)に微妙な差異が生じると、印刷結果がばらつくことがあります。これらのばらつきを解消するためにヘッド高さを固定して印字したいときなどは、【手動】にしてお使いください。 【設定値】は、使用するプラテンの種類とセットするメディアの厚さによって異なります。詳細は、以下をご覧ください。 🔗「メディアの厚さと【プラテンギャップ】の設定値の対応表」132 ページ
設定値	3.0~ 35.0	【設定値】で、任意のプリントヘッドとメディアの間隔を入力します。 【推奨値検出】を押すと、プラテンにセットされたメディアの厚さからお勧めの設定値が画面に表示されます。

プリンターのお手入れメニュー

*はメーカー設定値です。

設定項目	設定値	説明
プリントヘッドのノズルチェック	全て*	プリントヘッドのノズルの目詰まりを確認するためのチェックパターンが印刷されます。印刷されたチェックパターンを目視で確認し、かすれや欠けがあるときはヘッドクリーニングを行います。 ☞ 「ノズルの目詰まりチェック」 88 ページ
	ホワイトのみ	
	カラーのみ	
プリントヘッドのクリーニング		
おまかせクリーニング		本機が自動でノズルの目詰まりを確認して最適な強度のクリーニングを行います。実施後も目詰まりが解消されないときは、[クリーニング(弱)]、[クリーニング(中)]、[クリーニング(強)]の順に、目詰まりが解消されるまで実施してください。
クリーニング(弱)		プリントヘッドのクリーニングのレベルを、3種類から設定できます。最初は、[クリーニング(弱)]を行います。実施後も、目詰まりが解消されないときは、[クリーニング(中)]、続いて[クリーニング(強)]を実施してください。印刷されたチェックパターンでかすれや欠けがあるパターンの番号を確認し、全列またはホワイト・カラーのプリントヘッドごとにノズル列を指定してクリーニングできます。 ☞ 「プリントヘッドのクリーニング」 90 ページ
全ての列		
列を選択	カラー	
	ホワイト	
クリーニング(中)		
全ての列		
列を選択	カラー	
	ホワイト	
クリーニング(強)		
全ての列		
列を選択	カラー	
	ホワイト	
メンテナンスパーツ交換	ヘッドクリーニングセット	操作パネルの画面にメンテナンスパーツの交換時期を示すメッセージが表示される前に交換するときは、このメニューから行います。
	廃インクボトル	
	キャップユニットセット	
	エアフィルター	
部品清掃	ヘッド周辺	プリントヘッドや板金のフチの清掃は必ずこのメニューから行ってください。また、操作パネルの画面に清掃時期を示すメッセージが表示される前に吸引キャップやセンサーカバーを清掃するときにもこのメニューから行ってください。プリントヘッドやプラテンがメンテナンス位置に移動しない状態では正しく清掃できません。
	吸引キャップ	
	センサーカバー	
長期保管		本機を1ヵ月以上使用しない(電源を切る)ときは、事前に必ず実施してください。詳細は以下をご覧ください。 ☞ 「長期間使用しないときの事前メンテナンス」 93 ページ

操作パネルのメニュー

設定項目	設定値	説明
ノズル制限	オフ*	<p>〔プリントヘッドのクリーニング〕を繰り返しても目詰まりが解消されないときなどに、目詰まりしていないノズル列のみ使用して印刷を継続することができます。</p> <p>本機能を〔オン〕にすると、ノズル列全体の半分（上側または下側）だけで印刷するので印刷所要時間が長くなります。また、印刷品質が低下するおそれもあります。プリントヘッドを交換してノズルの目詰まりが解消されるまでの間など、暫定期間のみ使用することをお勧めします。</p> <p>制限ノズルの選び方</p> <p>〔プリントヘッドのノズルチェック〕でチェックパターンを印刷し、目詰まりが解消されないノズル列がチェックパターンの中央より上側にあるか下側にあるかを確認します。</p> <p>☞ 「ノズルの目詰まりチェック」88ページ</p> <p>〔ホワイト〕、〔カラー〕の順に表示される画面でノズルの目詰まりが見られる側（上または下）のチェックパターンにチェックを付けます。ホワイトのノズル列に目詰まりが見られない場合でもその他の色で目詰まりが見られる側のチェックパターンにチェックを付けてから〔カラー〕の選択画面に進んでください。</p>
	オン	

消耗品情報メニュー

設定項目	設定値	説明
インク/廃インクボトル/ヘッドクリーニングセット		
インクパック		インク残量とインク型番を表示
廃インクボトル		廃インクボトルの空き容量を表示
ヘッドクリーニングセット		ワイパーユニットの消耗度を表示
その他		その他の消耗品（キャップユニットセット・エアフィルター）の消耗度を表示

情報確認メニュー

設定項目	設定値	説明
ファームウェアバージョン		<p>選択した情報を表示します。</p> <p>〔プリンター名〕はEpson Edge Dashboardで設定された名称です。</p>
プリンター名		
フェータルエラー履歴		
稼働実績	総印刷枚数	
	総キャリッジパス数	

困ったときは

メッセージが表示されたとき

以下のメッセージが表示されたら、対処方法の記載を確認し必要な処置をしてください。

メッセージ	対処方法
<p>センサーカバーの清掃時期です。</p> <p>センサーカバーを認識できません。</p>	<p>センサーカバーの表面が汚れています。以下をご覧くださいになり清掃してください。</p> <p>☞ 「センサーカバーの清掃」68 ページ</p> <p>センサーカバーが汚れたままの状態を使い続けると、センサーがプラテン位置を正しく検出できず、適切なヘッド高さで印刷されないおそれがあります。メッセージが表示されたら速やかに清掃することをお勧めします。</p>
<p>プリンターの動作を停止しました。内部に障害物がないか確認し、[OK] を押してください。</p>	<p>以下の点を確認して [OK] を押してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • プラテンにセットしたメディア表面にしわがあるときは、メディアが平らになるようにセットし直してください。 • 厚手のメディアをセットしているときはメディアに合ったプラテンポジションやヘッド高さに設定されているか確認してください。 <p>☞ 「T シャツ (メディア) のセット」47 ページ</p> <ul style="list-style-type: none"> • 本機内部に物が落ちていないか確認してください。
<p>稼働台が移動できません。稼働台の周辺を確認し、[OK] を押してください。</p>	<p>以下の点を確認して [OK] を押してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • プラテンにメディア以外のものに乗っているときは、取り除いてください。 • メディア表面が盛り上がりすぎたり、大きくしわが寄ったりしているときはメディアが平らになるようにセットし直してください。 • プラテン種類を変更したときは、プラテン種類に合ったプラテンポジションに設定されているか確認してください。 <p>☞ 「プラテンの交換」45 ページ</p> <ul style="list-style-type: none"> • 可動台の周囲に物が落ちているときは取り除いてください。
<p>ノズルの状態を検査できませんでした。【おまかせクリーニング】は実行できません。クリーニングの強度を選択し、実行してください。</p>	<p>本機の動作保証温度を越えています。室内温度を調節し、使用を再開してください。</p> <p>☞ 「仕様一覧」137 ページ</p>
<p>アドレスとサブネットマスクの組み合わせが有効ではありません。詳しくはマニュアルをご覧ください。</p>	<p>IP アドレス、またはデフォルトゲートウェイに正しい値を入力してください。正しい値が分からない場合は、ネットワーク管理者に確認してください。</p>

メンテナンスコール/プリンターエラーが発生したときは

メッセージ	対処方法
メンテナンスコール: 部品寿命間近 XXXXXXXXXXXXXXXXXX	<p>本機の交換部品の交換時期が近付きました。すぐにお買い求めの販売店またはエプソンサービスコールセンターに連絡してください。連絡の際には、「XXXXXXXXXXXXXXXX」(メンテナンスコール番号)を必ず伝えてください。</p> <p>エプソンサービスコールセンターの連絡先 ☎ 「お問い合わせ先」141 ページ</p> <p>メンテナンスコールは部品を交換しないと解除されません。そのまま使い続けると、プリンターエラーが発生します。</p>
メンテナンスコール: 部品寿命到達 XXXXXXXXXXXXXXXXXX	
<p>プリンターエラーが発生しました。電源を入れ直してください。詳しくはマニュアルをご覧ください。</p> <p>XXXXXX</p>	<p>プリンターエラーは以下の場合に表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 電源コードが正しく接続されていないとき • 解除できないエラーが発生したとき <p>プリンターエラーが発生すると、本機は自動的に印刷を停止します。電源を切り、電源コードをコンセントと本機の電源コネクターから抜いて、接続し直します。本機の電源を数回入れ直します。</p> <p>再び同じ番号のプリンターエラーが表示されるときは、お買い求めの販売店またはエプソンサービスコールセンターに連絡してください。連絡の際には、「XXXXXX」(プリンターエラー番号)を必ず伝えてください。</p> <p>エプソンサービスコールセンターの連絡先 ☎ 「お問い合わせ先」141 ページ</p>

トラブルシューティング

印刷できない（プリンターが動かない）

電源が入らない

■ **電源プラグがコンセントまたは本機から抜けていませんか？**

以下をご確認ください。

- プリンターとインクユニット両方の電源プラグがコンセントに接続されているか
- 電源プラグの差込が浅かったり、斜めになっていないか

また、プリンターとインクユニットが正しく接続されているかも合わせてご確認ください。

☞ 『セットアップガイド』（冊子）

■ **コンセントに問題がありませんか？**

ほかの電気製品の電源プラグを差し込んで、動作するかどうか確かめてください。

プリンターとコンピューターの接続に異常がある

■ **ケーブルが外れていませんか？**

プリンター側のポートとコンピューター側のコネクタにインターフェースケーブルがしっかり接続されているか確認してください。また、ケーブルが断線していないか、変に曲がっていないか確認してください。予備のケーブルをお持ちの場合は、差し換えてご確認ください。

■ **コンピューターの仕様が、それぞれのケーブルの接続条件を満たしていますか？**

インターフェースケーブルの型番・仕様を確認し、コンピューターの種類や本機の仕様に合ったケーブルかどうかを確認してください。

☞ 『システム条件』134 ページ

■ **USB ハブを使用している場合、使い方は正しいですか？**

USB は仕様上、USB ハブを 5 段まで縦列接続できますが、本機はコンピューターに直接接続された 1 段目の USB ハブに接続することをお勧めします。お使いのハブによっては動作が不安定になることがあります。動作が不安定なときは、コンピューターの USB コネクタに USB ケーブルを直接接続してください。

■ **USB ハブが正しく認識されていますか？**

コンピューターで USB ハブが正しく認識されているか確認してください。正しく認識されている場合は、コンピューターの USB ポートから、USB ハブを全て外してから、本機の USB ポートとコンピューターの USB ポートを直接接続してみてください。USB ハブの動作に関しては、USB ハブのメーカーにお問い合わせください。

ネットワーク環境下で印刷ができない

■ **ネットワークの設定は正しいですか？**

ネットワークの設定については、ネットワークの管理者にお問い合わせください。

■ **本機とコンピューターを USB 接続して、印刷してみてください。**

USB の接続で印刷ができるのであれば、ネットワークの設定に問題があります。システム管理者に相談するか、お使いのシステムのマニュアルをご覧ください。USB 接続で印刷ができないときは、本書の該当項目をご覧ください。

プリンター側でエラーが発生している

■ **操作パネルの画面のメッセージを確認してください。**

☞ 『操作パネル』14 ページ

☞ 『メッセージが表示されたとき』110 ページ

プリンターは動くが印刷されない

プリントヘッドは動くが印刷しない

■ **プラテンギャップの設定は適切ですか？**

印刷面がプリントヘッドから離れすぎていると正しく印刷されません。[プラテンギャップ] を [手動] に設定しているときは、[設定値] で入力した値やプラテンポジションがお使いのメディアに適したものかご確認ください。

☞ 『メディアの厚さと [プラテンギャップ] の設定値の対応表』132 ページ

- **本機の動作確認をしてください。**
ノズルチェックパターンを印刷してください。ノズルチェックパターンはコンピューターと接続していない状態で印刷できるため、本機の動作や印刷状態を確認できません。
☞「[ノズルの目詰まりチェック](#)」88ページ
ノズルチェックパターンが正しく印刷されなかったときは、次項をご確認ください。

ノズルチェックパターンが正常に印刷できない

- **本機を長期間使用していなかったのではありませんか？**
本機を長期間使用しないしていると、プリントヘッドのノズルが乾燥して目詰まりを起こすことがあります。本機を長期間使用しなかったときの処置 ☞「[使用しないときのご注意](#)」20ページ

- **カラーインクモードで使用していませんか？**
カラーインクモードではクリーニングインクパックを装着するため、クリーニング液の表示列 (CL) が見えにくくなっています。印刷されない箇所がクリーニング液の表示列であれば、見えなくても問題ありません。

- **ホワイトインクモードで紙に印刷していませんか？**
紙に印刷されたホワイトインクは見えにくくなります。ホワイトインクのノズルチェックパターンを確認するには、OHP シートなどをご使用ください。
☞「[メディアのセット方法](#)」88ページ

上記に当てはまる項目がないときは、ノズルが目詰まりしているおそれがあります。以下の順に対処を行ってください。

1. 【プリントヘッドのクリーニング】の実施

以下をご覧になり、【プリントヘッドのクリーニング】を実施してノズルの目詰まりが解消されたか確認してください。

☞「[プリントヘッドのクリーニング](#)」90ページ

2. 吸引キャップの清掃

吸引キャップが汚れていると、プリントヘッドのクリーニングを実施してもノズルの目詰まりが解消されません。

以下をご覧になり、吸引キャップを清掃してください。

☞「[吸引キャップの清掃](#)」72ページ

なお、本機の画面に【吸引キャップの清掃時期です。】と表示されたときは、できるだけ速やかに清掃を行ってください。

3. 板金のフチの清掃

板金のフチに毛羽が付着していると、プリントヘッドが移動する際に毛羽と接触してインクが吐出できなくなることがあります。以下をご覧になり、プリントヘッドの周辺と板金のフチを清掃してください。清掃終了後は、再度【プリントヘッドのクリーニング】を実施してノズルの目詰まりが解消されたか確認してください。

☞「[プリントヘッド周辺と板金のフチの清掃](#)」70ページ

4. フラッシング用吸収材の確認

フラッシング用吸収材の表面に廃インクが堆積して固まっていると、【プリントヘッドのクリーニング】を実施してもノズルの目詰まりが解消されないことがあります。

以下をご覧になり、フラッシング用吸収材の状態を確認して必要に応じて新品と交換してください。


☞「[フラッシング用吸収材の確認方法](#)」94ページ

5. 乾燥防止キャップの確認

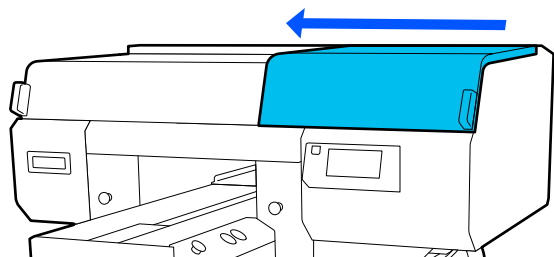
乾燥防止キャップのキャップ内にインクがたまっていると、【プリントヘッドのクリーニング】を実施してもノズルの目詰まりが解消されないことがあります。

以下の手順で乾燥防止キャップの状態を確認して必要に応じて新品と交換してください。

確認手順

- 1 電源が入っていることを確認し、 (メニュー) - 【プリンターのお手入れ】 - 【部品清掃】 - 【ヘッド周辺】の順に押します。
- 2 メッセージの内容を確認し、【開始】を押します。
プラテンがメンテナンス位置まで移動します。
- 3 右側のプリンターカバーを少し開け閉めします。
- 4 画面のメッセージを確認し、【次へ】を押します。
プリントヘッドがメンテナンス位置に移動します。

- 5** プリントヘッドが移動したことを確認し、右側のプリンターカバーを開けます。



- 6** 乾燥防止キャップのキャップ内にインクがたまっていないか確認します。

奥と手前両方の乾燥防止キャップを確認します。下図のようにキャップ内にインクがたまっていたら新品への交換が必要です。

！重要

乾燥防止キャップの交換は、必ず [メンテナンスパーツ交換] から行ってください。交換時期が正しくお知らせできなくなります。



- 7** 確認が終了したら、右側のプリンターカバーを閉め、操作パネルの画面で [終了] を押します。

プラテンとプリントヘッドが通常の位置に戻り設定メニューが終了します。

乾燥防止キャップの交換が必要なときは、以下をご覧ください。

☞ [「キャップユニットセットの交換」84 ページ](#)

1～5 の対処を実施しても問題が解消されないとき

お買い求めの販売店またはエプソンサービスコールセンターに連絡してください。

☞ [「お問い合わせ先」141 ページ](#)

印刷品質/印刷結果のトラブル

印刷品質が悪い/ムラ、スジがある/薄い/濃い

■ **プリントヘッドのノズルが目詰まりしていませんか？**

プリントヘッドが目詰まりを起こしていると、特定の色が出なくなり印刷品質が悪くなります。ノズルチェックパターンを印刷してみてください。

☞ [「ノズルの目詰まりチェック」88 ページ](#)

また、印刷面に毛羽が立っているとプリントヘッドに毛羽が接触し、ノズル抜けの原因となることがあります。印刷直前にヒートプレスでメディアの毛羽を寝かせることをお勧めします。

■ **プラテンの高さ位置を調整しましたか？**

[プラテンギャップ] を [手動] に設定しているときは、印刷面がプリントヘッドから離れすぎていると、印刷物が以下のようになることがあります。

- 印刷物にスジが入る
- 画像の端がぼやける
- 文字や直線が二重になる
- 粒状感がある

[プラテンギャップ] - [手動] の [設定値] で入力した値やプラテンポジションがお使いのメディアに適したものがご確認ください。

☞ [「メディアの厚さと \[プラテンギャップ\] の設定値の対応表」132 ページ](#)

■ **プリントヘッドの位置調整をしましたか？**

通常プリントヘッドは左右どちらに移動するときも印刷します。このとき、プリントヘッドのズレ (ギャップ) により、罫線がずれて印刷されることがあります。印刷をしていて縦の罫線がずれるときは、プリントヘッドの位置調整をしてください。

☞ [「 \[プリントヘッドの位置調整\] の実施」118 ページ](#)

■ **【メディア送り調整】を実施してください。**

プリントヘッドが1回転くときのプラテンを送り出す量 (幅) を調整すると、軽減できることがあります。濃い色のスジができるときは+側に、淡色のスジができるときは-側に数値を変更します。

☞ [「メディア設定メニュー」106 ページ](#)

■ **インクパックは推奨品 (当社純正品) を使用していますか？**

本機は、純正インクパックの使用を前提に調整されています。純正品以外をご使用になると、ときに印刷がかすれたり、インク残量が正常に検出できなくなったりして色合いが変わることがあります。必ず正しいインクパックを使用してください。

■ **古くなったインクパックを使用していないですか？**

古くなったインクパックを使用すると、印刷品質が悪くなります。新しいインクパックに交換してください。インクパックは、個装箱に記載されている有効期限内（本機に装着後は1年以内）に使い切ることをお勧めします。

■ **インクパックを振りまいたか？**

本機のインクパックは、顔料インクを使用しています。本機に装着する前によく振ってください。また、良好な印刷品質を得るために、装着したインクパックは、ホワイトインクは始業時および24時間（メッセージ表示時）に一度、その他のインクは1カ月ごとに取り出して、よく振ることをお勧めします。

☞ 「インクパックのかくはんと交換」76ページ

■ **ディスプレイの表示と印刷結果を比較していませんか？**

ディスプレイ表示とプリンターで印刷したときの色とでは、発色方法が違うため、色合いに差異が生じます。

■ **印刷中にプリンターカバーを開けませんでしたか？**

印刷中にプリンターカバーを開けると、プリントヘッドが緊急停止するために色ムラが発生します。印刷中はプリンターカバーを開けないでください。

■ **操作パネルの画面に「インクが少なくなりました。」と表示されていませんか？**

インクが少なくなると、印刷品質に影響が出ることがあります。新しいインクパックに交換することをお勧めします。インクパックを交換しても色味が合わないときは、プリントヘッドのクリーニングを数回実施してください。

■ **目立ちやすい色を印刷していませんか？**

目立ちやすい色は、インクの吐出量とTシャツの凹凸によりスジに見えることがあります。Garment Creator 2/Garment Creator for SC-F3000 Seriesで「カラー印刷品質」または「ホワイト印刷品質」を「きれい」にしてください。

■ **インクが染み込みやすいTシャツに印刷していませんか？**

Tシャツ表面にインクが残りづらいため、プリントヘッドの移動が双方向（高速印刷）に設定されているジョブは、Tシャツの凹凸によりインクが吐出される位置が微妙にずれてスジに見えることがあります。そのときは、プリントヘッドの位置調整を試みてください。

☞ 「【プリントヘッドの位置調整】の実施」118ページ

プリントヘッドの位置調整をしても改善しないときは、Garment Creator 2/Garment Creator for SC-F3000 Seriesで「ヘッド移動方向」を「単方向（低速印刷）」にしてみてください。「双方向（高速印刷）」に設定されたジョブをリピータ印刷やUSBメモリーから印刷しているときは、プレビュー画面の「ヘッド移動方向」を「単方向」に設定してください。

☞ 「同じジョブを再印刷（リピータ印刷）するとき」59ページ

☞ 「USBメモリーから印刷」62ページ

それでもスジが見えるときは、「カラー印刷品質」または「ホワイト印刷品質」を「きれい」にしてみてください。

■ **前処理剤を薄めすぎていませんか？**

前処理剤（綿用）の濃度が薄すぎると、ホワイトインクの固まり具合が弱くなるため、画像の境界部分ににじみが生じます。ソフトウェアでホワイトインクの濃度を少なく調整するか、前処理剤の希釈率を調整してください。

前処理剤（ポリエステル用）の濃度が薄すぎると、インクの発色が悪くなります。前処理剤の希釈率を調整してください。

■ **ホワイトインクの濃度を調整してみてください。**

濃いTシャツに印刷時は、下地色によって縦ムラが発生することがあります。発生した際は、下地色となるホワイトインクの濃度を薄くするとムラが軽減できることがあります。ホワイトインクの濃度調整は、Garment Creator 2/Garment Creator for SC-F3000 Seriesで調整できます。

■ **ポリエステル素材のTシャツに印刷していませんか？**

ポリエステルTシャツにホワイトインクを使用して印刷する場合は、Garment Creator 2/Garment Creator for SC-F3000 Seriesで「基本設定」の「印刷品質」を最も高く設定することをお勧めします。

また、あらかじめ使用するTシャツに合わせて「インク量調整」を行ってください。

適切な白色濃度になることで印刷品質が向上し、印刷物が洗濯に対しても強くなります。

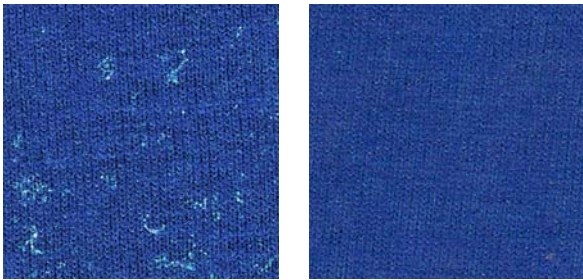
「インク量調整」を実施してもにじみが見られるときは「ダブルストライク印刷」のチェックを外してみてください。

設定などの詳細はお使いのソフトウェアのマニュアルをご覧ください。

白点のようなムラが発生する

ムラのある印刷結果

正常な印刷結果



■ **前処理剤（綿用）を薄めすぎていませんか？**

前処理剤（綿用）の濃度が薄すぎると、印刷面の毛羽立ちが十分に抑えられません。そのまま印刷すると、印刷時や定着時に毛羽がずれてムラの原因となります。前処理剤の希釈率を調整してください。

☞ [「前処理剤の希釈」 38 ページ](#)

■ **前処理剤を塗布する前に、塗布する面の糸くずを取り除きましたか？**

糸くずがあるまま前処理をすると、ムラの原因になります。粘着テープ（ローラー）で糸くずを取り除いてから前処理剤を塗布してください。

☞ [「前処理剤の塗布」 38 ページ](#)

■ **前処理剤を適切に塗布しましたか？**

前処理剤の塗布量の過不足や塗布ムラは、印刷結果のムラの原因になるおそれがあります。前処理剤は適切な量を均一に塗布してください。

☞ [「前処理剤の塗布」 38 ページ](#)

■ **前処理剤の定着時の温度を上げてみてください。**

ポリエステルTシャツに印刷した場合、生地の種類によっては前処理剤が適切に塗布されていても印刷結果にムラが生じることがあります。このようなときは、前処理剤の定着時の温度を上げてみてください。ムラが改善されることがあります。

☞ [「前処理剤の定着」 39 ページ](#)

印刷していない箇所に白点のようなムラが発生する



■ **前処理剤（綿用）に凝固物が発生していませんか？**

前処理剤（綿用）は、保管中に前処理剤中の定着成分が凝固することがあります。凝固物が発生した前処理剤をそのまま使用すると、凝固物が生地に付着してムラの原因となります。凝固物が発生した前処理剤は、ろ過して凝固物を取り除いてから使用してください。

☞ [「前処理剤（綿用）のろ過（凝固物発生時のみ）」 35 ページ](#)

罫線が左右にガタガタになる / 細かい文字が不鮮明になる / 粒状感が気になる

通常プリントヘッドは左右どちらに移動するときも印刷します。このとき、プリントヘッドのズレ（ギャップ）により、罫線がずれたり細かい文字が不鮮明になったり、粒状感が見られたりすることがあります。このようなときには、以下の順に対処を実施してください。

1. メディア設定の登録

メディアのメーカー（種類）や業務案件（印刷ジョブ）ごとに印刷設定を使い分けるときには、メディア設定番号を分けて登録・管理することをお勧めします。

使い分けの必要がないときには登録不要です。

☞ [「メディア設定の登録」 116 ページ](#)



2. 【プリントヘッドの位置調整】の実施

お使いのメディアやプラテンの種類により【標準】または【微調整】のどちらかを実施します。

☞ [「【プリントヘッドの位置調整】の実施」 118 ページ](#)



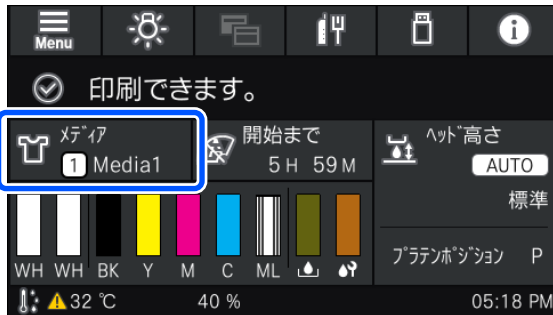
3. 【プラテンギャップ】の設定変更

まずは、【自動】のまま【ヘッド高さ】を【狭い】に変更します。それでも画質が改善されないときには【手動】に設定してみてください。

メディア設定の登録

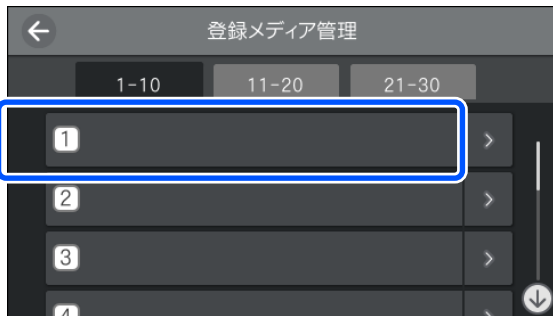
以下の手順でメディア設定に名前を付けて登録します。

- 1 本機の電源が入っていることを確認し、ホーム画面でメディア情報エリアを押します。




- 2 [登録メディア管理] を押します。

- 3 設定を登録するメディア設定を選択します。



- 4 [登録名称の変更] を押します。

- 5 任意の名称を入力して [OK] を押します。
引き続き [印刷調整] を実施するときは、 (ホーム) を押してホーム画面に戻ってください。

参考

メディア設定の右端にある  部分を押すと、以下の画面が表示されます。



ここでは、選択中のメディア設定の設定内容が一覧表示されます。①～④のボタンを押すと、以下のようなことができます。

- ① (複製) : 選択中の設定内容を別のメディア設定番号にコピーできます。ボタンを押すとコピー先のメディア設定番号の選択画面が表示されます。
- ② (編集) : 設定内容を変更できる画面が表示されます。
- ③ : 設定内容が全て初期化されます。
- ④ (この設定を使用する) : 選択中のメディア設定が、以降の印刷に使用されます。

印刷調整実施時のご注意

本機にセットしたメディアに合わせて調整されます。

調整が必要なメディアを実際に印刷時に使用するプラテンに正しくセットしてください。

調整結果は、現在選択中のメディア設定にのみ反映されます。

調整開始前に設定を保存するメディア設定を正しく選択してください。本機の画面には現在選択中のメディア設定番号が表示されています。

[🔗 「画面の見方」 15 ページ](#)

ノズルが目詰まりしていない状態で実施してください。

ノズルが目詰まりしていると、正しく調整されません。チェックパターンを印刷し目視で確認して、必要に応じて [プリントヘッドのクリーニング] を行ってください。

[🔗 「ノズルの目詰まりチェック」 88 ページ](#)

【プラテンギャップ】の設定を以下に変更したときは、調整をやり直してください。

- [自動] と [手動] を切り替えたとき
- [手動] で [設定値] を変更したとき

【プリントヘッドの位置調整】の実施

調整の種類と実施の順序

【プリントヘッドの位置調整】には【標準】と【微調整】の2種類があります。

【標準】では、印字された調整パターンを目視で確認して調整値を入力します。

【微調整】では、調整値を入力して実際に印字を行って調整結果が適切か確認します。

初めに【標準】で調整を行い、調整後も画質が改善されないときには【微調整】を行います。ただし、以下の場合は初めから【微調整】を選択してください。

- ハンガープラテンSサイズ、XSサイズプラテン、袖用プラテン使用時
- ポケットなどがあり、印刷面が平らではないメディアのとき

調整手順

調整開始前に以下をお読みください。

[「印刷調整実施時のご注意」117ページ](#)

- 1 実際に使用するプラテンに調整を行うメディアをセットします。

[「Tシャツ \(メディア\) のセット」47ページ](#)


- 2 本機画面のメディア情報エリアで現在選択中のメディア設定を確認します。



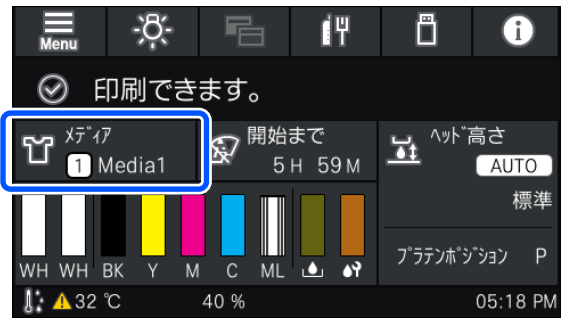
現在選択中のメディア設定に調整結果を保存するときは、手順5に進みます。

別のメディア設定に調整結果を保存するときは、次手順に進みます。

- 3 メディア情報エリアを押し、【現在の設定】 - 【メディア】の順に押します。

- 4 調整結果を保存するメディア設定を選択し、 (ホーム) を押します。

- 5 メディア情報エリアを押します。



- 6 【印刷調整】 - 【プリントヘッドの位置調整】の順に押し、【標準】 / 【微調整】のどちらかを選択します。

【標準】実施時：手順7に進みます。

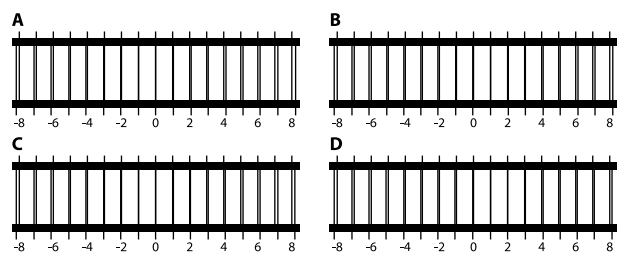
【微調整】実施時：手順9に進みます。

- 7 使用するメディアの色に応じて、調整項目を選択し、【開始】を押します。

【◇】ボタンを押すと、調整パターンの印刷が開始されます。パターン印刷が終了すると、調整値入力画面が表示されますので次の手順に進みます。

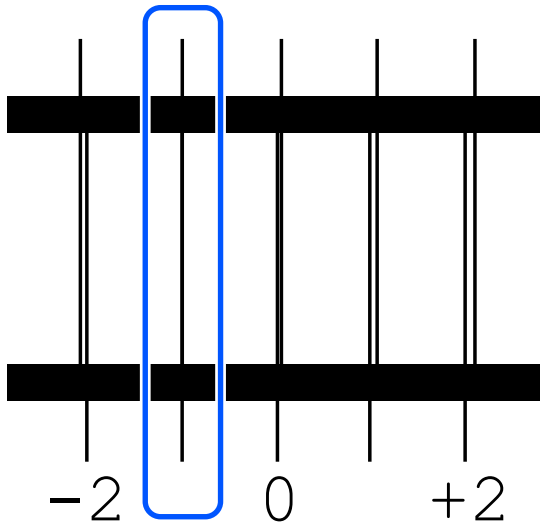
- 8 印刷された調整パターンを確認します。

【淡色メディア】選択時には黒色のパターンが2ブロック(#1~#2)、【濃色メディア】選択時には白色と黒色のパターンが2ブロックずつ(#1~#4)印字されます。



それぞれのブロックにあるA~Dの4つのパターンを確認し、最も線が細く見える（線が重なっている）パターンを-8~+8の中から選びます。

下図の場合は、「-1」を選びます。



全てのブロックのパターンを確認し、次の手順に進みます。

9 調整値を入力します。

【標準】実施時：

#1～#4（〔淡色メディア〕選択時は、#1～#2）の全てについて手順8で選択したA～Dの調整値を順に入力します。全ての調整値を入力し、[OK]を押すと、調整値を確認する画面が表示されます。調整結果を確認して[OK]を押すとメディア設定に調整結果が反映されます。

【微調整】実施時：

設定値は+10～-10まで入力できます。まずは調整値を+1と-1の両方に設定して実際に印字を行い、画質が改善された値を元にさらに調整することをお勧めします。

調整を行っても画質が改善されないときには

- 【標準】実施時：
引き続き【微調整】を実施してください。
- 【微調整】実施時：
〔プラテンギャップ〕を〔自動〕でお使いのときは、〔ヘッド高さ〕を〔狭い〕に設定してみてください。ただし〔狭い〕に設定すると、メディアの表面がプリントヘッドとこすれやすくなります。メディアの表面にしわが残らないよう丁寧にセットしてください。
〔ヘッド高さ〕を〔狭い〕に変更しても画質が改善されないときは、〔プラテンギャップ〕を〔手動〕に設定してみてください。
[☞「メディア設定メニュー」106ページ](#)

または、以下の対処をお試しください。

■ 単方向で印刷してみてください。

上記の対処を行っても問題が解消されないときには、Garment Creator 2/Garment Creator for SC-F3000 Seriesで〔ヘッド移動方向〕を〔単方向（低速印刷）〕にしてみてください。〔双方向（高速印刷）〕に設定されたジョブをリピート印刷やUSBメモリーから印刷しているときは、プレビュー画面の〔ヘッド移動方向〕を〔単方向〕に設定してください。

[☞「同じジョブを再印刷（リピート印刷）するとき」59ページ](#)

[☞「USBメモリーから印刷」62ページ](#)

印刷面が汚れる

■ 吸引キャップが汚れていませんか？

吸引キャップの周りにインクの塊や糸くずなどが付いているとインクが垂れて汚れることがあります。キャップを清掃してください。

[☞「吸引キャップの清掃」72ページ](#)

■ 印刷面に糸くずが付いたり、毛羽立ちがありませんか？

印刷面に糸くずがあったり毛羽が立っていると、プリントヘッドに付着して意図しない部分がインクで汚れることがあります。プラテンにTシャツをセットしたら、粘着テープ（ローラー）などで糸くずを除去し、硬質なローラーで毛羽を寝かせてから印刷してください。

[☞「Tシャツ（メディア）のセット」47ページ](#)

■ プリントヘッド周辺の清掃をしてみてください。

キャップの清掃をしても印刷面などが汚れるときは、プリントヘッドのノズル周辺に糸くずなどの毛羽が堆積している可能性があります。プリントヘッド周辺の清掃をしてください。

[☞「プリントヘッド周辺と板金のフチの清掃」70ページ](#)

■ フラッシング用吸収材の表面で廃インクが固まっていますか？

フラッシング用吸収材の表面で固まった廃インクが、プリントヘッドに付着してメディア表面が汚れることがあります。以下をご覧になり、フラッシング用吸収材の状態を確認して必要に応じて新品と交換してください。

[☞「フラッシング用吸収材の確認方法」94ページ](#)

印刷範囲外のメディアが汚れる

■ 本機内部の通風口にホコリや毛羽ゴミが付着していませんか？

通風口にホコリや毛羽ゴミが付着していると、プラテンの範囲外のメディアに汚れが付着することがあります。以下の手順で清掃してください。

清掃手順

作業を行う前に、必ず以下をお読みください。

📄 「作業時のご注意」 67 ページ

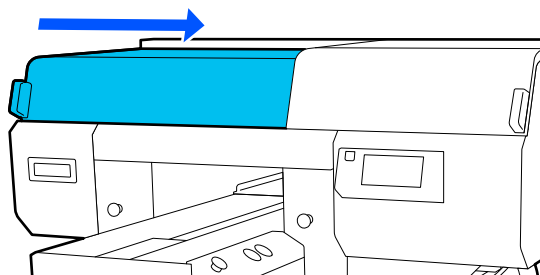
- 1 【◇】 ボタンを押して、プラテンをメンテナンス位置に移動させます。

！重要

プラテンは手で動かさないでください。故障の原因になります。

- 2 本機の電源を切ります。

- 3 左側のプリンターカバーを開けます。

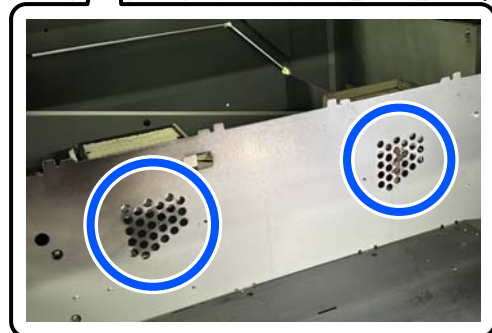
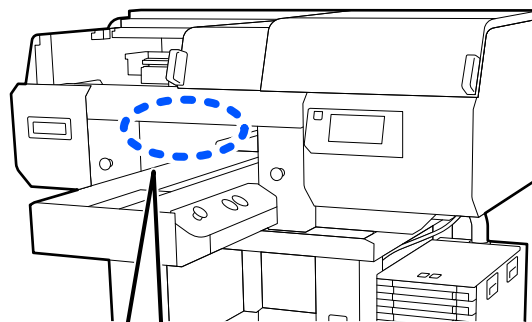


- 4 メンテナンスキットに付属のカップに水を注ぎ、太いクリーニング棒に染み込ませます。

クリーニング棒から水が垂れないように軽く絞ってください。



- 5 開口部から手を入れて通風口（囲み部の2カ所）を清掃します。



- ① 通風口に詰まったホコリや毛羽ゴミを手で取り除きます。
- ② 水を染み込ませたクリーニング棒で通風口全体の汚れを拭き取ります。本機内部に水が垂れないように注意してください。

清掃前



清掃後



清掃後の図のように、乾燥したインクが残った状態でも問題ありません。ホコリや毛羽ゴミが水拭きで取り切れないときは手順 4 に戻り、水の代わりにメンテナンスキットに付属のインククリーナーを使用して再度清掃してください。

☞ 「インククリーナーの使い方」 68 ページ

6 清掃が終了したら左側のプリンターカバーを閉めます。

使用済み消耗品の廃棄 ☞ 「廃棄」 97 ページ

白さが足りない/白がムラになる

■ **プリントヘッドのノズルが目詰まりしていませんか？**

プリントヘッドが目詰まりを起こしていると、色が出なくなり印刷品質が悪くなります。ノズルチェックパターンを印刷してみてください。

☞ 「ノズルの目詰まりチェック」 88 ページ

■ **ホワイトインクをかくはんしていますか？**

ホワイトインクはインク成分が沈降しやすいため、始業時および 24 時間（メッセージ表示時）ごとにかくはんが必要です。インクパックを取り出してよく振ってください。

☞ 「インクパックのかくはんと交換」 76 ページ

■ **前処理剤を均一に塗っていますか？**

前処理剤が均一でないと、印刷結果にムラが生じます。前処理剤の塗布を参照して、均一に塗布してください。

☞ 「前処理剤の塗布」 38 ページ

■ **前処理した T シャツはしっかり乾いていますか？**

T シャツが以下の状態だと、白さが低下することがあります。

- ヒートプレスが不十分
- 長時間放置により湿り気を帯びた

前処理剤を塗布した T シャツは、定着の条件を参考に十分に乾かしてから印刷してください。長時間放置したときは、再度ヒートプレスで数秒乾かしてから印刷してください。

☞ 「前処理剤の定着」 39 ページ


■ **ヒートプレスの温度・圧力は最適ですか？**

前処理剤を塗布した T シャツをプレスすると、ヒートプレス機の温度が低下します。連続してプレスするときは、ヒートプレス機の温度が下がっていないか確認してください。またプレスの圧力が弱いと乾燥が不十分になり、毛羽が倒れないため白さが不安定になることがあります。ヒートプレス機の圧力を最適に調整してください。

☞ 「前処理剤の定着」 39 ページ

上記の対処を行っても白さが足りないときや当てはまる項目がないときは以下の順に対処を行ってください。

1. 【クリーニング（強）】の実施

1 本機の電源が入っていることを確認し、（メニュー） - [プリンターのお手入れ] - [プリントヘッドのクリーニング] - [クリーニング（強）] - [列を選択] - [ホワイト] の順に押します。

2 全ての WH 列を選択し、[OK] を押します。

[クリーニング（強）] を 1-2 回実施しても白さが足りないときは、次の対処を試します。

2. 【プリンターモード】の変更

以下をご覧になり、[プリンターモード] を一度 [カラーインクモード] に切り替えて [ホワイトインクモード] に戻してください。

☞ 「【プリンターモード】の切り替え」 91 ページ

3. 1・2 を行っても白さが足りないとき

お買い求めの販売店またはエプソンサービスコールセンターに連絡してください。

☞ 「お問い合わせ先」 141 ページ

下地のホワイト印刷がはみ出る

- **ソフトウェアで下地の削り幅を調整してみてください。**

Tシャツの素材やインクの吐出量によっては、下地のホワイト印刷がはみ出ることがあります。はみ出たときは、Garment Creator 2/Garment Creator for SC-F3000 Series やソフトウェア RIP から、下地の削り幅を調整してみてください。

その他


【メディア表面の位置が高すぎます。】と表示され、対処したら【メディアが検出できません。】と表示された


- **【メディア設定】 - 【プラテンギャップ】 - 【自動】 の設定を変更してください。**

【ヘッド高さ】を【標準】または【広い】に変更してください。

操作パネルの画面表示が消える

- **スリープモードになっていませんか？**

操作パネルのボタンを押して画面表示を復帰させたあとでプリンターカバーを開けるまたは印刷ジョブを受信するなど、ハードウェア動作を伴う操作をすると通常の状態に復帰します。スリープモードに移行する時間は  (メニュー) - [本体設定] - [基本設定] - [スリープ移行時間設定] から変更できます。

 「設定メニュー一覧」 98 ページ

操作パネルに表示される印刷部数が1/1のまま変わらない

- **Garment Creator Easy Print System からホットフォルダーを使ってジョブを送信していませんか？**

Garment Creator Easy Print System で作成したホットフォルダーからジョブを送信したときは、複数枚を指定しても操作パネルの部数表示に反映されません。

印刷が終わらず印刷し続けたり意味不明な記号などが印刷されたりする

- **USB でコンピューターと本機を接続して、Garment Creator 2/Garment Creator for SC-F3000 Series と他のソフトウェア RIP の両方を起動して使用していませんか？**

エプソン製の印刷用ソフトウェア (Garment Creator 2/Garment Creator for SC-F3000 Series) とソフトウェア RIP は同時に使用せず、どちらか 1 つだけを起動して使用してください。

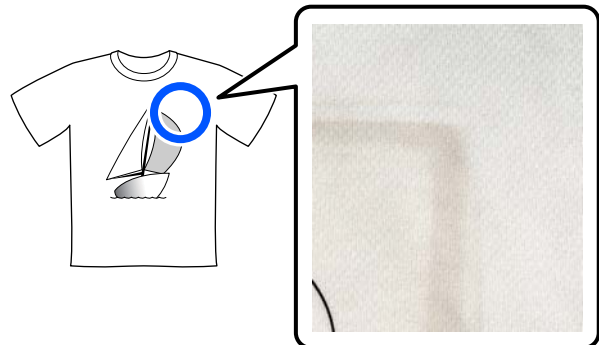
印刷していない部分が汚れる

- **プラテンが汚れていませんか？**

プラテンの枠や天板部分が汚れている可能性があります。プラテンを確認して、清掃をしてください。

 「布を貼らないプラテンの清掃」 75 ページ

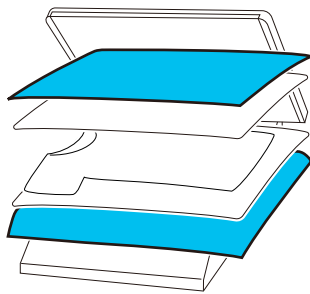
印刷した T シャツの生地が、時間が経過すると変色してムラになる



■ **ヒートプレスのプレス面をきれいにしてください。**

濃い色のTシャツは、種類によってはプレス時に生地染料成分がプレス面に付着することがあります。このまま白または淡い色のTシャツをプレスすると、プレス面に付着した染料成分がTシャツに転移し、汗や日光などと反応して変色の原因となります。異なる色のTシャツをプレスする場合は、以下のいずれかの対処をしてください。

- Tシャツの上下に剥離性のあるシートをセットする。
シートは、新品を使うか、Tシャツの色ごとに使い分けしてください。
Tシャツの上下に布をセットしている場合は、図の位置にシートをセットしてください。



- Tシャツの上下に布をセットしている場合は、新しい布に交換するか、Tシャツの色ごとに布を使い分ける。
- プレス面を清掃する。
清掃方法の詳細はヒートプレスのマニュアルをご覧ください。

ステータスや履歴の印刷がはみ出る

■ **M サイズ（標準）のプラテンで印刷していますか？**

オプションのプラテンに用紙を置いて印刷すると、用紙サイズによっては印刷がはみ出ることがあります。M サイズ（標準）プラテンに用紙をセットしてから実施してください。

📄 [「Tシャツ（メディア）のセット」 47 ページ](#)

印刷が遅い/途中で止まる

■ **ヘッド移動方向を単方向にしていますか？**

Garment Creator 2/Garment Creator for SC-F3000 Series で [ヘッド移動方向] が [単方向（低速印刷）] になっている可能性があります。Garment Creator 2/Garment Creator for SC-F3000 Series で [ヘッド移動方向] を [双方向（高速印刷）] にしてみてください。

[双方向（高速印刷）] に設定されたジョブをリピート印刷や USB メモリーから印刷しているときは、プレビュー画面で [ヘッド移動方向] が [単方向] に設定されている可能性があります。設定を [自動] に変更してみてください。

📄 [「同じジョブを再印刷（リピート印刷）するとき」 59 ページ](#)

📄 [「USB メモリーから印刷」 62 ページ](#)

■ **読み込み速度の遅い USB メモリーを使用していますか？**

USB メモリーからの印刷時に、読み込み速度の遅い USB メモリー（4.63MB/sec 以下）を使用すると、印刷中にプリントヘッドが止まりながら印刷し続けます。読み込み速度の速い USB メモリーに変更してみてください。

■ **布なしプラテンを使ってインク量の多いジョブを印刷していますか？**

印刷領域いっぱいにデータがあるなどインクを多く使って印刷すると、印刷面がインクを含んで膨らむことがあります。

このような場合には、印刷開始前にTシャツを正しくセットしても印刷途中で以下のようなエラーが発生して印刷が停止することがあります。

[プリンターの動作を停止しました。]

[プリントヘッドとメディアが当たる可能性があります。]

枠を使用してTシャツをセットしている場合は、枠を取り外すことで印刷面のしわやたるみが外側に広がり改善されることがあります。

ただし枠を取り外すと、以下の作業および注意が必要です。

- エプソン製の印刷用ソフトウェア（Garment Creator 2/Garment Creator for SC-F3000 Series）やソフトウェア RIP から、ホワイトインクの幅を削るなど、下地の白印刷がはみださないように調整が必要
- Tシャツがずれやすくなるため、印刷中はTシャツに触れないように注意が必要

■ **前処理剤は十分乾いていますか？**


前処理剤の乾燥が不十分な状態で印刷すると、印刷面が湿って膨らみややすくなり、印刷途中で以下のようなエラーが発生して印刷が停止することがあります。


[プリンターの動作を停止しました。]

[プリントヘッドとメディアが当たる可能性があります。]

前処理剤の乾燥状態を確認してみてください。

USB メモリーが使えない


- **USB メモリーを差し込んだ後に  を押し
ていますか？**

本機に USB メモリーを差し込んだだけでは USB メモリーの読み込みは行われません。必ず画面上部にある  アイコンを押して USB 印刷メニューから操作を行ってください。

本体内部が赤く光っている

- **この状態は故障ではありません。**
プリンター内部のランプです。

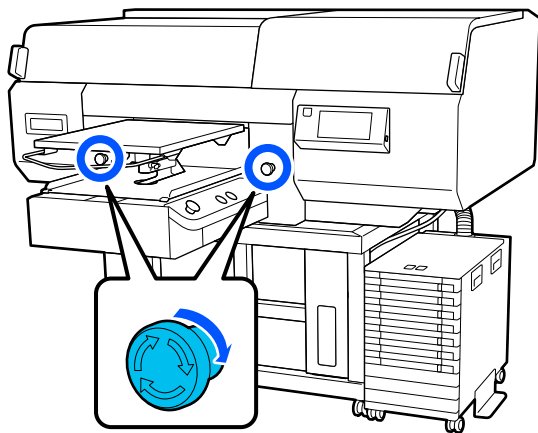
ネットワークのパスワードを忘れた

- エプソンサービスコールセンターにご相談ください。
 「お問い合わせ先」141 ページ

緊急停止ボタンを押した

安全が確保されたことを確認し、以下の手順で緊急停止ボタンを解除してください。

- 1 ボタンを図のように回しながら引き出します。



- 2 本機の電源を切り、再度電源を入れてください。

！重要

電源を切ったら、すぐに電源を入れ直してください。

エラーが起こったまま電源を切ると、プリントヘッドが正常にキャッピングされないことがあります。キャッピングされていない状態で長時間放置すると、印刷不良の原因となったり、ノズルの目詰まりが解消できなくなることがあります。

お問い合わせいただく前に

トラブルが発生したときは、以下をご確認いただくと解消できることがあります。

エプソンのウェブサイトのQ&A

エプソンのウェブサイト (<https://www.epson.jp>) では、お問い合わせの多い内容を Q&A 形式でご紹介しています。トラブルや疑問の解消にお役立てください。

ファームウェアのバージョンアップ

エプソンのウェブサイト (<https://www.epson.jp>) では最新のファームウェアのバージョンアップ情報を提供しています。

ファームウェアのアップデートは Epson Edge Dashboard で簡単に行えます。詳細は Epson Edge Dashboard のヘルプをご覧ください。

トラブルが解消されないときは

「困ったときは」の内容やエプソンのウェブサイトを確認しても、トラブルが解消されないときは、本機の動作確認をした上でトラブルの原因を判断してそれぞれのお問い合わせ先に連絡ください。

🔗 [「サービス・サポートのご案内」 139 ページ](#)

付録

消耗品とオプション

本機で使用できる消耗品、オプションは以下の通りです。（2020年5月現在）
最新の情報は、エプソンのウェブサイト（<https://www.epson.jp>）をご覧ください。

インクパック

商品名	型番
ブラック	SC21BK/SC21BKN
シアン	SC21C/SC21CN
マゼンタ	SC21M/SC21MN
イエロー	SC21Y/SC21YN
ホワイト	SC21WW/SC21WWN
メンテナンスリキッド	SC21ML

プリンター性能をフルに発揮するためにエプソン純正品のインクパックを使用することをお勧めします。純正品以外のものをご使用になりますと、プリンター本体や印刷品質に悪影響が出るなど、プリンター本来の性能を発揮できない場合があります。純正品以外の品質や信頼性について保証できません。非純正品の使用に起因して生じた本体の損傷、故障については、保証期間内であっても有償修理となります。

メンテナンス用品

商品名	型番	備考
廃インクボトル	SC17WIB	製品付属の廃インクボトルと同等品です。
ヘッドクリーニングセット	SC21HCS	フラッシング用吸収材とワイパーユニットのセットです。
キャップユニットセット	SC21CUS	交換用の乾燥防止キャップです。
エアフィルター	SC21AF	交換用のエアフィルターです。
フラッシングパッドセット	SC21FPS	フラッシング用吸収材のみ交換する時にお買い求めください。
メンテナンスキット	SC6MKIT	製品付属のメンテナンスキットと同等品です。
クリーニングインクパック	SC21CLL	長期保管やプリンターモードの切り替えで使用します。
クリーンルーム用ワイパー	SC2CRW	製品付属のクリーンルーム用ワイパーと同等品です。

その他

商品名	型番	備考
前処理剤	SC6PTL2 SC6PTL	20 リットル入りです。希釈して使用してください。 ☞ 「前処理」 32 ページ
前処理剤（ポリエステル用）	SC6PTLP	18 リットル入りです。印刷に使用するインクにより原液のまま、または希釈して使用してください。 ☞ 「前処理」 32 ページ
ハンガーブラテン L サイズ	SCF3PLTNL	印刷可能領域: 406 × 508 mm
ハンガーブラテン M サイズ	SCF3PLTNM	印刷可能領域: 356 × 406 mm
ハンガーブラテン S サイズ	SCF3PLTNS	印刷可能領域: 254 × 305 mm
ブラテン XS サイズ	SCF2PLTNX2	印刷可能領域: 178 × 203 mm
ブラテン袖用	SCF2PLTNV2	T シャツの袖口に適切に印刷できるブラテンです。 印刷可能領域: 102 × 102 mm
ブラテンボロ/ジッパー用	SCF2PLTNP2	ボロシャツや、ジッパーやボタンのあるシャツに適切に印刷できるブラテンです。 印刷可能領域: ハンガーブラテン M サイズと同等
ハンガーブラテン布シート L	SC3SHTL	ハンガーブラテン L サイズを布貼りブラテンとして使用するための布シートです。
ハンガーブラテン布シート M	SC3SHTM	ハンガーブラテン M サイズを布貼りブラテンとして使用するための布シートです。
ハンガーブラテン布シート S	SC3SHTS	ハンガーブラテン S サイズを布貼りブラテンとして使用するための布シートです。
前処理剤用ローラーセット	SCF2ROLSET	ローラー部×3、ハンドル、トレイのセットです。
前処理剤用スペアローラー（3 個入り）	SCF2REPROL	前処理剤用ローラーセットに付属のローラー部と同等品です。
硬質ローラー	SCF2HRDROL	ローラー部（硬質）とハンドルのセットです。
バレン	SCF2BRN	製品付属のバレンと同等品です。
前処理剤用漏斗	SCF21FNL	前処理剤（綿用）をろ過するときに使用する漏斗です。
前処理剤用フィルター	SC6FF	前処理剤（綿用）をろ過するときに使用するフィルターです。

移動・輸送時のご注意

ここでは、本機を移動または輸送する方法について説明します。

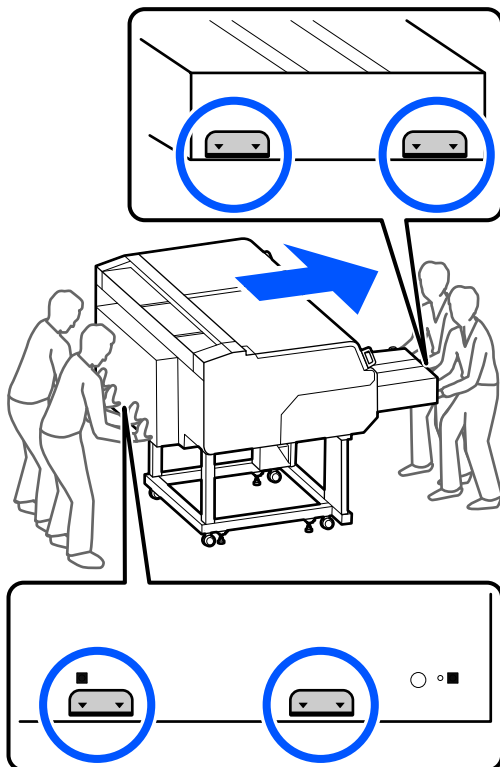
移動の準備

ここでは、段差のない同一フロア内を移動する方法を説明します。別の階や建物に移動する方法は、以下をご覧ください。

☞ [「輸送の方法」130 ページ](#)

⚠ 注意

- 本製品は重いので、1人で運ばないでください。移動の際は4人で運んでください。
- 本製品を移動する際は、前後左右に10度以上傾けないでください。転倒などによる事故のおそれがあります。
- 本製品を持ち上げる際は、ラベルの位置に手を掛けて持ち上げてください。
他の部分を持って持ち上げると、本製品が落下したり、下ろす際に指を挟んだりして、けがをすることがあります。



!重要

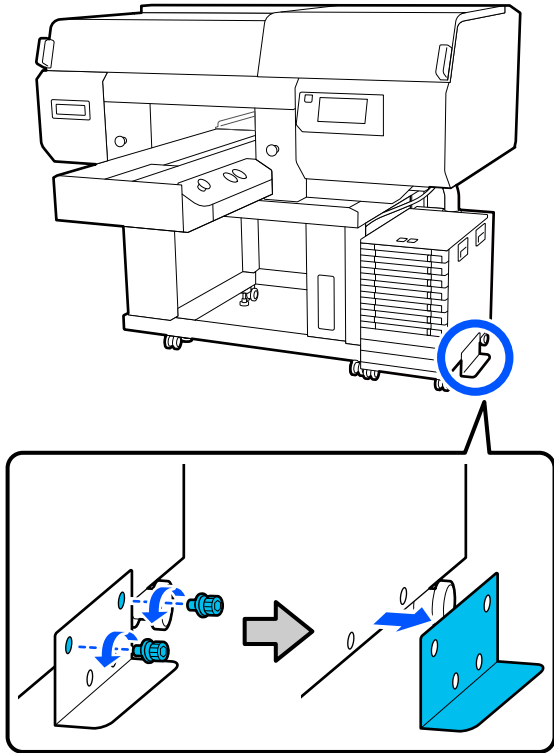
- 必要な部分以外は触らないでください。故障の原因となります。
- インクパックを取り外さないでください。プリントヘッドのノズルが目詰まりして印刷できなくなったり、インクが漏れたりするおそれがあります。
- インクユニットと本機を切り離さないでください。
(本機背面にインクチューブが接続されたままの状態での移動)
- インクユニットの固定ワイヤーを本機のスタンドに取り付けたままの状態にしてください。

廃インクで手が汚れることがあります。必要に応じて、メンテナンスキットに付属の手袋を装着してから実施してください。

☞ [「消耗品とオプション」126 ページ](#)

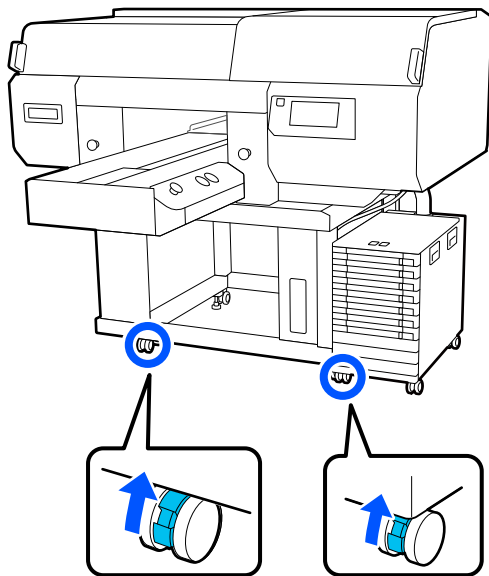
- 1 電源が切れていることを確認します。
- 2 廃インクボトルを取り外します。
☞ [「廃インクボトルの交換」79 ページ](#)
- 3 本機とインクユニットの電源ケーブルや接続ケーブルなど、全ての配線を取り外します。
- 4 プラテンを取り外します。
☞ [「プラテンの交換」45 ページ](#)
- 5 プラテンギャップ調整レバーの固定レバーを固定します。
☞ [「プラテンポジションの切り替え方」46 ページ](#)

6 インクユニットから転倒防止板を取り外します。



7 スタンドとインクユニットのキャスターのロックを全て解除します。

キャスターは、スタンドとインクユニットの前後に2箇所ずつあります。



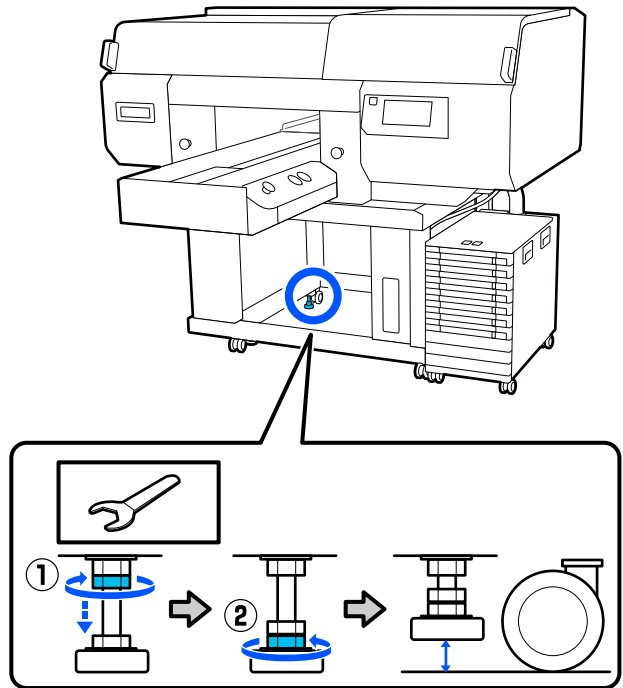
8 全ての固定具をキャスターより上がった状態にします。

固定具は、スタンドの前後に2箇所ずつあります。

!重要

必ず、全ての固定具を上げてから本機を移動してください。固定具を上げずに移動すると故障の原因となります。固定具を緩めるときは、付属のスパナが必要です。

- ① 固定具の中央のナットが下側のナットに届くまで緩めます。
- ② 固定具がキャスターより上に来るまで下側のナットを反時計回りに回します。




移動後の本機の設定


移動後は、次の手順に従い使用できるようにします。
手順 1-3 の詳細は、『セットアップガイド』（冊子）をご覧ください。

お手元に『セットアップガイド』がないときは、<http://epson.sn> からお使いの機種を選択してご覧いただけます。

- 1** 設置に適した場所か確認し、本機とインクユニットのキャスターをロックし、固定具を下げて本機を固定します。
- 2** 廃インクボトルなど取り外したものを全て取り付けます。
- 3** 電源プラグをコンセントに差し込み、電源を入れます。
- 4** ノズルチェックを実行して、ノズルの目詰まりがないか確認します。

 [「ノズルの目詰まりチェック」 88 ページ](#)

輸送の方法

本機を輸送するときは、お買い求めの販売店またはエプソンインフォメーションセンターにご相談ください。
エプソンサービスコールセンターの連絡先  [「お問い合わせ先」 141 ページ](#)

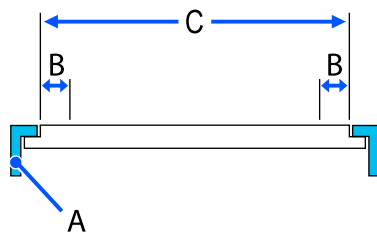
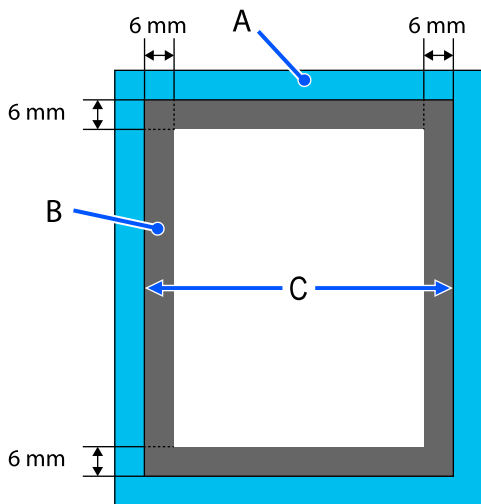
印刷可能領域

種類	可能領域
ハンガープラテン L サイズ	16×20inch (406×508mm)
ハンガープラテン M サイズ	14×16inch (356×406mm)
ハンガープラテン S サイズ	10×12inch (254×305mm)
プラテン XS サイズ	7×8inch (178×203mm)
プラテン袖用	4×4inch (102×102mm)
プラテンポロ/ジッパー用	印刷できない領域のイラスト参照

各プラテンの枠の内側から、または天板部分の端から上下左右の一定の領域には印刷できません。以下の図のA、Bの部分印刷できない領域です。

ハンガープラテン L/M/S サイズ、プラテン XS サイズ

プラテンの枠の内側、またはプラテンの内側の一段高くなっている部分（天板部分）の端から上下左右の一定の領域には印刷できません。

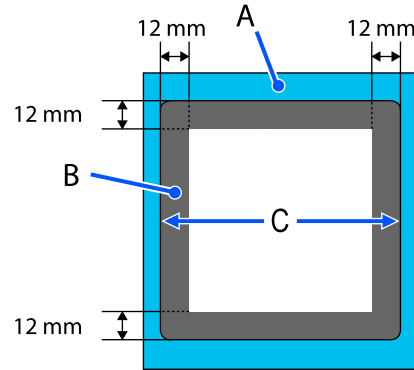


A：プラテンの枠
B：印刷できない領域

C：天板部分

プラテン袖用

プラテンの枠の内側で一段高くなっている部分の端から、上下左右の一定の領域には印刷できません。

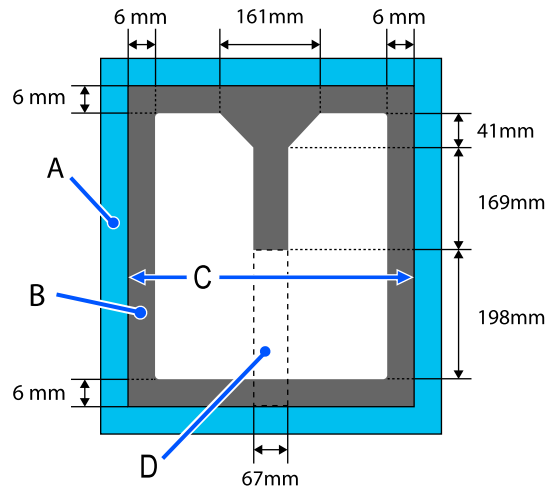


A：プラテンの枠
B：印刷できない領域
C：天板部分

プラテンポロ/ジッパー用

プラテンの枠の内側から上下左右の一定の領域と、天板がない部分には印刷できません。

Dの部分には四角い部品があります。四角い部品を取り外しているときは、この部分には印刷できません。



A：プラテンの枠
B：印刷できない領域
C：天板部分
D：四角い部品

メディアの厚さと【プラテンギャップ】の設定値の対応表

ハンガープラテン L/M/S サイズ、XS サイズプラテン使用時

メディアの厚さ		【手動】 - 【設定値】 の入力値	プラテンポジション
布貼りプラテン*	布を貼らないプラテン		
-	0mm～1mm	4.0	P
0mm～1mm	1mm～2mm	5.0	
1mm～2mm	2mm～3mm	6.0	
2mm～3mm	3mm～4mm	7.0	
3mm～4mm	4mm～5mm	8.0	1
4mm～5mm	5mm～6mm	9.0	
5mm～6mm	6mm～7mm	10.0	
6mm～7mm	7mm～8mm	11.0	2
7mm～8mm	8mm～9mm	12.0	
8mm～9mm	9mm～10mm	13.0	
9mm～10mm	10mm～11mm	14.0	3
10mm～11mm	11mm～12mm	15.0	
11mm～12mm	12mm～13mm	16.0	
12mm～13mm	13mm～14mm	17.0	4
13mm～14mm	14mm～15mm	18.0	
14mm～15mm	15mm～16mm	19.0	
15mm～16mm	16mm～17mm	20.0	5
16mm～17mm	17mm～18mm	21.0	
17mm～18mm	18mm～19mm	22.0	
18mm～19mm	19mm～20mm	23.0	6
19mm～20mm	20mm～21mm	24.0	
20mm～21mm	21mm～22mm	25.0	
21mm～22mm	22mm～23mm	26.0	7
22mm～23mm	23mm～24mm	27.0	
23mm～24mm	24mm～25mm	28.0	

メディアの厚さ		[手動] - [設定値] の入力値	プラテンポジション
布貼りプラテン*	布を貼らないプラテン		
24mm～25mm	25mm～26mm	29.0	8
25mm～26mm	26mm～27mm	30.0	
26mm～27mm	27mm～28mm	31.0	
27mm～28mm	28mm～29mm	32.0	
28mm～28.5mm	29mm～29.5mm	33.0	

* XS サイズプラテンは非対応。

袖用、ポロ/ジッパー用プラテン使用時

メディアの厚さ	[手動] - [設定値] の入力値	プラテンポジション
0mm～1mm	14.0	3
1mm～2mm	15.0	
2mm～3mm	16.0	
3mm～4mm	17.0	4
4mm～5mm	18.0	
5mm～6mm	19.0	
6mm～7mm	20.0	5
7mm～8mm	21.0	
8mm～9mm	22.0	
9mm～10mm	23.0	6
10mm～11mm	24.0	
11mm～12mm	25.0	
12mm～13mm	26.0	7
13mm～14mm	27.0	
14mm～15mm	28.0	
15mm～16mm	29.0	8
16mm～17mm	30.0	
17mm～18mm	31.0	
18mm～19mm	32.0	
19mm～19.5mm	33.0	

システム条件

各ソフトウェアは、以下の環境で使用できます。（2024年5月現在）

対応 OS 等は、変更されることがあります。

最新の情報は、エプソンのウェブサイト（<https://www.epson.jp>）をご覧ください。

Epson Edge Dashboard

Epson Edge Dashboard は、次の環境で使用できます。

！重要

Epson Edge Dashboard をインストールしたコンピューターは、以下の条件でお使いください。
条件が守られないと正しくプリンターの監視が行えません。

- 休止状態（ハイバネーション）機能を設定しないでください。
- スリープ状態にならないようにスリープ機能を無効に設定してください。

Windows

オペレーティングシステム	Windows 7 SP1* / Windows 7 x64 SP1* Windows 8* / Windows 8 x64* Windows 8.1* / Windows 8.1 x64 Windows 10* / Windows 10 x64 Windows 11
CPU	マルチコアプロセッサ（3.0GHz 以上を推奨）
空きメモリー領域	4GB 以上
ハードディスク （インストール時空き容量）	2GB 以上
ディスプレイ解像度	1280×1024 以上
通信インターフェイス	High Speed USB Ethernet 1000Base-T
ブラウザ	Internet Explorer 11 Microsoft Edge

* Garment Creator 2 との連携は非対応。

Mac

オペレーティングシステム	Mac OS X 10.7 Lion 以降*
CPU	マルチコアプロセッサ（3.0GHz 以上を推奨）
空きメモリー領域	4GB 以上
ハードディスク （インストール時空き容量）	2GB 以上
ディスプレイ解像度	1280×1024 以上
通信インターフェイス	High Speed USB Ethernet 1000Base-T

ブラウザ	Safari 6 以降
------	-------------

* Mac OS X 10.11 以前では、Garment Creator 2/Garment Creator for SC-F3000 Series との連携は非対応。

Garment Creator 2/Garment Creator for SC-F3000 Series

Windows

オペレーティングシステム	Windows 8.1* / Windows 8.1 x64 Windows 10* / Windows 10 x64 Windows 11
CPU	マルチコアプロセッサ (Intel Core i7 第 8 世代以降を推奨)
メモリー容量	2GB 以上 (16GB 以上を推奨)
ストレージ (インストール時空き容量)	HDD 32GB 以上 (SSD を推奨)
ディスプレイ解像度	1024×768 以上
通信インターフェイス	High Speed USB Ethernet 1000Base-T

* Garment Creator for SC-F3000 Series のみ対応。

Mac

オペレーティングシステム	macOS 10.12 以降
CPU	マルチコアプロセッサ (Intel Core i7 第 8 世代以降を推奨)
メモリー容量	2GB 以上 (16GB 以上を推奨)
ストレージ (インストール時空き容量)	HDD 32GB 以上 (SSD を推奨)
ディスプレイ解像度	1024×768 以上
通信インターフェイス	High Speed USB Ethernet 1000Base-T

Garment Creator Easy Print System (Windows のみ)

オペレーティングシステム	Windows 8.1* / Windows 8.1 x64 Windows 10* / Windows 10 x64 Windows 11
CPU	マルチコアプロセッサ (Intel Core i7 第 8 世代以降を推奨)
空きメモリー領域	2GB 以上 (16GB 以上を推奨)
ハードディスク (インストール時空き容量)	HDD 32GB 以上 (SSD を推奨)
ディスプレイ解像度	1024×768 以上
通信インターフェイス	High Speed USB Ethernet 1000Base-T

* Garment Creator Easy Print System ver.3.0 以前が使用可能。

Web Config

対応ブラウザは以下の通りです。ブラウザは最新バージョンを使用してください。

Microsoft Edge、Internet Explorer 11、Firefox、Chrome、Safari

仕様一覧

本体仕様	
印字方式	オンデマンドインクジェット方式
ノズル配列	
ホワイトインクモード	ホワイト:800 ノズル×10 列 カラー:800 ノズル×2 列×4 色 (ブラック、シアン、マゼンタ、イエロー)
カラーインクモード	カラー:800 ノズル×2 列×4 色 (ブラック、シアン、マゼンタ、イエロー)
解像度 (最大)	1200×1200 dpi
コントロールコード	ESC/P ラスター (コマンドは非公開)
プラテン送り方式	ベルト搬送
内蔵メモリー	4 GB
インターフェイス	Hi-Speed USB×2 (背面:コンピュータ接続用×1、前面:USB メモリー用×1) Ethernet 1000Base-T/100Base-TX/10Base-T*1
定格電圧 (プリンター、インクユニット)	AC100-240 V
定格周波数 (プリンター、インクユニット)	50 / 60Hz
定格電流	プリンター:6.8-3.2 A インクユニット:1.4 A
消費電力	
動作時	プリンター:約 140 W インクユニット:約 28 W
レディー時	プリンター:約 100 W インクユニット:約 11 W
スリープモード時	プリンター:約 12 W インクユニット:約 8 W
電源オフ時	プリンター:約 0.9 W インクユニット:約 0.04 W
温度	推奨:15 ~ 25°C 動作時:10 ~ 35°C 保管時:-20°C ~ 40°C (40°Cの場合 1 カ月以内)
湿度 (結露しないこと)	推奨:40~60% 動作時:20~80% 保管時:5~85%

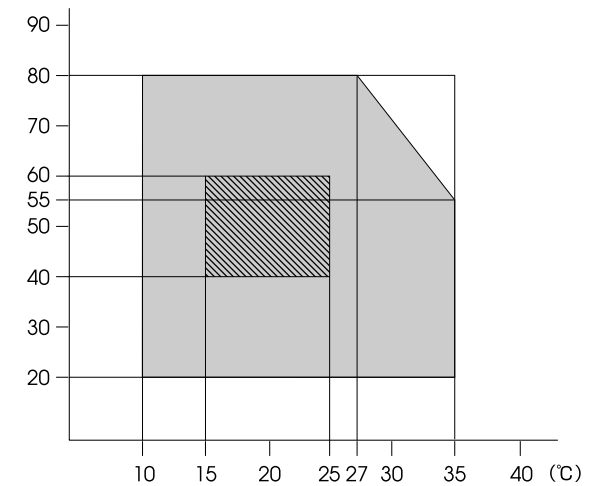
本体仕様

動作温度・湿度範囲

グレー部:動作時

斜線部:推奨

(%)



外形サイズ	幅 1712×奥行き 1809×高さ 1336 mm
-------	----------------------------

質量	約 330Kg (付属プラテン装着時、インクパック含まず)
----	----------------------------------

使用可能なメディア (Tシャツ)

厚さ	29.5mm 以下*2
重量	1.5kg 以下
素材*3	<ul style="list-style-type: none"> 綿の混紡率が 100%~50% の生地 (混紡率 100%で織りの密度が高い厚手の生地を推奨) ポリエステル混紡率が 100%~50% の生地 (混紡率 100%の生地を推奨)

*1 シールドツイストペアケーブル (カテゴリー 5e 以上) を使用してください。

*2 メディアをセットするプラテンにより、使用可能なメディアの厚さの上限が異なります。詳細は以下をご覧ください。

☞ [「メディアの厚さと \[プラテンギャップ\] の設定値の対応表」 132 ページ](#)

*3 綿 T シャツにホワイトインクを使用して印刷する場合やポリエステル T シャツに印刷する場合は、あらかじめ前処理剤の塗布が必要です。

☞ [「前処理」 32 ページ](#)

参考

安定した色合いで印刷したいときは、15 ~ 25 °C の環境下で一定の室温に保ち、使用してください。

！重要

本機は、標高 2000m 以下でお使いください。

インクパック・クリーニングインクパック仕様

形態	専用インクパック
インク種類	顔料インク
有効期限	個装箱、インクパックに記載された期限（常温で保管）
印刷品質保証期限	1 年（プリンター装着後）
温度	動作時：10 ～ 35℃ 梱包保管および本機装着時：-20 ～ 40℃（-20℃の場合 4 日以内、40℃の場合 1 カ月以内） 梱包輸送時：-20 ～ 60℃（-20℃の場合 4 日以内、40℃の場合 1 カ月以内、60℃の場合 72 時間以内）
外形寸法	幅 180 × 長さ 410 × 高さ 30 mm
容量	1500 ml

！重要

インクを詰め替えないでください。

前処理剤仕様

有効期限	個装箱に記載された期限（常温で保管）
温度	前処理剤（綿用） 使用時：10 ～ 35℃ 梱包保管： -20 ～ 40℃（-20℃の場合 4 日以内、40℃の場合 1 カ月以内） 梱包輸送時： -20 ～ 60℃（-20℃の場合 4 日以内、40℃の場合 1 カ月以内、60℃の場合 72 時間以内）
	前処理剤（ポリエステル用） 使用時：10 ～ 35℃ 梱包保管： 0～40℃（0℃の場合 4 日以内、40℃の場合 1 カ月以内） 梱包輸送時： -20～60℃（-20℃の場合 4 日以内、40℃の場合 1 カ月以内、60℃の場合 72 時間以内）
容量	前処理剤（綿用） 20 L
	前処理剤（ポリエステル用） 18 L
外形寸法	幅 300 × 長さ 300 × 高さ 300 mm

インククリーナー仕様

有効期限	容器に記載された期限（常温で保管）
温度	使用時：10 ～ 35℃ 梱包保管時： -20 ～ 40℃（-20℃の場合 4 日以内、40℃の場合 1 カ月以内） 梱包輸送時： -20 ～ 60℃（-20℃の場合 4 日以内、40℃の場合 1 カ月以内、60℃の場合 72 時間以内）
容量	150 ml

サービス・サポートのご案内

各種サービス・サポートについて

弊社が行っている各種サービス・サポートについては、以下のページでご案内しています。

[🔗 「お問い合わせ先」 141 ページ](#)

保守サービスのご案内

「故障かな？」と思ったときは、まず「困ったときは」をよくお読みください。そして、接続や設定に間違いがないことをご確認の上、保守サービスの受付窓口にお問い合わせください。

[🔗 「困ったときは」 110 ページ](#)

補修用性能部品および消耗品の保有期間

本製品の補修用性能部品および消耗品の保有期間は、製品の製造終了後 6 年間です。改良などにより、予告なく外観や仕様などを変更することがあります。

保守サービスの受付窓口

エプソン製品を快適にご使用いただくために、年間保守契約をお勧めします。保守サービスに関してのご相談、お申し込みは、次のいずれかで承ります。

- お買い求めいただいた販売店
 - エプソンサービスコールセンター
- [🔗 「お問い合わせ先」 141 ページ](#)

保守サービスの種類

エプソン製品を万全の状態でお使いいただくために、下記の保守サービスをご用意しております。詳細は、お買い求めの販売店またはエプソンサービスコールセンターまでお問い合わせください。

- 定期交換部品の寿命による交換は、保証内外を問わず、出張基本料・技術料・部品代が有償となります。
- 年間保守契約をされている場合は、定期交換部品代のみ有償（お客様交換可能な定期交換部品の場合は、出張基本料・技術料も有償）です。
- 本機は、専門業者による輸送対象製品のため、持込保守および持込修理はご遠慮ください。

種類		概要	修理代金と支払方法	
			保証期間内	保証期間外
年間保守契約	出張修理	<ul style="list-style-type: none"> • 優先的にサービスエンジニアを派遣し、その場で修理いたします。 • 修理の都度発生する修理代・部品代*が無償のため、予算化ができて便利です。 • 定期点検（別途料金）で、故障を未然に防ぐことができます。 	無償	年間一定の保守料金
スポット出張修理		お客様からご連絡いただいて数日以内にサービスエンジニアを派遣し、その場で修理いたします。	無償	有償 （出張料+技術料+部品代） 修理完了後、その都度お支払いください。

* 消耗品（インクカートリッジ、トナー、用紙など）は保守対象外です。

！重要

- エプソン純正品以外あるいはエプソン品質認定品以外の、オプションまたは消耗品を装着し、それが原因でトラブルが発生した場合には、保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。ただし、この場合の修理などは有償で行います。
- 本製品の故障や修理の内容によっては、製品本体に保存されているデータや設定情報が消失または破損することがあります。また、お使いの環境によっては、ネットワーク接続などの設定をお客様に設定し直していただくこととなります。これに関して弊社は保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。データや設定情報は、必要に応じてバックアップするかメモを取るなどして保存することをお勧めします。

エプソンサービスパック

エプソンサービスパックは、ハードウェア保守パックです。

エプソンサービスパック対象製品と同時にご購入の上、登録していただきますと、対象製品購入時から所定の期間（3年、4年、5年）、出張修理いたします。また、修理のご依頼や故障がどうか分からない場合のご相談等の受付窓口として、専用のヘルプデスクをご用意いたします。

- スピーディーな対応 – スポット出張修理依頼に比べて優先的にサービスエンジニアを派遣いたします。
- もしものときの安心 – トラブルが発生した場合は何回でもサービスエンジニアを派遣して修理いたします。
- 手続きが簡単 – エプソンサービスパック登録書を FAX するだけで、契約手続きなどの面倒な事務処理は一切不要です。
- 維持費の予算化 – エプソンサービスパック規約内・期間内であれば都度修理費用がかからず、維持費の予算化が可能です。

エプソンサービスパックは、エプソン製品ご購入販売店にてお買い求めください。

お問い合わせ先

●エプソンのウェブサイト epson.jp

各種製品情報・ドライバー類の提供、サポート案内等のさまざまな情報を満載したエプソンのウェブサイトです。

●修理に関するお問い合わせ・出張修理・保守契約のお申し込み先(エプソンソリューションコールセンター)

050-3155-8690

◎上記電話番号をご利用できない場合は、042-585-8431へお問い合わせください。

●製品の新規ご購入に関するご質問・ご相談先

製品の購入をお考えになっている方の専用窓口です。製品の機能や仕様など、お気軽にお電話ください。

050-3155-8380

◎上記電話番号をご利用できない場合は、042-585-8413へお問い合わせください。

上記050で始まる電話番号はKDD株式会社の電話サービスを利用しています。
上記電話番号をご利用いただけない場合は、携帯電話またはNTTの固定電話(一般回線)からおかけいただくか、各◎印の電話番号におかけくださいますようお願いいたします。

● MyEPSON

エプソン製品をご愛用の方も、お持ちでない方も、エプソンに興味をお持ちの方への会員制情報提供サービスです。お客様にピッタリのおすすめ最新情報をお届けしたり、プリンターをもっと楽しくお使いいただくお手伝いをします。製品購入後のユーザー登録もカンタンです。さあ、今すぐアクセスして会員登録しよう。

インターネットでアクセス!

myepson.jp/

▶ カンタンな質問に答えて
会員登録。

●消耗品のご購入

製品取扱販売店でお買い求めください。

本ページに記載の情報は予告無く変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。
最新の情報はエプソンのウェブサイト(epson.jp/support)にてご確認ください。

エプソン販売 株式会社 〒160-8801 東京都新宿区新宿四丁目1番6号 JR新宿ミライナタワー

セイコーエプソン株式会社 〒392-8502 長野県諏訪市大和三丁目3番5号

商業(捺染) 2022.03

製品に関する諸注意と適合規格

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、本製品の修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがあります。当社といたしましては一切責任を負いかねますのでご了承ください。

本製品の不具合に起因する付随的損害

万一、本製品（添付のソフトウェア等も含みます）の不具合によって所期の結果が得られなかったとしても、そのことから生じた付随的な損害（本製品を使用するために要した諸費用、および本製品を使用することにより得られたであろう利益の損失等）は、補償致しかねます。

本製品の使用限定

本製品を航空機・列車・船舶・自動車などの運行に直接関わる装置・防災防犯装置・各種安全装置など機能・精度などにおいて高い信頼性・安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮いただいた上で当社製品をご使用いただくようお願いいたします。本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、医療機器など、極めて高い信頼性・安全性が必要とされる用途への使用を意図しておりませんので、これらの用途には本製品の適合性をお客様において十分ご確認の上、ご判断ください。

液晶ディスプレイについて

画面の一部に点灯しない画素や常時点灯する画素が存在する場合があります。また液晶の特性上、明るさにムラが生じることがありますが、故障ではありません。

プリンター本体の廃棄

産業廃棄物処理業者に廃棄物処理を委託するなど、必ず法令や地域の条例、自治体の指示に従って廃棄してください。

複製が禁止されている印刷物

紙幣、有価証券などをプリンターで印刷すると、その印刷物の使用如何に係わらず、法律に違反し、罰せられます。

（関連法律）刑法第 148 条、第 149 条、第 162 条

通貨及証券模造取締法第 1 条、第 2 条など

以下の行為は、法律により禁止されています。

- 紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方証券を複製すること（見本印があっても不可）
- 日本国外で流通する紙幣、貨幣、証券類を複製すること
- 政府の模造許可を得ずに未使用郵便切手、郵便はがきなどを複製すること
- 政府発行の印紙、法令などで規定されている証紙類を複製すること

次のものは、複製するにあたり注意が必要です。

- 民間発行の有価証券（株券、手形、小切手など）、定期券、回数券など
- パスポート、免許証、車検証、身分証明書、通行券、食券、切符など

著作権

写真・書籍・地図・図面・絵画・版画・音楽・映画・プログラムなどの著作権物は、個人（家庭内その他これに準ずる限られた範囲内）で使用するために複製する以外は著作権者の承認が必要です。

電波障害自主規制

この装置は、クラス A 機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

瞬時電圧低下

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。（社団法人 電子情報技術産業協会のパーソナルコンピューターの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

電源高調波

この装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。